

令和4年度  
名古屋市立大学大学院薬学研究科  
自己点検・評価報告書

2022

## 目次

1	博士学位取得者 .....	1
2	修士学位取得者 .....	
3	講演会等(2022 年 1 月から 2022 年 12 月)	
4	研究業績目録(2022 年 1 月から 2022 年 12 月)	
	薬化学分野	
	精密有機反応学分野	
	薬品合成化学分野	
	生体超分子システム解析学分野	
	コロイド・高分子物性学分野	
	生命分子構造学分野	
	分子生物薬学分野	
	薬物送達学分野	
	生薬学分野	
	衛生化学分野	
	遺伝情報学分野	
	細胞分子薬効解析学分野	
	病態生化学分野	
	薬物動態制御学分野	
	病態解析学分野	
	細胞情報学分野	
	神経薬理学分野	
	医薬品安全性評価学分野	
	病院薬剤学分野	
	臨床薬学分野	
5	科学研究費等補助金	
6	新聞報道等(2022 年 1 月から 2022 年 12 月)	
7	進路および就職状況	
8	在籍者名簿	

## 1 博士学位取得者

学位記 番号	博士の専攻 分野の名称	博士の学位を授与された者		博士課程の修了等の状況		博士論文名	授与年月 日	主査	副査 (指導教員)	副査	副査	副査
		(ふりがな) 氏名	性別	大学院名	研究科 (専攻)名							
甲第 388号	博士 (薬科学)	(あるぐら-び- は-みど さ -でいく はり-る) ALGHURABI HAMID SADEQ KHALEEL	男	名古屋市立 大学大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	Eudragit S100-Coated Bile Salt- Containing Liposomes for Oral Colonic Drug Delivery (経口大腸デリバリーを指向した Eudragit S100 コーティング胆汁酸塩含有リポソーム の粒子設計)	R4.9.26	湯浅 博昭	尾関 哲也	松永 民秀	中川 秀彦	
甲第 389号	博士 (薬科学)	(てい かぶん) 丁 科文	男	名古屋市立 大学大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	生薬ニンジンの修治に関する研究～免疫賦 活作用の増強について	R4.9.26	山村 壽男	牧野 利明	肥田 重明	梅澤 直樹	
甲第 390号	博士 (薬学)	(みにに ふみえ) 三谷 文美絵	女	名古屋市立 大学大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	がんにおける細胞外小胞産生亢進メカニズ ムの解明	R4.9.26	青山 峰芳	小根山 千歳	肥田 重明	井上 靖道	青木 正博
甲第 391号	博士 (薬科学)	(いしい けいすけ) 右井 圭介	男	名古屋市立 大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	発達期の脳形成におけるリーリンの機能 と、リーリン欠損に対するリーリントンパ ク質補充効果	R5.3.24	青山 峰芳	服部 光治	田中 正彦	矢木 宏和	
甲第 392号	博士 (薬科学)	(おがわ いさむ) 小川 勇	男	名古屋市立 大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	ヒト iPS 細胞由来腸管オルガノイドの新規 培養法の確立	R5.3.24	湯浅 博昭	松永 民秀	頭金 正博	田中 正彦	
甲第 393号	博士 (薬科学)	(さいとう たいき) 齋藤 泰輝	男	名古屋市立 大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	分泌経路上でタンパク質の糖鎖修飾を規定 するメカニズムの解明	R5.3.24	林 秀敏	加藤 晃一	中川 秀彦	服部 光治	矢木 宏和

甲第 394号	博士 (薬科学)	(なかにし あんな) 中西 杏菜	女	名古屋市立 大学 大学院	薬学研究科 創薬生命科学専攻	イベルメクチンの抗HBV作用とその作用機 序解析	R5.3.24	肥田 重明	松永 民秀	宇田川 剛	林 秀敏	
甲第 395号	博士 (薬学)	(あきの しょうご) 秋野 翔伍	男	名古屋市立 大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	リソソーム膜局在性排出トランスポーター としてのDIRC2/SLC49A4の機能的同定	R5.3.24	山村 壽男	湯浅 博昭	伊藤 佐生智	岩尾 岳洋	
甲第 396号	博士 (薬学)	(いながき そう) 稲垣 奏	男	名古屋市立 大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	ラット大動脈平滑筋細胞におけるミトフュ ージンの生理機能の解明	R5.3.24	白根 道子	山村 壽男	大矢 進 (医)	河野 孝夫	
甲第 397号	博士 (薬学)	(おおつか ゆうと) 大塚 勇斗	男	名古屋市立 大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	破骨細胞分化を促進する微小環境形成細胞 の骨破壊疾患への関与	R5.3.24	松永 民秀	青山 峰芳	平嶋 尚英	井上 靖道	
甲第 398号	博士 (薬学)	(かわで あきこ) 川出 希子	女	名古屋市立 大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	肺高血圧症における好発年齢モデル動物の 確立とコロソリン酸による病態改善効果	R5.3.24	牧野 利明	山村 壽男	伊藤 佐生智	岩尾 岳洋	
甲第 399号	博士 (薬学)	(きたの たくま) 北野 拓真	男	名古屋市立 大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	炎症初期におけるIL-3依存的な好塩基球 の局所変化と活性化制御	R5.3.24	林 秀敏	肥田 重明	青山 峰芳	頭金 正博	
甲第 400号	博士 (薬学)	(こばやし りほ) 小林 里帆	女	名古屋市立 大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	ショウジョウバエを用いた睡眠関連遺伝子 の機能解析	R5.3.24	星野 真一	糸 和彦	飯島 浩二 (客員 教授)	井上 靖道	

甲第 401号	博士 (薬学)	(とくがわ 宗成) 徳川 宗成	男	名古屋市立 大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	強心配糖体 periplocin による小胞体スト レス応答とがんドライバー分子 c-Myc の制 御を介した抗がん活性メカニズムの解析	R5. 3. 24	星野 真一	林 秀敏	中川 秀彦	牧野 利明	
甲第 402号	博士 (薬学)	(もり 泰毅) 森 泰毅	男	名古屋市立 大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専攻	神経性勃起不全に対する新規治療法の開発	R5. 3. 24	青山 峰芳	松永 民秀	中川 秀彦	肥田 重明	
甲第 403号	博士 (薬学)	(やました 美紗季) 山下 美紗季	女	名古屋市立 大学 大学院	薬学研究科 医療機能薬学専 攻	ヒト人工多能性幹細胞由来脳毛細血管内皮 細胞の分化誘導法の開発	R5. 3. 24	糸 和彦	松永 民秀	山村 壽男	湯浅 博昭	

## 2 修士学位取得者

学位 番号	分野名	性別	氏名	論文題目	日付	主査	副査	副査	副査
2299	神経薬理学	女	GARIBAGAOGLU RABIA	Lifespan and activity alterations by diet in <i>Drosophila melanogaster</i>	R4. 9. 26	条	頭金	肥田	鈴木 善幸
2300	生薬学	女	YANG HUANGQIZI	Screening of crude drug extracts that can prevent podocyte injury by lenvatinib.	R4. 9. 26	牧野	肥田	梅澤	-
2301	生薬学	男	王 慶源	イソマルトース加熱産物の in vivo 免疫調節活性	R4. 9. 26	牧野	頭金	伊藤	-
2302	薬化学	女	鳥居 志深	フォトレドックス触媒を用いたジメチルアミノ基の光脱メチル化反応の解析	R5. 3. 24	中川	中村	井上	-
2303	薬化学	女	野中 美香	光誘起電子移動を利用したりん光プローブの開発	R5. 3. 24	中川	梅澤	林	-
2304	薬化学	女	吉川 侑佳	PeT 型 NO ドナーの NO 放出部位の置換基効果の検証	R5. 3. 24	中川	池田	矢木	-
2305	精密有機反応学	女	加藤 舞子	一時的環状化による生物活性ペプチドの活性制御と細胞内移行	R5. 3. 24	梅澤	中川	尾関	-
2306	精密有機反応学	男	林 優樹	可逆的共有結合を用いた、ペプチド立体構造と機能の制御	R5. 3. 24	梅澤	池田	山中	-
2307	薬品合成化学	男	瀧川 皓太郎	スピロリド D の合成研究：1, 3-双極付加環化反応を用いる立体選択的な E 環部の構築	R5. 3. 24	中村	中川	石内	-
2308	薬品合成化学	男	野口 公寛	カドコッシラクトン A の合成研究 ～[4+3]付加環化反応による C 環形成～	R5. 3. 24	中村	梅澤	池田	-
2309	コロイド・ 高分子物性学	女	平井 綾音	高分子水溶液中でのマイクロゲル粒子の収縮挙動の研究	R5. 3. 24	山中	平嶋	田上	-
2310	コロイド・ 高分子物性学	男	藤澤 貫平	高分子共存下での荷電コロイド粒子の結晶化挙動	R5. 3. 24	山中	尾関	田中	-



2311	コロイド・ 高分子物性学	女	山口 めぐみ	二次元金コロイド結晶の構築とセンシング材料への応用	R5.3.24	山中	平嶋	梅澤	-
2312	生命分子構造 学	女	沈 佳娜	抗体分子中に隠された補体第一成分との結合部位に関する NMR 解析	R5.3.24	加藤	肥田	田中	-
2313	生命分子構造 学	男	西村 誠司	乾眠の分子機構の解明に向けたクマムシ固有タンパク質 CAHS の性状解析	R5.3.24	加藤	山中	尾関	-
2314	生命分子構造 学	女	山本 栞	ゴルジ体断片の分画に基づく糖転移酵素の局在機構の探査	R5.3.24	加藤	平嶋	星野	-
2315	分子生物薬学	男	山本 敬太郎	小胞体リソソーム間タンパク質 TMEM55B による ERphagy の制御機構	R5.3.24	白根	星野	山村	-
2316	薬物送達学	男	神谷 宝	鉄ナノ粒子を含有する機能性ナノコンポジット粉末吸入剤の開発	R5.3.24	尾関	山中	岩尾	-
2317	薬物送達学	男	恒川 勇太	アルベカシン封入リポソーム吸入剤の製剤設計	R5.3.24	尾関	平嶋	頭金	-
2318	薬物送達学	女	HEMAT MOSTAFA KAMAL ATTIA ELSAYED	Preparation and characterization of liposome containing tosylflouxacin-cyclodextrin inclusion complex	R5.3.24	尾関	湯浅	松永	-
2319	生薬学	男	日置 真太郎	ウマノスズクサのアルカロイド生合成酵素遺伝子の単離と機能解析	R5.3.24	牧野	中川	河野	-
2320	生薬学	女	満仲 安紀	中国伝統医学処方 X とその変方における補腎作用に関する研究	R5.3.24	牧野	青山	伊藤	-
2321	遺伝情報学	男	石川 裕之	オリゴアデニル酸合成酵素 OAS による新規 RNA3' 末端修飾と mRNA 代謝制御	R5.3.24	星野	糸	中津海	-
2322	遺伝情報学	男	中北 侑希	がん抑制遺伝子産物 BTG3 による mRNA ポリ A 鎖分解抑制機構	R5.3.24	星野	白根	石内	-

2323	遺伝情報学	女	西井 由佳	人工 mRNA の発現を効率化する技術の開発	R5.3.24	星野	青山	河野	-
2324	細胞分子薬効 解析学	女	加藤 由納	肺高血圧症患者由来肺動脈平滑筋細胞の周期における TRPC6 チャネルの役割	R5.3.24	山村	白根	大澤	-
2325	細胞分子薬効 解析学	男	川田 成紀	門脈平滑筋に発現するカルシウム活性化クロライド TMEM16A チャネルのカベオリン 1 による制御	R5.3.24	山村	肥田	大矢 (医)	-
2326	細胞分子薬効 解析学	女	中島 七海	CaMKK2 ノックアウトマウスを用いた血管リモデリングに対する CaMKK2 の役割の解明	R5.3.24	山村	糸	田中	-
2327	病態生化学	男	安藤 飛悠吾	神経細胞膜を構成するスフィンゴ脂質の分布に対するリーリンの影響	R5.3.24	服部	林	矢木	-
2328	病態生化学	男	梅村 悠太	アミノリン脂質フリッパーゼ欠損による神経疾患の発症機構に関する研究	R5.3.24	服部	宇田川	大澤	-
2329	病態生化学	男	大宅 真太郎	神経細胞膜流動性の局所的な差異の意義に関する研究	R5.3.24	服部	青山	白根	-
2330	薬物動態制御学	男	難波 知堯	コリンの小腸吸収における上皮細胞取込に働く新規トランスポーターの機能解析	R5.3.24	湯浅	糸	岩尾	-
2331	薬物動態制御学	女	牧平 伊代	脳で高発現する新規カチオントランスポーターの機能探索：ethidium 輸送活性の利用	R5.3.24	湯浅	山村	井上	-
2332	病態解析学	女	加藤 里菜	神経芽腫に対する細胞周期チェックポイント阻害剤併用による抗腫瘍効果の検討	R5.3.24	青山	岩尾	中津海	-
2333	病態解析学	男	福田 直哉	TRPV4 を介した低体温療法によるミクログリア活性化抑制機序の解析	R5.3.24	青山	田上	松永	-
2334	細胞情報学	男	安達 晴喜	脱ユビキチン化酵素 USP2 による転写共役因子 TAZ 発現制御の解析	R5.3.24	林	肥田	頭金	-
2335	細胞情報学	女	鯨井 千実	アカネ由来環状ヘキサペプチドの多発性骨髄腫に対する抗腫瘍活性の作用機序の解析	R5.3.24	林	牧野	梅澤	-

2336	神経薬理学	男	酒井 皓介	ショウジョウバエのアミノ酸トランスポーターによる睡眠制御機構	R5.3.24	糸	服部	関谷	-
2337	神経薬理学	女	西 風花	マウスにおける、グリア細胞活性の活動・休息への影響	R5.3.24	糸	山村	井上	大澤
2338	神経薬理学	男	三宅 遼	睡眠要求指標リン酸化タンパク質群(SNIPPs)による睡眠制御の網羅的解析	R5.3.24	糸	飯島	中津海	-
2339	レギュラトリーサイエンス	男	家田 維哉	医療情報データベースを活用した抗菌薬による薬剤性急性腎障害の発症リスク及び慢性腎臓病へ移行するリスクの評価	R5.3.24	頭金	松永	大澤	-
2340	レギュラトリーサイエンス	男	伊藤 潤	化学構造情報からヒトの皮膚感作性を予測する機械学習モデルの開発	R5.3.24	頭金	奥菌	糸	-
2341	レギュラトリーサイエンス	女	片山 早紀	ナショナルレセプトデータベースを使用したワルファリンに対する直接経口抗凝固薬(DOAC)の有用性に関する研究	R5.3.24	頭金	鈴木	牧野	-
2342	レギュラトリーサイエンス	女	中森 瑞季	モガムリズマブ投与患者における重篤な皮膚障害の発症に関連するバイオマーカーの探索研究	R5.3.24	頭金	肥田	岩尾	-
2343	臨床薬学	女	岩崎 萌実	薬物評価や病態解明への応用に向けたヒト iPS 細胞由来ポドサイトの作製	R5.3.24	松永	青山	井上	-
2344	臨床薬学	男	深谷 壮弥	小腸-肝臓連結 Microphysiological System の構築と創薬への応用	R5.3.24	松永	湯浅	頭金	-

### 3 講演会等

(2022年1月から2022年12月)

開催日： 2022年7月14日  
講演会： 創薬人育成スクールビギナーコース講演会  
講師： 吉田 耕三  
所属： 住友ファーマ株式会社 リサーチディビジョン化学研究ユニット第2グループマネージャー  
演題： くすりをデザインする~タネを見つける、育てる~  
世話人： 中川秀彦

開催日： 2022年10月12日  
講演会： 第43回若手イブニングセミナー  
講師： 小幡 史明  
所属： 理化学研究所 生命機能科学研究センター栄養応答研究チーム  
演題： アミノ酸が支配する個体栄養応答  
世話分野： 薬化学分野

開催日： 2022年10月13日  
講演会： 第23回NCU Life Science Seminar  
講師： 西増 弘志  
所属： 東京大学先端科学技術研究センター  
演題： RNA依存性ヌクレアーゼ-プロテアーゼ CRISPR-Cas7-11の構造・機能・応用  
世話分野： 薬化学分野

開催日： 2022年9月14日~16日  
講演会： 日本マイクログラフィティ応用学会 第34回学術講演会(JASMAC-34)  
場所： 名古屋市立大学  
世話人： 山中淳平, 奥蘭透, 豊玉彰子

開催日： 2022年8月27日  
講演会： 次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム2022  
場所： 静岡県立大学 薬学部  
世話人： 山村彩、鈴木良明、近藤るびい、金子雪子、山口桃生、伊藤由彦

開催日： 2022年10月18日  
講演会： 日本薬学会 東海支部主催 特別講演会  
講師： 村山尚  
所属： 順天堂大学 大学院医学研究科 細胞・分子薬理学  
演題： リアノジン受容体チャネルの機能制御：筋疾患と創薬  
世話分野： 細胞分子薬効解析学分野

開催日： 2023年2月7日  
講演会： 第26回NCU ライフサイエンスセミナー  
講師： 岩崎広英教授  
所属： 群馬大学大学院医学研究科教授  
演題： 電子顕微鏡イメージング技術を用いたシナプス形成機構の解明  
世話分野： 病態生化学分野

開催日： 2022年01月20日  
講演会： 医療事故研究会

場所： Online  
演者： 糸和彦

開催日：2022年01月30日  
講演会：痛み研究会2021  
場所： Online  
演者： 大澤匡弘

開催日：2022年03月05日  
講演会：第35回 Tokyo Diabetes Seminar 学術講演会  
場所： 東京  
演者： 糸和彦

開催日：2022年07月23日  
講演会：早稲田大学生物学特別講義  
場所： オンライン  
演者： 糸和彦

開催日：2022年08月12日  
講演会：Sapporo Symposium on Biological Clock 2022  
場所： 札幌  
演者： 糸和彦

開催日：2022年09月15日  
講演会：MSD プライマリーケアにおける疾患啓発セミナー  
場所： 名古屋  
演者： 糸和彦

開催日：2022年09月30日  
講演会：日本いのちの電話連盟 相談員全国研修会 2022  
場所： オンライン  
演者： 糸和彦

開催日： 2022年12月19日  
講演会：日本薬学会東海支部特別講演会  
講師： 城村 由和 教授  
所属： 金沢大学がん進展制御研究所がん幹細胞研究プログラム がん・老化生物学分野  
演題： 細胞老化の統合的理解による先進的健康寿命制御法の開発を目指して  
場所： 名古屋市立大学大学院薬学研究科 会議室  
世話人： 矢木 宏和

## 4 研究業績目録

(2022年1月から2022年12月)

## 【薬化学分野】

(原報)

Naoya Ieda, Yuka Yoshikawa, Natsumi Tomita, Kei Ohkubo, Yuji Hotta, Mitsuyasu Kawaguchi, Kazunori Kimura, and Hidehiko Nakagawa

Ascorbate-assisted nitric oxide release from photocontrollable nitrosonium ion releasers for potent *ex vivo* photovasodilation

*Chem. Commun.*, **58**, 8420-8423 (2022).

Mitsuyasu Kawaguchi, Yuri Furuse, Naoya Ieda, and Hidehiko Nakagawa

Development of Nucleoside Diphosphate-Bearing Fragile Histidine Triad-Imaging Fluorescence Probes with Well-Tuned Hydrophobicity for Intracellular Delivery

*ACS Sensors*, **7**, 2732-2742 (2022).

Kan'ichiro Ishiuchi, Akiho Nagumo, Mitsuyasu Kawaguchi, Honoka Furuyashiki, Hidehiko Nakagawa, and Dai Hirose

Stereochemistries of Mariannamides C and D, Two Lipohexapeptides, Isolated from *Mariannaea elegans* NBRC102301

*Heterocycles*, **104**, 1822-1835 (2022).

Keisuke Maeda, Makoto Habara, Mitsuyasu Kawaguchi, Hiroaki Matsumoto, Shunsuke Hanaki, Takahiro Masaki, Yuki Sato, Hideyasu Matsuyama, Kazuki Kunieda, Hidehiko Nakagawa, and Midori Shimada

FKBP51 and FKBP52 regulate androgen receptor dimerization and proliferation in prostate cancer cells

*Molecular Oncology*, **16**, 940-956 (2022).

(総説・著書・総合論文など)

堀田祐志、家田直弥

光制御可能な NO ドナーの開発と難治性勃起不全への応用

月刊「細胞」, **54**, 147-150 (2022).

川口充康、中嶋雄哉、中川秀彦

Sirtuin 蛍光プローブの創製とそれを活用した論理的阻害剤開発および探索

有機合成化学協会誌, **80**, 831-842 (2022).



(学会発表)

舘実優、家田直弥、川口充康、中川秀彦

キサントレン色素を用いた可視光応答性ケージド基の合成と機能評価

日本酸化ストレス学会東海支部 第10回記念学術集会, 2022年2月9日、津、O-7 (オンライン開催)

中嶋雄哉、川口充康、家田直弥、中川秀彦 **【学生優秀発表賞】**

Sirtuin 脱アシル化活性を one step で検出可能な蛍光プローブ群の開発とその応用

日本薬学会第142年会, 2022年3月25-28日、名古屋、26S-pm07S (オンライン開催)

齋藤大介、家田直弥、堀田祐志、川口充康、木村和哲、中川秀彦

高効率な可視光応答性 NO ドナーの開発とその応用

日本ケミカルバイオロジー学会第16回年会, 2022年5月30日-6月1日、富山、PA-25

家田直弥、中村旭良、舘実優、川口充康、中川秀彦

光レドックス反応をトリガーにした可視光応答ケージド基の合成と光分解性の評価

日本ケミカルバイオロジー学会第16回年会, 2022年5月30日-6月1日、富山、PB-56

古屋敷帆乃花、川口充康、家田直弥、中川秀彦 **【学生優秀発表賞】**

細胞膜透過型ペプチド性 SIRT2 阻害剤の開発と細胞障害性評価

第68回日本薬学会東海支部総会・大会, 2022年7月9日、名古屋、C12-S

家田直弥、吉川侑佳、富田なつみ、堀田祐志、川口充康、木村和哲、中川秀彦

アスコルビン酸による光応答性 NO<sup>+</sup>ドナーからの高効率一酸化窒素放出

2022年光化学討論会, 2022年9月13-15日、京都、1P64

齋藤大介、家田直弥、大山享也、堀田祐志、川口充康、木村和哲、中川秀彦

テルロローダミンをアンテナとする光制御 NO ドナーの開発と血管弛緩制御への応用

2022年光化学討論会, 2022年9月13-15日、京都、3B05

家田直弥、中川秀彦

血流を光で操る新しい分子技術

JST戦略的創造研究推進事業① 新技術説明会, 2022年10月21日、オンライン開催

Daisuke Saitoh, Naoya Ieda, Kyoya Oyama, Yuji Hotta, Mitsuyasu Kawaguchi, Kazunori Kimura, Hidehiko Nakagawa **【Travel Award】**

Development and application of a visible-light-responsive NO releaser containing tellurorhodamine as an antenna

The 12th International Conference on the Biology, Chemistry, and Therapeutic Applications of Nitric Oxide, 2022 年 10 月 29-30 日、仙台、P54

野中美香、川口充康、家田直弥、中川秀彦

光誘起電子移動を利用したりん光プローブの開発

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2022, 2022 年 11 月 6 日、静岡、L-11

鳥居志深、家田直弥、川口充康、中川秀彦

エオシン Y を用いたジメチルアミノ基の光脱メチル化反応の解析

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2022, 2022 年 11 月 6 日、静岡、L-12

家田直弥、中川秀彦

光誘起電子移動駆動型ケージド分子群の開発と生体機能の光制御

第 61 回電子スピンサイエンス学会年会, 2022 年 12 月 2-4 日、熊本、2S-03

## 【精密有機反応学分野】

(原報)

Wakao Fukuda, Mamoru Osaki, Yusuke Yasuda, Ryota Hidese, Tsunehiko Higuchi, Naoki Umezawa, Shinsuke Fujiwara, Eiichi Mizohata

Substrate specificity of an aminopropyltransferase and the biosynthesis pathway of polyamines in the hyperthermophilic crenarchaeon *pyrobaculum calidifontis*

*Catalysts*, **12**, 567 (2022).

(総説・著書・総合論文など)

Shin Aoki, Kenta Yokoi, Yosuke Hisamatsu, Chandrasekar Balachandran, Yuichi Tamura, Tomohiro Tanaka Post-complexation functionalization of cyclometalated iridium(III) complexes and applications to biomedical and material sciences

*Top. Curr. Chem.*, **380**, 36 (2022).

(学会発表)

両親媒性 4-アミノキノリン誘導体を用いた分子集合体の構築

久松 洋介、程 方舟、山本 勝宏、高瀬 弘嗣、梅澤 直樹、樋口 恒彦

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25 - 28 日 (名古屋) .

生理活性大環状化合物の新しい一般的ケーシング法としてのカテナン構造化制御

樋口 恒彦、橋本 英典、高田 将史、久松 洋介、梅澤 直樹

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25 - 28 日 (名古屋) .

一時的環状化を用いた、細胞内で作用する p53/MDM2 阻害ペプチドの開発

梅澤 直樹、加藤 舞子、井上 靖道、久松 洋介、林 秀敏、樋口 恒彦

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25 - 28 日 (名古屋) .

Yosuke Hisamatsu, Fangzhou Cheng, Katsuhiko Yamamoto, Hiroshi Takase, Naoki Umezawa, Tsunehiko Higuchi 【招待講演】

Control of the Self-Assembly Process of an Amphiphilic 4-Aminoquinoline-Tetraphenylethene Conjugate

ICPAC Kota Kinabalu 2022, 2022 年 11 月 22 – 11 月 27 日 (Sabah, Malaysia).

## 【薬品合成化学分野】

(原報)

Kimihiko Noguchi, Sayuri Saito, Hiroyuki Yamakoshi, Seiichi Nakamura

Stereoselective synthesis of the DE ring portion of kadcoccolactone A by a radical addition/cyclization approach.

*Eur. J. Org. Chem.*, e202201201 (2022).

Ranmaru Kato, Hiroki Saito, Kazutada Ikeuchi, Takahiro Suzuki, Keiji Tanino

Total synthesis and structural revision of the 6,11-epoxyisodaucane natural sesquiterpene using an anionic  $8\pi$  electrocyclic reaction.

*Org. Lett.*, **24**, 7939-7943 (2022).

Kosuke Kato, Kazutada Ikeuchi, Takahiro Suzuki, Keiji Tanino

Total synthesis of 2-isocyanoallopupukeanane: construction of caged skeleton by intramolecular alkylation of bromonitriles.

*Org. Lett.*, **24**, 6407-6411 (2022).

Hajime Hashimoto, Shinnosuke Wakamori, Kazutada Ikeuchi, Hidetoshi Yamada

Divergent synthesis of four monomeric ellagitannins toward the total synthesis of an oligomeric ellagitannin, nobotanin K.

*Organics*, **3**, 293-303 (2022).

(学会発表)

安藤龍志, 加藤美里, 山越博幸, 中村精一

三成分連結法/6-endo 環化による二環性トランス縮環化合物合成法の開発.

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 26 日 (オンライン) .

秋山敏毅, 山内裕貴, 山越博幸, 中村精一

Kornblum 酸化型シクロプロパン開環反応の開発.

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 26 日 (オンライン) .

瀧川皓太郎, 戸井田明憲, 山越博幸, 中村精一

スピロリド D の合成研究 ―ヘミケタールアルコキシドの 1,4-付加による B 環構築―.  
日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 27 日 (オンライン) .

秋山敏毅, 山内裕貴, 山越博幸, 中村精一  
DMSO を求核剤とする酸化的シクロプロパン開環反応の開発.  
第 68 回日本薬学会東海支部総会・大会, 2022 年 7 月 9 日 (名古屋) .

安藤龍志, 加藤美里, 山越博幸, 中村精一  
三成分連結法/6-endo 環化によるトランス縮環化合物の二段階構築法の開発.  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2022, 2022 年 11 月 6 日  
(静岡) .

池内和忠, 捧智成, 廣川歆人, 谷野圭持  
1,3-シクロペンタンジオンから誘導可能な 1,4-ビスシリルエノールエーテルの特性を利用した  
ノルボルナン化合物の創出.  
第 93 回メディシナルケミトリーシンポジウム, 2022 年 11 月 23 日 (オンライン) .

安藤龍志, 加藤美里, 山越博幸, 中村精一  
三成分連結法/6-endo 環化によるトランス縮環二環式骨格構築法の開発.  
第 48 回反応と合成の進歩シンポジウム, 2022 年 11 月 28 日 (千葉)

## 【生体超分子システム解析学分野】

(原報)

Hikaru Teramoto, Naohide Hirashima, Masahiko Tanaka

A simple method for purified primary culture of enteric glial cells from mouse small intestine.

*Biol. Pharm. Bull.*, **45**, 547-551 (2022).

Yurina Aoyama, Akiko Toyotama, Tohru Okuzono, Naohide Hirashima, Hiroki Imai, Fumio Uchida,

Yoshihiro Takiguchi, Junpei Yamanaka

Surface plasmon resonance of two-dimensional gold colloidal crystals formed on gold plates.

*Chem. Pharm. Bull.*, **70**, 130-137 (2022).

(学会発表)

近藤大介, 松村綾子, 板倉 誠, 鈴木瑠理子, 田中正彦, 平嶋尚英

セロトニン受容体アンタゴニスト methiothepin によるマスト細胞からの炎症性メディエーター遊離抑制作用とその作用機序解明.

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 26 日 (オンライン開催) ; 26N-am02S

鈴木瑠理子, 伊納義和, 横川 慧, 古野忠秀, 平嶋尚英

マスト細胞の Fc 受容体の架橋・解離によるアクチンダイナミクスの制御機構.

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 26 日 (オンライン開催) ; 26PO1-pm1-17

棚橋佑吏, 平嶋尚英, 田中正彦

小腸炎を引き起こす GFAP-Cre calcineurin B $\alpha$ <sup>fl/fl</sup> mice におけるマスト細胞安定化薬及び抗菌薬の効果.

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 26 日 (オンライン開催) ; 26PO10-pm1-06.

田中正彦, 寺本 光, 平嶋尚英

Calcineurin 欠損腸管グリア細胞における増殖能低下と分泌物質変化: 小腸の機能異常及び炎症との関連.

第 45 回日本神経科学大会・第 65 回日本神経化学学会大会・第 32 回日本神経回路学会大会合同大会 (NEURO2022), 2022 年 7 月 1 日 (沖縄; ハイブリッド開催) ; 2P-054.

鈴木瑠理子, 伊納義和, 横川 慧, 古野忠秀, 平嶋尚英  
マスト細胞におけるアクチン重合・脱重合制御シグナル機構の研究.  
第 68 回日本薬学会東海支部大会, 2022 年 7 月 9 日 (名古屋) ; I10

鈴木瑠理子, 伊納義和, 横川 慧, 古野忠秀, 平嶋尚英  
IgE 受容体の架橋状態の変化によるマスト細胞のアクチンダイナミクス制御シグナル機構.  
第 45 回日本分子生物学会年会, 2022 年 12 月 1 日 (千葉) ; 2P-474

鷺崎加奈, 平嶋尚英, 田中正彦  
GFAP-Cre calcineurin B $\alpha^{fl/fl}$  mice における腭星細胞および腭臓の異常.  
第 45 回日本分子生物学会年会, 2022 年 12 月 2 日 (千葉) ; 3P-696.



## 【コロイド・高分子物性学分野】

(原報)

Y. Aoyama, A. Toyotama, T. Okuzono, N. Hirashima, H. Imai, F. Uchida, Y. Takiguchi, and J. Yamanaka

Surface Plasmon Resonance of Two-dimensional Gold Colloidal Crystals Formed on Gold Plates.  
*Chem. Pharm. Bull.* **70**, 130-137 (2022). [Editors'Choice]

Y. Aoyama, N.Sato, A.Toyotama, T.Okuzono, and J.Yamanaka

Particle Adsorption on Polymer Gel Surface Driven by van der Waals Attraction.  
*Bull. Chem. Soc. Jpn.* **95**, 314-324 (2022).

J. Nozawa, S. Uda, A. Toyotama, J. Yamanaka, H. Niinomi, and J. Okada

Heteroepitaxial Fabrication of Binary Colloidal Crystals by a Balance of Interparticle Interaction and Lattice Spacing.  
*J. Colloid Interf. Sci.* **608**, 873-881(2022).

(総説・著書・総合論文など)

山中淳平,奥菌透,豊玉彰子

「高分子微粒子の最新技術動向」監修 川口正剛

コロイド微粒子の会合体形成.

シーエムシー出版, 第9章(2022).

豊玉彰子, 井岡未優【依頼原稿】

枯渴引力による金微粒子のコロイド結晶化と SERS 基板への応用  
*Colloid & Interface Communication* Vol.47, No.2 (2022).

J.Yamanaka, T.Okuzono, and A.Toyotama

Springer Video Series “Visual Guide to Study Self-Assembly of Colloids“  
Springer-Nature (2022).

(学会発表)

豊玉彰子,井岡未優,山中淳平【招待講演】

2022年日本結晶成長学会特別講演会

『赤崎勇先生追悼講演会 ～結晶成長が描く夢の継承～』

コロイド系の結晶化と新規材料への応用, 2022年2月18日(オンライン参加)。

山中淳平

GAPフェンドプログラム成果報告会

コロイド結晶化技術の事業化検証—金ナノ粒子の自己組織化による超高感度センサー

2022年2月23日(オンライン参加)。

佐々木さやか,奥藪透,豊玉彰子,山中淳平

表面化学反応を伴う荷電コロイド粒子の力学応答。

日本物理学会第77回年次大会, 2022年3月18日(オンライン開催)。

山中淳平

金ナノ粒子の自己組織化による超高感度センサー

中部圏オープンイノベーションピッチ『Cent Pitch』#21, 2022年7月6日(名古屋市)。

平井綾音, 佐藤結, Priti S. Mohanty, 豊玉彰子, 奥藪透, 山中淳平

高分子添加による水中でのマイクロゲル粒子の収縮挙動。

第68回日本薬学会東海支部総会・大会, 2022年7月9日(名古屋市)。

三木裕之, 石神瑛圭, 土井眞帆, 森優月, 豊玉彰子, 奥藪透, 山中淳平, 足立聡, 坂下哲也, 島岡太郎, 永井正恵, 渡邊勇基, 福山誠二郎

微小重力下における荷電コロイド粒子の会合体形成。

日本マイクログラビティ応用学会 第34回学術講演会(JASMAC-34), 2022年9月14日(名古屋市)。

土井眞帆, 三木裕之, 豊玉彰子, 奥藪透, 山中淳平, 足立聡, 坂下哲也, 島岡太郎, 永井正恵, 渡邊勇基, 福山誠二郎

宇宙実験で生成した荷電コロイド粒子の集合体構造の解析

日本マイクログラビティ応用学会 第34回学術講演会(JASMAC-34), 2022年9月16日(名古屋市)。

山中淳平【招待講演】

自己集合によるコロイド系の構造形成.

第 73 回コロイドおよび界面化学討論会, 2022 年 9 月 21 日 (オンライン参加・東広島市) .

平井綾音, 佐藤結, Priti S. Mohanty, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平

高分子水溶液中でのマイクロゲル粒子の収縮挙動.

第 73 回コロイドおよび界面化学討論会, 2022 年 9 月 22 日 (オンライン参加・東広島市) .

竹本満里菜, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平

基板上でのコロイド結晶形成過程のその場観察.

第 73 回コロイドおよび界面化学討論会, 2022 年 9 月 22 日 (オンライン参加・東広島市) .

田代耀, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平

高分子電解質共存下での荷電コロイド分散系の結晶化.

第 73 回コロイドおよび界面化学討論会, 2022 年 9 月 22 日 (オンライン参加・東広島市) .

平井綾音, 佐藤結, Priti S. Mohanty, 豊玉彰子, 奥菌透, 山中淳平

高分子水溶液中でのマイクロゲル粒子の収縮挙動

第 53 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 2022 年 11 月 6 日 (オンライン参加・豊田市) .

豊玉彰子【依頼講演】

界面活性剤概論～物理化学の視点から～

界面科学実践講座 2022, 2022 年 12 月 2 日(名古屋市工業研究所, 名古屋市)

山中淳平【招待講演】

コロイド粒子の自己集合による構造形成.

2022 年度関西接着ワークショップ 第 3 回研究会『分散・凝集の科学と技術』, 2022 年 12 月 23 日 (オンライン開催)

## 【生命分子構造学分野】

(原報)

Siriluk Ratanabunyong, Supaphorn Seetaha, Supa Hannongbua, Saeko Yanaka, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato, Atchara Paemane, and Kiattawee Choowongkomon  
Biophysical characterization of novel DNA aptamers against K103N/Y181C double mutant HIV-1 reverse transcriptase  
*Molecules* **27**, 285 (2022).

Saeko Yanaka, Shigetaka Nishiguchi, Rina Yogo, Hiroki Watanabe, Jiana Shen, Hirokazu Yagi, Takayuki Uchihashi, and Koichi Kato  
Quantitative visualization of the interaction between complement component C1 and immunoglobulin G: The effect of CH1 domain deletion  
*Int. J. Mol. Sci.* **23**, 2090 (2022).

Yasuhiro Yunoki, Atsushi Matsumoto, Ken Morishima, Anne Martel, Lionel Porcar, Nobuhiro Sato, Rina Yogo, Taiki Tominaga, Rintaro Inoue, Maho Yagi-Utsumi, Aya Okuda, Masahiro Shimizu, Reiko Urade, Kazuki Terauchi, Hidetoshi Kono, Hirokazu Yagi, Koichi Kato, and Masaaki Sugiyama  
Overall structure of fully assembled cyanobacterial KaiABC circadian clock complex by an integrated experimental-computational approach  
*Commun. Biol.* **5**, 184 (2022).

Saeko Yanaka, Hirokazu Yagi, Rina Yogo, Masayoshi Onitsuka, and Koichi Kato  
Glutamine-free mammalian expression of recombinant glycoproteins with uniform isotope labeling: an application for NMR analysis of pharmaceutically relevant Fc glycoforms of human immunoglobulin G1  
*J. Biomol. NMR* **76**, 17-22 (2022).

Yuki Yamaguchi, Natsumi Wakaizumi, Mine Irisa, Takahiro Maruno, Mari Shimada, Koya Shintani, Haruka Nishiumi, Rina Yogo, Saeko Yanaka, Daisuke Higo, Tetsuo Torisu, Koichi Kato, and Susumu Uchiyama  
The Fab portion of immunoglobulin G has sites in the CL domain that interact with Fc gamma receptor IIIa  
*MAbs* **14**, 2038531 (2022).

Kiyotaka Kondo, Yoichiro Harada, Miyako Nakano, Takehiro Suzuki, Tomoko Fukushige, Ken Hanzawa, Hirokazu Yagi, Koichi Takagi, Keiko Mizuno, Yasuhide Miyamoto, Naoyuki Taniguchi, Koichi Kato, Takuro Kanekura, Naoshi Dohmae, Kentaro Machida, Ikuro Maruyama, and Hiromasa Inoue  
Identification of distinct N-glycosylation patterns on extracellular vesicles from small-cell and non-small-cell lung cancer cells  
*J. Biol. Chem.* **298**, 101950 (2022).

Yuki Yoshida, Tadashi Satoh, Chise Ota, Sae Tanaka, Daiki D. Horikawa, Masaru Tomita, Koichi Kato, and Kazuharu Arakawa  
Time-series transcriptomic screening of factors contributing to the cross-tolerance to UV radiation and anhydrobiosis in tardigrades  
*BMC Genomics* **23**, 405 (2022).

Hirokazu Yagi, Eijiro Amagasa, Masaaki Shiota, Issaku Yamada, Kiyoko F Aoki-Kinoshita, and Koichi Kato  
GALAXY ver3: updated web application for glycosylation profiling based on 3D HPLC map

*Glycobiology* **32**, 646-650 (2022).

Takanori Matsumaru, Kasumi Sakuratani, Saeko Yanaka, Koichi Kato, Sho Yamasaki, and Yukari Fujimoto

Fungal  $\beta$ -mannosyloxymannitol glycolipids and their analogues: synthesis and mincle-mediated signaling activity

*Eur. J. Org. Chem.* **2022**, e202200109 (2022).

Ryu Hashimoto, Masafumi Minoshima, Souhei Sakata, Fumihito Ono, Hirokazu Ishii, Yuki Watakabe, Tomomi Nemoto, Saeko Yanaka, Koichi Kato, and Kazuya Kikuchi

Efficient visible/NIR light-driven uncaging of hydroxylated thiazole orange-based caged compounds in aqueous media

*Chem. Sci.* **13**, 7462-7467 (2022).

Fumiko Umezawa, Makoto Natsume, Shigeki Fukusada, Kazuki Nakajima, Fumiya Yamasaki, Hiroto Kawashima, Chu-Wei Kuo, Kay-Hooi Khoo, Takaya Shimura, Hirokazu Yagi, and Koichi Kato

Cancer malignancy is correlated with upregulation of PCYT2-mediated glycerol phosphate modification of  $\alpha$ -dystroglycan

*Int. J. Mol. Sci.* **23**, 6662 (2022).

Taiki Saito, Hirokazu Yagi, Chu-Wei Kuo, Kay-Hooi Khoo, and Koichi Kato

An embeddable molecular code for Lewis X modification through interaction with fucosyltransferase 9

*Commun. Biol.* **5**, 676 (2022).

Satoru G. Itoh, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato, and Hisashi Okumura

Key residue for aggregation of amyloid- $\beta$  peptides

*ACS Chem. Neurosci.* **22**, 3139-3151 (2022).

(総説・著書・総合論文など)

矢木真穂

からだの中がゲルになる！？ クマムシだけが持つタンパク質の役割

*someone* **58**, 18-19 (2022).

Koichi Kato, Takumi Yamaguchi, and Maho Yagi-Utsumi

Experimental and computational characterization of dynamic biomolecular interaction systems involving glycolipid glycans

*Glycoconj. J.* **39**, 219-228 (2022).

Richard D. Cummings, Marilyn E. Etzler, T.N.C. Ramya, Koichi Kato, Gabriel A. Rabinovich, and Avadhesh Surolia

L-type lectins

Essential Glycobiology, 4th edition (A.Varki, R.D.Cummings, J.D. Esko, P.Stanley, G.W. Hart, M.Aebi, D.Mohnen, T.Kinoshita, N.H.Packer, J.H.Prestegard, R.L. Schnaar, P.H.Seeberger ed.), Cold Spring Harbor (New York), Chapter 32 (2022).

Kunihiro Kuwajima, Maho Yagi-Utsumi, Saeko Yanaka, and Koichi Kato

DMSO-quenched H/D-exchange 2D NMR spectroscopy and its applications in protein science

*Molecules* **27**, 3748 (2022).

Maho Yagi-Utsumi and Koichi Kato

Conformational variability of amyloid- $\beta$  and the morphological diversity of its aggregates

*Molecules* **27**, 4787 (2022).

矢木真穂, 加藤晃一  
クマムシの乾燥耐性の仕組み～水分消失に伴うタンパク質の繊維化～  
生物物理, **62**, 232-234 (2022).

Koichi Kato, Hirokazu Yagi, and Saeko Yanaka  
Four-dimensional Structures and Molecular Designs of Glycans  
*Trends Glycosci. Glycotech.* **34**, E85-E90 (2022).

Yoshiki Yamaguchi, Takumi Yamaguchi, and Koichi Kato  
Structural analysis of oligosaccharides and glycoconjugates using NMR  
*Advances in Neurobiology* (C.-L.Schengrund and R.K.Yu ed.), Springer (Cham), 29, pp.163-184 (2022).

加藤晃一, 谷中冴子  
抗体のエフェクター活性と定常部を介した抗体の高機能化  
実験医学, **40**, 3253-3258 (2022).

柚木康弘, 松本 淳, 守島 健, Anne Martel, Lionel Porcar, 佐藤信浩, 與語理那, 富永大輝,  
矢木真穂, 井上倫太郎, 河野秀俊, 矢木宏和, 加藤晃一, 杉山正明  
時計タンパク質複合体の構造解析を通して明らかとなった中性子小角散乱の強み  
日本中性子科学会誌「波紋」, **40**, 158-164 (2022).

矢木真穂, 加藤晃一  
“地上最強生物”クマムシの乾眠の分子機構の解明に挑む  
生化学, **94**, No.6, 888-891 (2022).

Hirokazu Yagi and Koichi Kato  
Multidimensional high-performance liquid chromatography-mapping method for N-linked glycan analysis  
*Glycoscience Protocols (GlycoPODv2)* (S.Nishihara, K.Angata, K.F.Aoki-Kinoshita, J.Hirabayashi et al. ed.), Japan Consortium for Glycobiology and Glycotechnology (Saitama)  
<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK593948/> (2022).

(学会発表)

矢木宏和  
ジストログリカンの糖鎖伸長終結因子グリセロールリン酸による生理的調節機能とがん悪性化機構に関する研究開発  
令和3年度 プロテオスタシス領域キックオフミーティング  
2022年1月12日【ハイブリット開催】(東京)

Jinbo Shim, 矢木宏和, 武村政春, 古川潤一, 加藤晃一  
巨大ウイルスおよびその宿主であるアカントアメーバの糖鎖構造解析  
第17回 糖鎖科学中部拠点 若手のカフォーラム 2022年1月13日【オンライン開催】; O-5.

矢木-内海真穂, 青木一洋, 渡辺大輝, Chihong Song, 西村誠司, 佐藤匡史, 谷中冴子,  
Christian Ganser, 田中 冴, Vincent Schnapka, Ean Wai Goh, 古谷祐詞, 村田和義, 内橋貴之,  
荒川和晴, 加藤晃一  
ヨコヅナクマムシ由来 CAHS1 タンパク質の乾燥ストレスに伴う自己集合

第6回クマムシ学研究会 2022年1月16日【オンライン開催】；セッション2.

矢木宏和, 柚木康弘, 松本 淳, 守島 健, 井上倫太郎, 加藤晃一, 河野秀俊, 杉山正明  
物理化学的手法と計算機による概日リズムの発振に関わるタンパク質複合体の構造解析  
京都大学複合原子力科学研究所 第56回 学術講演会  
2022年2月9日【オンライン開催】；セッション B-No.3.

柚木康弘, 児玉篤治, 矢木真穂, 守島 健, 清水将裕, 奥田 綾, 佐藤信浩, 井上倫太郎, 裏出  
令子, 矢木宏和, 加藤晃一, 杉山正明  
分子機械 KaiC6 量体による概日リズムの制御  
京都大学複合原子力科学研究所 第56回 学術講演会  
2022年2月9日【オンライン開催】；セッション B-No.7.

加藤晃一  
ゴルジ体の動態解明に基づく糖鎖修飾の制御  
細胞内現象の時空間ダイナミクス [細胞内大学] 領域班会議  
2022年2月24日【オンライン開催】

川崎夏輝, 井上倫太郎, 守島 健, 佐藤信浩, 清水将裕, 柚木康弘, 奥田 綾, 裏出令子,  
HIRANYAKORN Methanee, 矢木-内海真穂, 加藤晃一, 杉山正明  
X線小角散乱と全原子分子動力学シミュレーションによるマルチドメインタンパク質の溶液構  
造ダイナミクス研究  
2021年度量子ビームサイエンスフェスタ 2022年3月8日【オンライン開催】；PC3-60\_M-128.

矢木宏和  
糖転移酵素によるタンパク質特異的な糖鎖修飾機構  
新学術領域研究「オルガネラゾーン」班会議 2022年3月16日【オンライン開催】

宮島将吾, 矢木真穂, 加藤晃一, 内橋貴之  
抗体によるアミロイドβ線維の伸長阻害の高速 AFM イメージング  
令和3年度 生物物理学会中部支部講演会 2022年3月17日【オンライン開催】；全体講演  
G05.

沈 佳娜, 谷中冴子, 西口茂孝, 内橋貴之, 加藤晃一  
抗体分子に隠された補体第一成分の相互作用部位の探査  
令和3年度 生物物理学会中部支部講演会 2022年3月17日【オンライン開催】；全体講演 G11.

戸室幸太郎, 矢木宏和, 関口太一郎, 谷中冴子, 内橋貴之, 武村政春, 加藤晃一  
巨大ウイルスが有する糖転移酵素様タンパク質の性状解析  
令和3年度 生物物理学会中部支部講演会 2022年3月17日【オンライン開催】；個別講演 B17.

金岡優依, 矢木宏和, 加藤晃一, Florence Tama, 宮下 治, 内橋貴之  
タンパク質構造情報を基盤とした高速 AFM イメージングデータの再構築手法の開発  
令和3年度 生物物理学会中部支部講演会 2022年3月17日【オンライン開催】；個別講演 B18.

加藤晃一【招待講演】  
統合的アプローチによる生体分子の構造機能解析  
自然科学研究機構「ネットワーク型研究加速事業(国際ネットワーク)」生理研プロジェクト  
「機能タンパク質の構造と機能のダイナミクスと、それに基づく細胞・生体システム作動機構

の研究拠点の形成」最終成果報告会 2022年3月23日【オンライン開催】

Anouk Rossen, 中間貴寛, 矢木真穂, 藤田大士, 加藤晃一, 藤田 誠  
NMR analysis of solvent-induced protein unfolding via encapsulation in a giant self-assembled cage  
日本化学会 第102春季年会 2022年3月25日【オンライン開催】; G301-3vn-11.

竹内絵里奈, 中間貴寛, 矢木真穂, 藤田大士, 加藤晃一, 藤田 誠  
自己組織化中空錯体への閉じ込めによるアミロイド $\beta$ 疎水性断片の凝集初期構造解析  
日本化学会 第102春季年会 2022年3月25日【オンライン開催】; G301-3vn-14.

海老原梨沙, 中間貴寛, 矢木真穂, 藤田大士, 藤田 誠  
自己集合中空錯体の孤立空間への捕捉によるタンパク質の安定化  
日本化学会 第102春季年会 2022年3月25日【オンライン開催】; G301-3vn-15.

矢木真穂, 加藤晃一  
溶液内マイクロ環境の揺らぎを考慮したアミロイド $\beta$ の構造解析  
日本薬学会 第142年会 2022年3月26日【オンライン開催】; 26L-pm05.

矢木宏和  
構造解析を基軸とした糖タンパク質糖鎖の機能解析  
群馬大学 第3回 生体分子化学セミナー 2022年3月29日(桐生)

矢木宏和  
糖鎖構造解析を基軸とした糖鎖修飾の機能発現機構  
第1回 NCU-TUT 先端医薬工学共同研究ラボラトリー研究会 2022年6月3日(豊橋)

中間貴寛, 竹内絵里奈, 矢木真穂, 藤田大士, 加藤晃一, 藤田 誠  
M12L24 中空錯体への包接によるアミロイド $\beta$ 凝集会合構造の観測  
第19回ホスト-ゲスト・超分子化学シンポジウム 2022年6月4日(岡山); 1A08.

伊藤 暁, 矢木真穂, 加藤晃一, 奥村久士  
A $\beta$ 40 と A $\beta$ 42 の凝集過程の違いに関する研究  
Study on the difference in aggregation process between A $\beta$ 40 and A $\beta$ 42  
第22回 日本蛋白質科学会年会 2022年6月7日(つくば); O1-07.

山口祐希, 若泉なつみ, 入佐充音, 丸野孝浩, 嶋田麻里, 新谷晃也, 西海遥夏, 與語理那, 谷中冴子, 肥後 大輔, 鳥巢哲生, 加藤晃一, 内山 進  
抗原による抗体の Fab 領域の構造変化を介した免疫反応制御機構の解明  
Antigen binding induces structural alterations in Fab portion of IgG that regulate its interaction with Fc $\gamma$ RIIIa for immune responses  
第22回 日本蛋白質科学会年会 2022年6月7日(つくば); SO4-01.

柚木康弘, 松本 淳, 守島 健, マーテル アン, ポーカー リオネル, 佐藤信浩, 與語里那, 富永大輝, 井上 倫太郎, 矢木真穂, 奥田 綾, 清水将裕, 裏出令子, 寺内一姫, 河野秀俊, 矢木宏和, 加藤晃一, 杉山正明  
実験科学と計算科学の統合手法による時計タンパク質 KaiABC 複合体全長の溶液構造の解明  
Overall structure of the fully assembled KaiABC complex in circadian system analyzed by an integrated experimental-computational approach  
第22回 日本蛋白質科学会年会 2022年6月8日(つくば); O10-07.



Saeko Yanaka, Rina Yogo, Hirokazu Yagi, Koichi Kato 【招待講演】  
Multifaceted observation of conformational dynamics and interactions of antibodies  
ABA APPA & TBS Join Congress 2022年6月23日 (Tainan)

山本 栞, 齋藤泰輝, 矢木宏和, 加藤晃一  
ゴルジ体断片の分画に基づく糖転移酵素の局在解析  
第68回 日本薬学会東海支部総会・大会 2022年7月9日 (名古屋); E16-S.

矢木真穂 【招待講演】  
アミロイドβの構造変化とアッセムブリー  
日本生物物理学会次世代NMRワーキンググループ金曜 Spin-off 会 2022年7月29日

Koichi Kato, Rina Yogo, Hirokazu Yagi, and Saeko Yanaka  
NMR approaches for the evaluation and advancement of antibody therapeutics  
29<sup>th</sup> ICMRBS 2022年8月23日 (Boston); #372.

矢木宏和, 戸島拓郎, 甲賀大輔, 西 栄美子, 齋藤泰輝, 光山統泰, 加藤 薫, 加藤晃一  
ゴルジ体のサブコンパートメントにおける糖転移酵素の局在  
第31回 日本バイオイメーキング学会学術集会 2022年9月3日 (吹田); P-31.

Hirokazu Yagi, Rino Yamada, Shungo Adachi, Jun-ichi Furukawa, Taiki Saito, Kengo Inutsuka, Rio Nakano, Saeko Yanaka, Rena Honda, Kazuhiro Aoki, Takuro Tojima, Maho Yagi-Utsumi, and Koichi Kato  
Promotion of sialylation of recombinant glycoprotein by tagging it with a specific sequence recognized by a cargo receptor complex  
Sialoglyco2022 2022年9月5-8日 (名古屋); P-28.

Anouk Rossen, 中間貴寛, 矢木真穂, 藤田大士, 加藤晃一, 藤田 誠  
NMR analysis of transient unfolding/refolding protein structures by encapsulation in a self-assembled cage  
第16回 バイオ関連化学シンポジウム 2022年9月12日 (名古屋)

Saeko Yanaka, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato, and Kunihiro Kuwajima 【招待講演】  
The B domain of Protein A Retains Residual Structures in 6 M Guanidium Chloride as Revealed by Hydrogen/Deuterium-Exchange NMR Spectroscopy  
Joint Meeting of the 20th KIAS Conference on Protein Structure and Function and The 7th Korean-Polish  
Conference on "Protein Folding: Theoretical and Experimental Approaches  
2022年9月14-17日 (Seoul)

矢木真穂 【招待講演】  
微小重力環境下におけるアミロイド線維形成  
日本マイクロ重力応用学会 JASMA-34 2022年9月16日 (名古屋); OS5-3.

伊藤 暁, 矢木真穂, 加藤晃一, 奥村久士  
分子シミュレーションと実験で探るAβの凝集過程  
第16回分子科学討論会 2022年9月19日 (横浜); 1C15.

矢木真穂  
クマムシ由来非ドメインタンパク質の分子ネットワークの実体解明  
第2回「非ドメイン生物学」領域班会議 2022年9月20日 (東京)

Risa Ebihara, Takahiro Nakama, Maho Yagi-Utsumi, Daishi Fujita, and Makoto Fujita  
Enzyme reactions within a confined space of M12L24 spherical complexes  
錯体化学会第 72 回討論会 2022 年 9 月 27 日 (福岡); 2Fc-11.

Satoru G. Itoh, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato, Hisashi Okumura  
Difference between the A $\beta$ 40 and A $\beta$ 42 aggregation processes at the atomic level  
第 60 回日本生物物理学会年会 2022 年 9 月 28 日 (函館); 1Pos055.

Seiji Nishimura, Maho Yagi-Utsumi, Kazuhiro Aoki, Kazuharu Arakawa, Koichi Kato  
Characterization of fibrous condensations of CAHS proteins from an anhydrobiotic tardigrade  
第 60 回日本生物物理学会年会 2022 年 9 月 28 日 (函館); 1Pos068.

Kunihiro Kuwajima, Saeko Yanaka, Maho Yagi-Utsumi, Koichi Kato  
6M 塩化グアニジニウム中でアンフォールドした 3 ヘリックス・バンドル蛋白質の残存構造の  
H/D 交換 2 次元 NMR による研究  
第 60 回日本生物物理学会年会 2022 年 9 月 29 日 (函館); 2Pos052.

Masaaki Sugiyama, Ken Morishima, Yasuhiro Yunoki, Rinatro Inoue, Nobuhiro Sato, Hirokazu Yagi,  
Koichi Kato<sup>3</sup>  
Kai 時計システムにおける分子の統合運動  
Orchestration of proteins in a Kai clock system  
第 60 回日本生物物理学会年会 2022 年 9 月 30 日 (函館); 3Pos045.

齋藤泰輝, 足立俊吾, 戸島拓郎, 矢木宏和, 加藤晃一  
近接依存性標識を利用した糖転移酵素の細胞内局在の解析  
第 41 回 日本糖質学会年会 2022 年 9 月 29 日 (吹田); OR3-5B.

高橋 諭, 石井希実, 内林達也, 佐野加苗, 高橋 剛, 佐藤匡史, 矢木宏和, 加藤晃一, 鈴木 匡,  
松尾一郎  
非天然型 10 糖ペプチドプローブの合成及び PNGase 基質特異性解析  
第 41 回 日本糖質学会年会 2022 年 9 月 29 日 (吹田); P-051.

矢木宏和【招待講演】  
ワークショップ 3 「プロテオスタシスの理解と革新的医療の創出」  
ジストログリカンの糖鎖伸長終結因子グリセロールリン酸によるがん悪性化機構  
第 41 回 日本糖質学会年会 2022 年 9 月 30 日 (吹田); WS3-3.

鈴木詔子  
ニワトリ組織の糖鎖構造解析  
第 41 回 日本糖質学会年会 2022 年 9 月 30 日 (吹田); OR4-4B.

守島 健, 柚木康弘, 清水将裕, 奥田 綾, 井上倫太郎, 佐藤信浩, 矢木宏和, 加藤晃一, 杉  
山正明  
超遠心分析と小角散乱の複合手法による時計タンパク質複合体の溶液構造解析  
日本中性子科学会 第 22 回年会 2022 年 10 月 27 日 (千葉); P40.

Saeko Yanaka, Koichi Kato【招待講演】  
Integrative approach for the observation of conformational dynamics and interactions of antibodies  
The 7th International Symposium on Drug Discovery and Design by NMR 2022 年 10 月 28 日 (横

浜)

中川 聡, 島村 繁, 酒井博之, 加藤真悟, 高松芳基, 澤山茂樹, 矢木宏和, 矢木真穂, 谷中冴子, 加藤晃一, 高井 研

DPANN アーキアおよびその宿主・非宿主のグライコプロテオミクス  
第 35 回 日本微生物生態学会 2022 年 11 月 1 日 (札幌); O2-5.

矢木宏和

【シンポジウム】小胞体、ゴルジ体で調節、増幅されるタンパク質の個性  
糖鎖修飾の違いがもたらすジストログリカンの機能の多様性

第 95 回 日本生化学会大会 2022 年 11 月 9 日 (名古屋); 1S03m-04.

佐藤匡史

【シンポジウム】百聞は一見にしかず Seeing is believing-そして酵素を見つめ直す 2022-構造と機能の多様性とその先

安全な分子標的農薬を実現する構造ベース創農薬

第 95 回 日本生化学会大会 2022 年 11 月 10 日 (名古屋); 2S16m-03.

山本 栞

ゴルジ体断片の分画に基づく糖転移酵素の局在とその分子機構の解析

第 95 回 日本生化学会大会 2022 年 11 月 11 日 (名古屋); 3T03a-07, 3P-030.

矢木宏和【招待講演】

タンパク質特異的な糖鎖修飾メカニズム

第 19 回 糖鎖科学コンソーシアムシンポジウム 2022 年 11 月 22 日 (岐阜)

加藤晃一, 谷中冴子【招待講演】

抗体の高次構造と相互作用のダイナミクス

第 1 回 日本抗体学会設立記念学術大会 2022 年 11 月 27 日 (鹿児島)

加藤晃一【招待講演】

生命創成探究センター (ExCELLS)

NMR プラットフォームシンポジウム 2022 2022 年 11 月 28 日 (東京)

Koichi Kato【招待講演】

Subsequent developments of the project on dynamical ordering of biomolecular systems for creation of integrated functions

iNANO-IMS-ExCELLS Interdisciplinary Nanoscience Joint Meeting 2022 年 12 月 7 日 (岡崎)

Koichi Kato【招待講演】

From Antibody NMR to Integrative Glycoscience

20<sup>th</sup> IPR Retreat 2022 年 12 月 9 日 (吹田)

加藤晃一【招待講演】

生命分子動秩序創発研究と極限環境生命分子研究の 2022 年の進展

第 5 回 ExCELLS シンポジウム 2022 年 12 月 12 日 (岡崎)

## 【分子生物薬学分野】

(原報)

Arora A, Kivelä AM, Wang L, Minkeviciene R, Taskinen JH, Zhang B, Koponen A, Sun J, Shirane M, Zhou Y, Hotulainen P, Raiborg C, Olkkonen VM.

Protrudin regulates FAK activation, endothelial cell migration and angiogenesis.

*Cell Mol Life Sci.*, 79(4):220. (2022)

Morita, K, Wada, M, Nakatani, K, Matsumoto, Y, Hayashi, N, Yamahata, I, Mitsunari, K, Mukae, N, Takahashi, M, Izumi, Y, Bamba, T, and \*Shirane, M.

PDZD8-deficient mice accumulate cholesteryl esters in the brain as a result of impaired lipophagy.

*iScience*, 16;25(12):105612 (2022)

Tsunaki Higa, Yasutaka Okita, Akinobu Matsumoto, Shogo Nakayama, Takeru Oka, Osamu Sugahara, Daisuke Koga, Shoichiro Takeishi, Hirokazu Nakatsumi, Naoki Hosen, Sylvie Robine, Makoto M Taketo, Toshiro Sato, Keiichi I Nakayama,

Spatiotemporal reprogramming of differentiated cells underlies regeneration and neoplasia in the intestinal epithelium,

*Nature Communications*, 13(1):1500 (2022)

Nazmul Huda, Bilon Khambu, Gang Liu, Hirokazu Nakatsumi, Shengmin Yan, Xiaoyun Chen, Michelle Ma, Zheng Dong, Keiichi I Nakayama, Xiao-Ming Yin,

Senescence Connects Autophagy Deficiency to Inflammation and Tumor Progression in the Liver,

*Cellular and Molecular Gastroenterology and Hepatology*, 14(2):333-355 (2022)

Naoki Segi, Tomoya Ozaki, Yuji Suzuki, Jun Ouchida, Shiro Imagama, Kenji Kadomatsu, Kazuma Sakamoto

Close association of polarization and LC3, a marker of autophagy, in axon determination in mouse hippocampal neurons.

*Experimental neurology*, 354, 114112 (2022).

(総説・著書・総合論文など)

白根 道子 その他

羊土社「論文図表を読む作法」(2022) (共著、2項目) FRET, BiFC/SplitGFP

ISBN: 978-4-7581-2260-3

坂元一真, 尾崎智也, 坪田庄真, 郷詩織, 鈴木佑治, 門松健治

「神経回路再生ならびに小児がん神経芽腫の研究」, 丸善プラネット, 3章 (2022).

(学会発表)

白根 道子【招待講演】

「PDZD8 欠損マウスはリポファジー不全により脳内脂質異常を呈する」

第 95 回日本生化学会大会 シンポジウム (2022. 11. 9) 名古屋

中津海洋一【奨励賞受賞者講演】

定量的リン酸化プロテオミクスによる mTOR 下流の大規模シグナル解析

第 3 回シロリムス新作用研究会 2022 年 10 月 1 日 (東京)

中津海洋一

mTORC1 下流の液-液相分離解析

第 12 回 TOR 研究会 2022 年 10 月 29-30 日 (新潟)

尾崎 智也, 坂元 一真, 鈴木 佑治, 門松 健治

コンドロイチン硫酸結合ペプチドは dystrophic endball を解消し脊髄損傷に伴う運動障害を改善する.

NEURO2022 (第 45 回日本神経科学大会), 2022 年 6 月 30 日-7 月 3 日 (沖縄)

山本 敬太郎 (M2)

TMEM55B による小胞体リソソーム膜接触部位の制御機構の解析

第 95 回日本生化学会大会 口頭発表 (2022. 11. 11)、ポスター発表 (2022. 11. 10) 名古屋

光成 琴音 (B6)

PDZD8 による膜接触部位を介したリポファジーの制御機構の解析

第 95 回日本生化学会大会 口頭発表 (2022. 11. 10)、ポスター発表 (2022. 11. 9) 名古屋

北野 ひかり (B6)

PDZD8 による脳内炎症の制御機構の解析

第 95 回日本生化学会大会 ポスター発表 (2022. 11. 9) 名古屋

向江 凧 (B4)

脂質輸送タンパク質 PDZD8 によるエンドソーム成熟機構

第 86 回 日本生化学会 中部支部例会 ポスター発表 (2022. 5. 21)オンライン

向江 凧 (B4)

脂質輸送タンパク質 PDZD8 によるリポファジー制御機構

第 21 回 次世代を担う若手のためのファーマ・バイオフィォラム 2022 (薬学会生物部会 PBF2022) 口頭発表 (2022. 9. 3) 名古屋

## 【薬物送達学分野】

(原報)

Naoki Zenda, Tatsuaki Tagami, Tetsuya Ozeki

Development of a novel gastric process simulation model: The successful assessment of bioequivalence and bioinequivalence of a biopharmaceutics classification system class II weak acid drug

*Biol. Pharm. Bull.*, 45(3), 364-373(2022).

Tatsuaki Tagami, Eiichi Goto, Risako Kida, Kiyomi Hirose, Takehiro Noda, and Tetsuya Ozeki

Lyophilized ophthalmologic patches as novel corneal drug formulations using a semi-solid extrusion 3D printer.

*Int.J. Pharm.*, 617, 121448(2022).

Ahmed H. Ibrahim, Hany M. Ibrahim, Ibrahim A. Elbahwy, Mohsen I. Afouna, Tatsuaki Tagami, Tetsuya Ozeki

Lyophilized tablets of felodipine-loaded polymeric nanocapsules to enhance aqueous solubility: Formulation and optimization.

*J. Drug Deliv. Sci. Technol.*, 70, 103172(2022).

Alghurabi Hamid, Tatsuaki Tagami, Koki Ogawa, Tetsuya Ozeki

Preparation, characterization, and in vitro evaluation of Eudragit S100-coated bile salt-containing liposomes for oral colonic delivery of budesonide.

*Polymers*, 14, 2693 (2022).

Marin Ikuse, Tatsuaki Tagami, Koki Ogawa, Tetsuya Ozeki

Contamination-free milling of ketoprofen nanoparticles using mannitol medium and Hoover automatic muller: Optimization of effective design of experiment.

*Biol. Pharm. Bull.*, 45(11) 1706-1715 (2022).

Tatsuaki Tagami, Maya Okamura, Koki Ogawa, Tetsuya Ozeki

Fabrication of Mucoadhesive Films Containing Pharmaceutical Ionic Liquid and Eudragit Polymer Using Pressure-Assisted Microsyringe-type 3D Printer for Treating Oral Mucositis.

*Pharmaceutics* 14(9), 1930 (2022).

Hiroyuki Takashima, Tatsuaki Tagami, Shinichiro Kato, Pae Heeju, Tetsuya Ozeki, Yasuyuki Shibuya

Three-dimensional Printing of an Apigenin-loaded Mucoad-hesive Film for Tailored Therapy to Oral Leukoplakia and the Chemopreventive Effect on a Rat Model of Oral Carcinogenesis.

*Pharmaceutics*, 14(8):1575.

(総説・著書・総合論文など)

田上 辰秋、小川 昂輝、尾関 哲也

Effective Spray Drying Technique to Prepare Nanocomposite Particles by Preventing the Growth of Needle-like Simvastatin Crystal

JDDST 論文紹介、*薬剤学*、82(2)、107-108(2022)

田上 辰秋、小川 昂輝、深水 啓朗、尾関 哲也

スプレードライ法で製造する医薬品コクリスタルに関する最近の研究

*製剤機械技術学会誌*、31(3)、14-20(2022)

田上 辰秋、小川 昂輝、尾関 哲也

製剤技術による個別化医療促進の可能性 ～3D プリンターによるオーダーメイド医薬品の製造～*Drug Delivery System*、37(4)、294-302(2022)

尾関 哲也

2022~2023 年度日本薬剤学会の執行体制の紹介

*薬剤学*、82(4)、171 (2022)

(学会発表)

諏訪部 晋、小川昂輝、田上 辰秋、尾関 哲也

スプレードライ法で調製したカルバマゼピン固体分散体の経鼻投与における 脳への薬物送達  
の有用性

日本薬剤学会 37 年会、2022 年年 5 月 26 日～28 日 (オンライン)

田上 辰秋、木田 理沙子、小川 昂輝、尾関 哲也

ドライマウス用咀嚼グミ剤の 3D プリンター製造に有用な製剤組成に関する検討

日本薬剤学会 37 年会、2022 年年 5 月 26 日～28 日 (オンライン)



小川 昂輝、幾世 真琳、田上 辰秋、尾関 哲也

糖アルコールを粉砕メディアとした薬物ナノ粒子の調製と実験計画法による 製剤品質の最適化

日本薬剤学会 37 年会、2022 年年 5 月 26 日～28 日（オンライン）

小川昂輝、Hemat Mostafa、Pae Heeju、田上辰秋、尾関哲也

粘膜ワクチンを目指した粉末製剤化 mRNA 封入脂質ナノ粒子の開発

粉体工学会 省エネルギーに貢献する粒子設計・粉体プロセスの薬工連携研究会 2022 年度若手研究者討論会、2022 年 9 月 27 日

神谷宝、小川昂輝、田上辰秋、尾関哲也

経肺投与に向けた酸化鉄ナノ粒子含有マンニトールナノコンポジット粒子の開発

粉体工学会 省エネルギーに貢献する粒子設計・粉体プロセスの薬工連携研究会 2022 年度若手研究者討論会、2022 年 9 月 27 日（岐阜）

海野桃加、小川 昂輝、田上 辰秋、尾関 哲也

光造形方式 3D プリンター用タンパクベース医薬品添加剤の開発と錠剤の製剤特性

第 39 回製剤と粒子設計シンポジウム、2022 年 11 月 29-30 日（兵庫）

恒川勇太、小川 昂輝、田上 辰秋、尾関 哲也

アルベカシン封入リポソーム吸入剤の製剤設計の最適化と抗菌効果

第 39 回製剤と粒子設計シンポジウム、2022 年 11 月 29-30 日（兵庫）

Tatsuaki Tagami, Erina Ito, Risako Kida, Kiyomi Hirose, Tekehiro Noda, Koki Ogawa, Tetsuya Ozeki

Fabrication of 3D printed gummy formulations for pediatric patient in hospital setting

BA/BE of oral drug product 2022, Nov 17, 2022, Shiga, Japan

Koki Ogawa, Hamid Alghurabi, Tohma Shinkai, Tatsuaki Tagami, Tetsuya Ozeki

Development of pH responsive polymer-coated mRNA-LNP for oral delivery of mRNA medicine

BA/BE of oral drug product 2022, Nov 17, 2022, Shiga, Japan

西山侑、小川 昂輝、田上 辰秋、尾関 哲也

2 液混合型スプレーノズルを用いたシロスタゾール Cocrystal ナノコンポジット粒子調製条件に関する検討

製剤・創剤セミナー、2022 年 9 月 8 日～9 月 9 日、クロス・ウェーブ府中

上田峻、小川 昂輝、田上 辰秋、尾関 哲也

多孔質ポリ乳酸・グリコール酸共重合体マイクロ粒子を用いたバイオ医薬品の封入。放出制御技術と生理活性評価

製剤・創剤セミナー、2022年9月8日～9月9日、クロス・ウェーブ府中

Susumu Suwabe, Koki Ogawa, Tatsuaki Tagami, Tetsuya Ozeki

Spray-dried microparticles composed of carbamazepine-polyvinylalcohol solid dispersion for the drug delivery via nose-to-brain route

GPEN 2022, October 19-22nd, University of Minnesota

## 【生薬学分野】

(原報)

- Kewen Ding, Yoshiaki Tabuchi, Toshiaki Makino  
Effect of steam-processing of the *Panax ginseng* root on its inducible activity on granulocyte-colony stimulating factor secretion in intestinal epithelial cells in vitro  
*J. Ethnopharmacol.* **287**, 114927 (2022).
- Akiko Nakayama, Kazuaki Tsuchiya, Lingyu Xu, Takashi Matsumoto, Toshiaki Makino  
Drug-interaction between paclitaxel and goshajinkigan extract and its constituents  
*J. Nat. Med.* **76**, 59–67 (2022).
- Masaaki Minami, Toru Konishi, Hiroshi Takase, Toshiaki Makino  
Shin'iseihaito (Xinyiqingfeitang) extract ameliorates ovalbumin-induced murine allergic rhinitis by regulating cytokines  
*J. Nat. Med.* **76**, 244–253 (2022).
- Tsukasa Fueki, Itsuki Nose, Yan Liu, Koichiro Tanaka, Takao Namiki, Toshiaki Makino  
Oxalic acid in ginger specifically denatures the acrid raphides in the unprocessed dried tuber of *Pinellia ternata*  
*Acupunct. Herb. Med.* **2**, 33–40 (2022).
- Yan Liu, Misato Ota, Tsukasa Fueki, Toshiaki Makino  
Historical study for the differences of processing of *Pinellia ternata* tuber between China and Japan  
*Frontiers Pharmacol.* **13**, 892732 (2022).
- Taishi Kondo, Tomoaki Ishida, Ke Ye, Marin Muraguchi, Yohei Tanimura, Masato Yoshida, Kan'ichiro Ishiuchi, Tomoki Abe, Takeshi Nikawa, Keisuke Hagihara, Hidetoshi Hayashi, Toshiaki Makino 【令和5年度日本生薬学会論文賞受賞】  
Suppressive effects of processed aconite root on dexamethasone-induced muscle ring finger protein-1 expression and its active ingredients  
*J. Nat. Med.* **76**, 594–604 (2022).
- Misato Ota, Yasuhito Maki, Ling-yu Xu, Toshiaki Makino  
Prolonging effects of *Valeriana fauriei* root extract on pentobarbital-induced sleep in caffeine-induced insomnia model mice and the pharmacokinetics of its active ingredients under conditions of glycerol fatty acid ester as emulsifiers.  
*J. Ethnopharmacol.* **298**, 115625 (2022).
- Kan'ichiro Ishiuchi, Akiho Nagumo, Mitsuyasu Kawaguchi, Honoka Furuyashiki, Hidehiko Nakagawa, Dai Hirose  
Stereochemistries of mariannamides C and D, two lipohexapeptides, isolated from *Mariannaea elegans*

NBRC102301

*Heterocycles* **104**, 1822–1835 (2022).

Kakuki Kato, Asako Horiba, Hiroaki Hayashi, Hajime Mizukami, Kazuyoshi Terasaka  
Characterization of triterpene saponin glycyrrhizin transport by *Glycyrrhiza glabra*  
*Plants* **11**, 1250–1250 (2022).

太田美里, 宇高一郎, 牧野利明  
日本での生薬「カノコソウ」の利用法および名称に関する史的考察  
*日本東洋医学雑誌* **73**, 16–34 (2022).

牧野利明, 石井智子, 飛奈良治, 鈴木達彦, 並木隆雄  
医療用漢方製剤に配合される生薬の効能の標準化案—漢方医学書籍編纂委員会・生薬効能標準化ワーキンググループ報告—  
*日本東洋医学雑誌* **73**, 146–175 (2022).

関根麻理子, 牧野利明, 田中耕一郎, 嶋田沙織, 四日順子, 古屋英治, 地野充時, 田原英一  
漢方専門施設におけるインシデント・アクシデント事例の実態調査から考える漢方リスクマネージメント～日本東洋医学会医療安全委員会活動報告（2021）～  
*日本東洋医学雑誌* **73**, 448–462 (2022).

（総説・著書・総合論文など）

Misato Ota, Toshiaki Makino  
History and the immunostimulatory effects of heat-processed licorice root products with or without honey  
*J. Ethnopharmacol.* **292**, 115108 (2022).

Toshihiro Togo, Toshiaki Makino  
History, present and prospect of Kampo medicine.  
"History, present and prospect of world traditional medicine" (Shen Yuandong, Sang Zhen, Zu Xiaoting Ed.), Shanghai Scientific and Technical Publishers, Shanghai, pp. 259–291 (2022).

牧野利明  
漢方製剤と西洋薬間の薬物相互作用  
月刊薬事 **64**, 644–646 (2022).

牧野利明  
甘草による偽アルドステロン症に関する研究について  
漢方の臨床, **69**, 62–63 (2022).

牧野利明

国内での薬用植物栽培の持続可能性と今後の展望  
薬事日報, 2022年7月22日

牧野利明  
生薬学におけるここ10年の環境変化  
薬事日報, 2022年11月30日

牧野利明  
日本の薬学の歴史、戦後から現代  
「薬史学入門」日本薬史学会編, 薬事日報社, 東京, pp. 29–36 (2022).

牧野利明  
漢方処方構成する生薬、生薬学・方剤学、生薬一覧、方剤一覧  
「漢方医学大全」日本東洋医学会編, 清風社, 東京, 口絵, pp. 135–174, 523–553 (2022).

大澤匡弘, 牧野利明  
漢方薬の副作用と有害となる薬物相互作用  
「漢方によるフレイル対策ガイドブック」乾明夫編集, 先端医学社, 東京, pp. 239–244 (2022).

石内勘一郎, 森永紀, 吉野鉄大  
甘草の副作用, 偽アルドステロン症真の原因物質探索  
ファルマシア **58**, 1130–1134 (2022).

(学会発表)

牧野利明  
薬剤師のための薬局製剤実習～桂枝茯苓丸を製造する  
2021年度名古屋市立大学東海薬剤師生涯学習センター講座, 2022年1月22日 (名古屋) .

牧野利明  
生薬の薬能を科学する【特別講演】  
日本東洋医学会九州支部講演会, 2022年1月23日 (博多, オンライン) .

牧野利明  
第7回、温裏薬と温裏剤  
名古屋市立大学病院漢方医学センターWeb勉強会, 2022年2月17日 (オンライン) .

牧野利明  
生薬の薬能を科学する  
日本漢方協会漢方総合講座第31回, 2022年2月20日 (東京) .

石井脩斗, 廣瀬大, 牧野利明, 石内勘一郎

ヒカゲノカズラ科植物由来内生糸状菌 *Penicillium citreosulfuratum* LY111 より単離した新規化合物の構造

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25–28 日 (オンライン) .

安田彩乃, 浅井恒志, 牧野利明, 寺坂和祥

カラダイオウのフラボノイド・スチルベン配糖化酵素の機能解析

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25–28 日 (オンライン) .

Yan Liu, Tsukasa Fueki, Misato Ota, Toshiaki Makino

Historical study for the difference of processing of Pinellia tuber between Japan and China

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25–28 日 (オンライン) .

徳川宗成, 井上靖道, 石内勘一郎, 鯨井千実, 松野倫代, 李政樹, 伊藤友香, 宮嶋ちはる, 森下大輔, 大岡伸通, 飯田真介, 水上元, 牧野利明, 林秀敏

ペリプロシンおよび強心配糖体は小胞体ストレス応答を抑制する

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25–28 日 (オンライン) .

牧野利明

第 8 回、理気薬と理気剤

名古屋市立大学病院漢方医学センターWeb 勉強会, 2022 年 4 月 21 日 (オンライン) .

牧野利明

高齢化社会における漢方薬の利用

あいち健康の森薬草園一般講演, 2022 年 5 月 1 日 (大府) .

牧野利明

高齢者皮膚疾患に利用する漢方処方【シンポジスト講演】

第 6 回日本老年薬学会学術大会, 2022 年 5 月 14 日 (名古屋) .

牧野利明

国内での薬用作物栽培の持続可能性と今後の展望【シンポジスト講演】

第 72 回日本東洋医学会学術総会, 2022 年 5 月 28 日 (オンライン) .

牧野利明

名古屋市立大学薬用植物園で栽培している植物たち

第 49 期東海漢方協議会入門講座, 2022 年 6 月 12 日 (名古屋) .

牧野利明

第 9 回、活血化癥薬と活血化瘀剤

名古屋市立大学病院漢方医学センターWeb 勉強会, 2022 年 6 月 16 日 (オンライン) .

牧野利明

ブシの温裏祛寒作用に関する研究【教育講演】

第 8 回浅井国幹記念東海支部学術講演会, 2022 年 7 月 24 日 (名古屋) .

牧野利明

第 10 回、利水薬と利水剤

名古屋市立大学病院漢方医学センターWeb 勉強会, 2022 年 8 月 18 日 (オンライン) .

牧野利明

生薬・漢方薬に関する医薬品情報学

日本漢方協会漢方総合講座第 32 回, 2022 年 8 月 21 日 (東京) .

Toshiaki Makino 【シンポジスト講演】

Pharmacological aspect of Kampo medicine in the prevention for COVID-19

First international symposium for Kampo Medicine by The Japan Society for Oriental Medicine, 2022 年 8 月 27 日 (オンライン) .

牧野利明

漢方製剤に配合される生薬の効能についての標準化案の提示【特別講演】

第 39 回和漢医薬学会学術大会, 2022 年 8 月 28 日 (オンライン) .

牧野利明

補中益気湯の基礎薬理試験に関するレビュー【シンポジスト講演】

第 39 回和漢医薬学会学術大会, 2022 年 8 月 28 日 (オンライン) .

迫田凌太, 石内勘一郎, 吉野鉄大, 小川恵子, 南澤潔, 渡辺賢治, 並木隆雄, 牧野利明【優秀発表賞】

ヒトにおける甘草の副作用の発症を予測できる背景因子の探索

第 39 回和漢医薬学会学術大会, 2022 年 8 月 27-28 日 (オンライン) .

内山京香, 太田美里, 石内勘一郎, 牧野利明【優秀発表賞】

抑肝散と抑肝散加陳皮半夏各エキスの GABA<sub>A</sub> 受容体結合活性の比較

第 39 回和漢医薬学会学術大会, 2022 年 8 月 27-28 日 (オンライン) .

高木康平, 北村実穂, 河合眞実, 三ツ口陽子, 塚本恒星, 杉平貴史, 牧野利明

防風通聖散エキスのフルクトースの消化管吸収抑制作用

第 39 回和漢医薬学会学術大会, 2022 年 8 月 27-28 日 (オンライン) .

能瀬逸紀, 笛木司, 牧野利明

培養細胞を用いたハンゲのイガイガ評価系の構築と修治のメカニズムの解明

日本生薬学会第 68 回年会, 2022 年 9 月 10-11 日 (オンライン) .

石内勘一郎, 南雲秋穂, 川口充康, 古屋敷帆乃花, 中川秀彦, 廣瀬大

糸状菌 *Mariannaea elegans* NBRC102301 由来新規リポペプチドの立体化学と SIRT3 活性化作用

日本生薬学会第 68 回年会, 2022 年 9 月 10-11 日 (オンライン) .

丁科文, 田淵圭章, 牧野利明

G-CSF 産生誘導活性を指標としたニンジンの修治の最適化と作用機序の推定

日本生薬学会第 68 回年会, 2022 年 9 月 10-11 日 (オンライン) .

山田泰之, 松井俊樹, 野村史夏, 土反伸和, 寺坂和祥, 佐藤文彦

ウマノズクサのアリストロキア酸生合成に関わる *O*-methyltransferase の探索と機能解析

日本生薬学会第 68 回年会, 2022 年 9 月 10-11 日 (オンライン) .

安田彩乃, 浅井恒志, 牧野利明, 寺坂和祥

*Rheum rhabarbarum* のフラボノイド・スチルベン配糖化酵素の機能解析

第 39 回日本植物バイオテクノロジー学会 (堺) 大会, 2022 年 9 月 11-13 日 (堺) .

牧野利明

薬用植物利用の基礎知識 / 初秋の薬用植物園を歩く

東洋医学に関する市民公開講演会, 2022 年 10 月 15 日 (名古屋) .

牧野利明

第 11 回、補気薬と補気剤

名古屋市立大学病院漢方医学センターWeb 勉強会, 2022 年 10 月 20 日 (オンライン) .

牧野利明

如何确定理想的的中药生药质量控制指标

世界中医药学会联合会中药鉴定专业委员会第九届学术年会暨 2022 中医药数字化全球高峰论坛, 2022 年 10 月 21-22 日 (オンライン, マカオ) .

牧野利明

漢方製剤に配合される生薬の効能についての標準化案の提示

第 2 回令和 4 年度 AMED 小野分担研究班会, 2022 年 10 月 30 日 (オンライン) .

牧野利明 【シンポジスト講演】

漢方薬による副作用、偽アルドステロン症の原因成分の探索

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部会合同学術大会 2022, 2022 年 11 月 6 日 (静岡) .

牧野利明

一から学ぶ、高齢者によく用いられる漢方薬

令和 4 年度かすがい熟年大学, 2022 年 11 月 17 日 (春日井) .

鯨井千実、徳川宗成、井上靖道、石内勘一郎、宮嶋ちはる、牧野利明、林秀敏

強心配糖体 periplocin による c-Myc と MCL-1 発現抑制を介した抗腫瘍作用の解析

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部会合同学術大会 2022, 2022 年 11 月 6 日



(静岡) .

能瀬逸紀、笛木司、牧野利明

半夏によるイガイガ活性の分析法の開発と生姜での処理によるその解消について  
第 50 回生薬分析シンポジウム, 2022 年 11 月 25 日 (オンライン) .

牧野利明

第 12 回、補血薬と補血剤

名古屋市立大学病院漢方医学センターWeb 勉強会, 2022 年 12 月 15 日 (オンライン) .

牧野利明【シンポジスト講演】

生薬ハンゲの修治に関する薬史学的研究

日本六史学会合同大会, 2022 年 12 月 17 日 (オンライン) .

## 【衛生化学分野】

(書籍)

Takemasa Takii, Jun-ichi Maeyama, Saburo Yamamoto  
BCG 2nd Edition -TB vaccine- Application against tuberculosis and other diseases  
Japan Anti-Tuberculosis Association, 2022 年 8 月

(原報)

Arisa Morikawa, Yuka Matsui, Takuma Kitano, Saotomo Itoh, Shinsuke Taki, Shigeaki Hida  
Interleukin-3 Potentiates Murine Basophils for Protease Allergen-Induced Interleukin-4 Production.  
*BPB Reports* 5(4), 88-93, 2022

Gwangdong Kim, Saotomo Itoh, Yuma Ito, Susumu Ohya, Shigeaki Hida  
Identification of responsible amino acid residues in staphylococcal superantigen-like 12 for the  
activation of mast cells  
*Genes to Cells* 27(9):559-567

Ayana Ogata, Kazuhito Hayashi, Takuma Kitano, Kikuo Onozaki, Saotomo Itoh, Shigeaki Hida  
Staphylococcal  $\gamma$ -hemolysins induce IL-4 production in murine basophils  
*Biochemical and Biophysical Research Communications*. 632, p107-112, 2022.

Iwai M, Fukushima T, Watanabe N, Ohta A, Watanabe A, Takii T, Mitsutake K, Tanaka R, Ebihara Y.  
Chest Wall Tuberculosis After Bacillus Calmette-Guérin Vaccination.  
*Pediatr Infect Dis J*. 2022 Nov 1;41(11):e504-e505.

(学会発表)

肥田重明

T 細胞依存的な皮膚の慢性炎症性疾患の解析

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2022 2022 年 11 月 6 日

(静岡)

石川 怜, 村瀬 香乃, 北野 拓真, 伊藤 佐生智, 肥田 重明

HMG-CoA 還元酵素阻害薬が有する免疫制御特性の検討

日本薬学会第 142 年会 2022 年 3 月 25 日～28 日

生田 現, 佐々木 駿吾, 伊藤 佑真, 伊藤 佐生智, 瀧 伸介, 肥田 重明  
樹状細胞分化と免疫機能における転写因子 IRF2 の役割(信州大医)

日本薬学会第 142 年会 2022 年 3 月 25 日～28 日 (Web 開催)

北野 拓真, 竹森 樹梨, 松井 優佳, 瀧 伸介, 伊藤 佐生智, 肥田 重明

T 細胞依存的な好塩基球の IgE 刺激応答性亢進の分子メカニズム

日本薬学会第 142 年会 2022 年 3 月 25 日～28 日 (Web 開催)

瀧井猛将, 安田直美, 山田博之, 大原直也

結核菌生菌のヒト肺由来線維芽細胞に対する細胞傷害活性の dual-RNAseq 解析

日本薬学会第 142 年会 2022 年 3 月 25 日～28 日 (Web 開催)

瀧井猛将, 安田直美, 山田博之, 大原直也

ヒト肺由来線維芽細胞に対する結核菌の細胞傷害活性の解析

第 95 回日本細菌学会総会 2022 年 3 月 29 日～31 日 (オンデマンド, Web 開催)

伊藤佐生智, 占部彩花, 小林正都, 森川ありさ, 西山彩史, 北野拓真, 肥田重明

黄色ブドウ球菌スーパー抗原様毒素 SSL12 によるマスト細胞および好塩基球の活性化作用

第 95 回 日本細菌学会総会 2022 年 3 月 29 日～31 日 口頭発表 (オンデマンド, Web 開催)

瀧井猛将, 山田博之, 大原直也

結核菌生菌のヒト肺由来線維芽細胞に対する細胞傷害活性の dual-RNAseq 解析

第 97 回結核・非結核性抗酸菌症学会 2022 年 7 月 1 日 (旭川)

伊藤佑真

偏性嫌気性菌であるビフィズス菌に対する免疫応答

第 86 回日本生化学会中部支部例会・シンポジウム 2022 年 5 月 21 日 (Web 開催)

石川怜

HMG-CoA 還元酵素阻害剤が有する免疫制御特性の検討

第 86 回日本生化学会中部支部例会・シンポジウム 2022 年 5 月 21 日 (Web 開催)

生田現，榊原悠，井上靖道，伊藤佐生智，林秀敏，瀧伸介，肥田重明  
樹状細胞分化における転写因子 IRF ファミリーの役割  
第 68 回 日本薬学会東海支部総会・大会 2022 年 7 月 9 日（名古屋）

瀧井猛将，伊藤佐生智，大原直也，前田伸司，肥田重明  
*Mycobacterium avium* の酸性環境下での適応機構の解析  
第 34 回微生物シンポジウム 2022 年 8 月 31 日（Web 開催）

榎内菜々，伊藤佑真，藤岡直人，伊藤佐生智，谷口俊一郎，肥田重明  
ビフィズス菌を用いた新規 DDS の構築と安全性に関する研究  
第 34 回微生物シンポジウム 2022 年 8 月 31 日（Web 開催）

伊藤佑真，榎内菜々，藤岡直人，向井中玲菜，古小路隼也，伊藤佐生智，谷口俊一郎，肥田重明  
ビフィズス菌への自然免疫応答の解析と治療応用  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2022 2022 年 11 月 6 日  
（静岡）

竹森樹梨，北野拓真，戸川果歩，伊藤佐生智，肥田重明  
Type2 免疫反応における CD36 の役割  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2022 2022 年 11 月 6 日  
（静岡）

## 【遺伝情報学分野】

(原報)

Ogami, K., Oishi, Y., Sakamoto, K., Okumura, M., Yamagishi, R., Inoue, T., Hibino, H., Nogimori, T., Yamaguchi, N., Furutachi, K., Hosoda, N., Inagaki, H., Hoshino, S.  
mTOR- and LARP1-dependent regulation of TOP mRNA poly(A) tail and ribosome loading.  
*Cell Reports* 41, 11548 (2022).

Sagae, T., Yokogawa, M., Sawazaki, R., Ishii, Y., Hosoda, N., Hoshino, S., Imai, S., Shimada, I., Osawa, M.  
Paip2A inhibits translation by competitively binding to the RNA recognition motifs of PABPC1 and promoting its dissociation from the poly(A) tail.  
*J Biol Chem* 298(5), 101844 (2022).

(総説・著書・総合論文など)

星野真一：mRNA の分解機構に基づいた mRNA 医薬の安定化、現代化学特集号『台頭する mRNA 医薬』現代化学 620 : 38-40 (2022)

(学会発表)

石川 裕之、細田 直、稲垣 佑都、星野 真一：オリゴアデニル酸合成酵素 OAS による新規 RNA3' 末端修飾と mRNA 代謝制御、第 95 回日本生化学会大会、2022 年 11 月 11 日 (名古屋) 若手優秀発表賞受賞

中北 侑希、稲垣 佑都、細田 直、尾上 耕一、山岸 良太、星野 真一：がん抑制遺伝子産物 BTG3 は Caf1 による mRNA ポリ A 鎖分解の抑制を介して遺伝子発現を正に制御する、第 95 回日本生化学会大会、2022 年 11 月 11 日 (名古屋)

井上 匠、山崎 愛恵、稲垣 佑都、星野 真一：レポーター発現系を用いた TOP mRNA ポリ A 鎖伸長機構の解析、第 95 回日本生化学会大会、2022 年 11 月 11 日 (名古屋)

小森 太貴、稲垣 佑都、星野 真一：翻訳抑制因子 Paip2 は Caf1 デアデニレースを介して真核生

物 mRNA のポリ A 鎖を短縮する、第 95 回日本生化学会大会、2022 年 11 月 11 日（名古屋）

日比野真也、田中幸嗣、菊川拓磨、稲垣佑都、星野真一： Musashi2 及び PAPD7 は慢性骨髄性白血病由来細胞株 K562 の未分化維持に関与する、第 95 回日本生化学会大会、2022 年 11 月 11 日（名古屋）

星野真一：人工 mRNA 発現効率化技術の開発、令和 4 年度 AMED 肝炎等克服実用化研究事業 B 型肝炎創薬実用化等研究事業「B 型肝炎ウイルスの排除を可能とするゲノム編集治療の実用化に向けた包括的な研究」研究班会議、2022 年 8 月 12 日（オンライン会議）

尾上耕一、星野真一：mTOR 経路不活性化時における LARP1 を介した長鎖ポリ A 型 TOP mRNA の蓄積と意義、第 3 回シロリムス新作用研究会シンポジウム、2022 年 10 月 1 日（東京）招待講演

Sagae T, Yokogawa M, Sawazaki R, Ishii Y, Hosoda N, Hoshino S, Imai S, Shimada I, and Osawa M. : Paip2A inhibits translation by competitively binding to the RNA recognition motifs of poly(A)-binding protein C1 and promoting its dissociation from the poly(A) tail、2022 年 11 月 NMR 討論会

Sagae T, Yokogawa M, Sawazaki R, Ishii Y, Hosoda N, Hoshino S, Imai S, Shimada I, and Osawa M. : Paip2A inhibits translation by competitively binding to the RNA recognition motifs of poly(A)-binding protein C1 and promoting its dissociation from the poly(A) tail、2022 年 8 月 ICMRBS(Boston)

稲垣佑都、細田直、星野真一：mRNA 医薬翻訳効率化技術の開発、日本核酸医薬学会シンポジウム、2022 年 8 月 2 日（東京）招待講演

Sagae T, Yokogawa M, Sawazaki R, Ishii Y, Hosoda N, Hoshino S, Imai S, Shimada I, and Osawa M. : Paip2A inhibits translation by competitively binding to the RNA recognition motifs of poly(A)-binding protein C1 and promoting its dissociation from the poly(A) tail、2022 年 7 月 日本 RNA 学会(京都)

Sagae T, Yokogawa M, Sawazaki R, Ishii Y, Hosoda N, Hoshino S, Imai S, Shimada I, and Osawa M. : Paip2 competitively dissociates PABPC1 from poly(A) by accessing RRM2 of the poly(A)-bound PABPC1、2022 年 6 月 日本蛋白質科学会（つくば）

星野 真一：「mRNA 医薬の安定化技術と翻訳効率化技術の現状と課題」 第 9 回バイオインベストメントギルドセミナー、2022 年 5 月 13 日（オンライン開催）

星野 真一：国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)研究成果展開事業、社会還元加速プログラム

(SCORE) 大学推進型（拠点都市環境整備型）「翻訳効率化技術・安定化技術の mRNA ワクチンへの応用と事業化」 GAP ファンドプログラム成果報告会、2022 年 2 月 3 日（オンライン開催）

星野 真一：RNA 安定化および翻訳の効率化技術の開発、AMED 肝炎等克服実用化事業 B 型肝炎創薬実用化等研究事業「個別化医療に対応したゲノム編集技術による肝臓内 HBV ゲノムの完全不活性化を目指した革新的治療法の包括的開発」研究班会議、2022 年 1 月 31 日（オンライン開催）

## 【細胞分子薬効解析学分野】

(原報)

Kondo R, Deguchi A, Kawata N, Suzuki Y, Yamamura H.

Involvement of TREK1 channels in the proliferation of human hepatic stellate LX-2 cells.

*J Pharmacol Sci.* 148(3):286-294 (2022).

Miyaki R, Yamamura A, Kawade A, Fujiwara M, Kondo R, Suzuki Y, Yamamura H.

SKF96365 activates calcium-sensing receptors in pulmonary arterial smooth muscle cells.

*Biochem Biophys Res Commun.* 607:44-48 (2022).

Kondo R, Furukawa N, Deguchi A, Kawata N, Suzuki Y, Imaizumi Y, Yamamura H.

Downregulation of Ca<sup>2+</sup>-Activated Cl<sup>-</sup> Channel TMEM16A Mediated by Angiotensin II in Cirrhotic Portal Hypertensive Mice.

*Front Pharmacol.* 13:831311 (2022).

Suzuki Y, Ozawa T, Kurata T, Nakajima N, Zamponi GW, Giles WR, Imaizumi Y, Yamamura H.

A molecular complex of Ca<sub>v</sub>1.2/CaMKK2/CaMK1a in caveolae is responsible for vascular remodeling via excitation- transcription coupling.

*Proc Natl Acad Sci U S A.* 119(16):e2117435119 (2022).

Kondo R, Kawata N, Suzuki Y, Yamamura H.

Ca<sup>2+</sup> Signaling and Proliferation via Ca<sup>2+</sup>-Sensing Receptors in Human Hepatic Stellate LX-2 Cells.

*Biol Pharm Bull.* 45(5):664-667 (2022).

Ando S, Mizutani H, Muramatsu M, Hagihara Y, Mishima H, Kondo R, Suzuki Y, Imaizumi Y, Yamamura H.

Involvement of small-conductance Ca<sup>2+</sup>-activated K<sup>+</sup> (SK<sub>Ca2</sub>) channels in spontaneous Ca<sup>2+</sup> oscillations in rat pinealocytes.

*Biochem Biophys Res Commun.* 615:157-162 (2022).

Inagaki S, Suzuki Y, Kawasaki K, Kondo R, Imaizumi Y, Yamamura H.

Mitofusin 2 positively regulates Ca<sup>2+</sup> signaling by tethering the sarcoplasmic reticulum and mitochondria in rat aortic smooth muscle cells.

*Am J Physiol Cell Physiol.* 323(2):C295-C305 (2022).



Amano T, Yamamura A, Fujiwara M, Hirai S, Kondo R, Suzuki Y, Yamamura H.  
Upregulated ClC3 Channels/Transporters Elicit Swelling-Activated Cl<sup>-</sup> Currents and Induce Excessive Cell Proliferation in Idiopathic Pulmonary Arterial Hypertension.  
*Biol Pharm Bull.* 45(11):1684-1691 (2022).

Kawata N, Kondo R, Suzuki Y, Yamamura H.  
Increased TMEM16A-Mediated Ca<sup>2+</sup>-Activated Cl<sup>-</sup> Currents in Portal Vein Smooth Muscle Cells of Caveolin 1-Deficient Mice.  
*Biol Pharm Bull.* 45(11):1692-1698 (2022).

Suzuki Y, Kurata T, Koide T, Okada I, Nakajima N, Imaizumi Y, Yamamura H.  
Local Ca<sup>2+</sup> Signals within Caveolae Cause Nuclear Translocation of CaMK1 $\alpha$  in Mouse Vascular Smooth Muscle Cells.  
*Biol Pharm Bull.* 45(9):1354-1363 (2022).

(総説・著書・総合論文など)

Suzuki Y, Ohya S, Giles WR.  
Editorial: Regulatory mechanisms of Ca<sup>2+</sup> activated ion channels and their impact on physiological/pathophysiological function.  
*Front Physiol.* 13:876327 (2022).

(学会発表)

鈴木良明  
カルシウムマイクロドメインによる血管平滑筋機能制御  
福岡大学薬理学セミナー、2022年1月21日(オンライン) 【招待講演】

鈴木良明、小澤拓海、今泉祐治、山村寿男  
カベオラ局在型分子複合体の血管平滑筋機能に対する多様な役割  
第95回日本薬理学会年会、2022年3月7日(オンライン) ; 1-S02-3

藤原萌園、山村彩、近藤るびい、鈴木良明、山村寿男

肺高血圧症ラットにおける多発性硬化症治療薬フィンゴリモドの薬効評価  
日本平滑筋学会「若手の会」冬の研究発表会、2022年3月12日（オンライン）；一般演題2

近藤るびい、出口朱理、川田成紀、鈴木良明、山村寿男  
ヒト肝星細胞株 LX-2 における TREK1 チャンネルの機能解析  
日本薬学会第 142 年会、2022 年 3 月 27 日（オンライン）；26K-am06S

川田成紀、近藤るびい、鈴木良明、山村寿男  
マウス肝星細胞のイオンチャンネル電流解析  
日本薬学会第 142 年会、2022 年 3 月 27 日（オンライン）；27PO1-pm1-14S

鈴木良明、今泉祐治、山村寿男  
Cav1.2/CaMKK2/CaMK1a 経路を介した興奮転写連関は血管リモデリング形成に關与する  
日本薬学会第 142 年会、2022 年 3 月 29 日（オンライン）；S25-4.

倉田朋、鈴木良明、楯野真也、味八木茂、Elva Bernotiene、Wayne Giles、山村寿男  
電位依存性 K<sup>+</sup>チャンネル Kv1.6 による膜電位制御と変形性膝関節症の關係  
第 141 回日本薬理学会近畿部会、2022 年 7 月 1 日（オンライン）；B1-6【優秀発表賞】

鈴木良明、小澤拓海、倉田朋、中島七海、Zamponi Gerald、Giles Wayne、今泉祐治、山村寿男  
Cav1.2/CaMKK2/CaMK1a 経路を介した興奮転写連関は血管リモデリング形成に關与する  
第 64 回日本平滑筋学会総会、2022 年 7 月 29 日（オンライン）；OP-6.

藤原萌園、山村彩、近藤るびい、鈴木良明、山村寿男  
PAH リモデリングに対する多発性硬化症治療薬フィンゴリモドの効果  
第 64 回日本平滑筋学会総会、2022 年 7 月 29 日（オンライン）；YIA-6.

天野泰樹、山村彩、藤原萌園、平井聖司、近藤るびい、鈴木良明、山村寿男  
肺動脈性肺高血圧症におけるクロライドチャンネル CIC-3 の発現機能解析  
第 64 回日本平滑筋学会総会、2022 年 7 月 29 日（オンライン）；YIA-7.

中浜光哉、山村彩、近藤るびい、鈴木良明、山村寿男  
ヒト肺動脈平滑筋細胞に発現する ニコチン性アセチルコリン受容体  
第 64 回日本平滑筋学会総会、2022 年 7 月 29 日（オンライン）；YIA-8.

近藤るびい、川田成紀、鈴木良明、山村寿男

活性化型肝星細胞における  $\text{Ca}^{2+}$ 感受性受容体の機能発現

生体機能と創薬シンポジウム 2022、2022 年 8 月 25、26 日（静岡）；P1-B

川田成紀、近藤るびい、鈴木良明、山村寿男

マウス肝星細胞における過分極活性化陽イオンチャネルの電流解析

生体機能と創薬シンポジウム 2022、2022 年 8 月 25、26 日（静岡）；P4-B

天野泰樹、山村彩、藤原萌園、平井聖司、近藤るびい、鈴木良明、山村寿男

肺動脈性肺高血圧症におけるクロライドチャネル  $\text{ClC}3$  の発現機能解析

生体機能と創薬シンポジウム 2022、2022 年 8 月 25、26 日（静岡）；P13-A

川出有希子、山村彩、近藤るびい、鈴木良明、山村寿男

モノクロタリン誘発性肺高血圧症ラットにおけるコロソリン酸の作用

次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2022、2022 年 8 月 27 日（静岡）；

E-4

【優秀発表賞】

川田成紀、近藤るびい、鈴木良明、山村寿男

マウス肝星細胞における過分極活性化陽イオンチャネルの電流解析

次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2022、2022 年 8 月 27 日（静岡）；

B-1-4

安藤駿佑、水谷浩也、村松真、萩原由美子、三島寛貴、近藤るびい、今泉祐治、鈴木良明、山村寿男

ラット松果体において、小コンダクタンス  $\text{Ca}^{2+}$ 活性化  $\text{K}^{+}$ チャネル活性が  $\text{Ca}^{2+}$ オシレーションを制御する。

次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2022、2022 年 8 月 27 日（静岡）；

A-2-6

天野泰樹、山村彩、藤原萌園、平井聖司、近藤るびい、鈴木良明、山村寿男

肺動脈性肺高血圧症におけるクロライドチャネル  $\text{ClC}3$  の発現機能解析

次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2022、2022 年 8 月 27 日（静岡）；

A-3-2

藤原萌園、山村彩、近藤るびい、鈴木良明、山村寿男

多発性硬化症治療薬フィンゴリモドの肺高血圧症治療薬へのドラッグリポジショニング

次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2022、2022 年 8 月 27 日（静岡）；  
S-2-1.

中浜光哉、山村彩、近藤るびい、鈴木良明、山村寿男  
ヒト肺動脈平滑筋細胞におけるニコチン性アセチルコリン受容体の発現機能解析  
次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2022、2022 年 8 月 27 日（静岡）；P-  
7

澤井優輝、鈴木良明、近藤るびい、今泉祐治、山村寿男  
炎症性マクロファージにおいて、Caveolin-1 は P2X7 受容体を介する ATP シグナルを調節す  
る。  
次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2022、2022 年 8 月 27 日（静岡）；P-  
2

稲垣奏、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男  
大動脈平滑筋細胞の筋小胞体-ミトコンドリア機能連関におけるミトフュージン 2 の機能  
次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2022、2022 年 8 月 27 日（静岡）；  
P-1.

近藤るびい、川田成紀、鈴木良明、山村寿男  
活性化型肝星細胞における  $Ca^{2+}$  感受性受容体の機能発現  
次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2022、2022 年 8 月 27 日（静岡）；  
P-3

川田成紀、近藤るびい、鈴木良明、山村寿男  
肝星細胞におけるイオンチャネル電流解析  
第 21 回次世代を担う若手のためのファーマ・バイオフィォーラム 2022、  
2022 年 9 月 3、4 日（名古屋）；1B16

稲垣奏、鈴木良明、今泉祐治、山村寿男  
血管平滑筋細胞の筋小胞体-ミトコンドリア連関におけるミトフュージン 2 の役割  
第 21 回次世代を担う若手のためのファーマ・バイオフィォーラム 2022、  
2022 年 9 月 3、4 日（名古屋）；2B2

鈴木良明、小澤拓海、倉田朋、中島七海、Zamponi Gerald、Giles Wayne、今泉祐治、山村寿男  
Cav1.2/CaMKK2/CaMK1a 経路を介した興奮転写連関と血管リモデリング形成の関連

2022 年度生理研心血管研究会、2022 年 10 月 14 日（オンライン）；OP04.

山村彩、中浜光哉、Md Junayed Nayeem、Alamgir Hossain、林寿来、高橋理恵、山村寿男、佐藤元彦

肺動脈平滑筋細胞におけるニコチン性アセチルコリン受容体の発現変動  
第 69 回中部生理学会、2022 年 10 月 14 日（愛知）；O-4

山村寿男

肺高血圧症におけるイオンチャネル・受容体の発現機能変化と標的創薬  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2022、2022 年 11 月 6 日  
（静岡）；S2-1【招待講演】

加藤 由納、近藤 るびい、山村 彩、鈴木 良明、山村 寿男

肺高血圧症患者由来肺動脈平滑筋細胞の細胞周期と TRPC6 チャネル発現  
第 142 回日本薬理学会近畿部会、2022 年 11 月 12 日（大阪）；A1-2

近藤 るびい、川田 成紀、森 鈴菜、鈴木 良明、山村 寿男

ヒト肝星細胞におけるクロライドチャネル CLC7 の機能解析  
第 142 回日本薬理学会近畿部会、2022 年 11 月 12 日（大阪）；C3-1

Yuuki Sawai, Yoshiaki Suzuki, Rubii Kondo, Yuji Imaizumi, Hisao Yamamura

Caveolin-1 regulates ATP signaling mediated by P2X7 receptor in pro-inflammatory macrophages.  
JPW2022 (The 96th Annual Meeting of the Japanese Society of Pharmacology / The 43rd Annual Meeting of the Japanese Society of Clinical Pharmacology), November 30, 2022 (Yokohama) ; 1-B-SS05-2

Naoki Kawata, Rubii Kondo, Yoshiaki Suzuki, Hisao Yamamura

TMEM16A-mediated  $Ca^{2+}$ -activated  $Cl^-$  currents is increased in portal vein smooth muscle cells from caveolin 1-deficient mice.

JPW2022 (The 96th Annual Meeting of the Japanese Society of Pharmacology / The 43rd Annual Meeting of the Japanese Society of Clinical Pharmacology), November 30, 2022 (Yokohama) ; 1-B-SS05-5

Rubii Kondo, Naoki Kawata, Yoshiaki Suzuki, Hisao Yamamura

Functional expression of calcium-sensitive receptors in activated hepatic stellate cells  
JPW2022 (The 96th Annual Meeting of the Japanese Society of Pharmacology / The 43rd Annual

Meeting of the Japanese Society of Clinical Pharmacology), November 30, 2022 (Yokohama) ; 1-B-P-058

Akiko Kawade, Aya Yamamura, Rubii Kondo, Yoshiaki Suzuki, Hisao Yamamura  
Ameliorating effects of corosolic acid in monocrotaline-induced pulmonary hypertensive rats  
JPW2022 (The 96th Annual Meeting of the Japanese Society of Pharmacology / The 43rd Annual Meeting of the Japanese Society of Clinical Pharmacology), November 30, 2022 (Yokohama) ; 1-B-SS07-1

山村彩、中浜光哉、Alamgir Hossain、北村文也、高橋理恵、山村寿男、佐藤元彦  
肺動脈性肺高血圧症におけるニコチン性アセチルコリン受容体の発現増加  
第 96 回日本薬理学会年会、2022 年 12 月 1 日 (横浜) ; 2-B-P-096

## 【病態生化学分野】

(原報)

Keisuke Ishii, Takao Kohno, Kaori Sakai, and Mitsuharu Hattori

Reelin regulates the migration of late-born hippocampal CA1 neurons via cofilin phosphorylation.  
*Mol. Cell Neurosci.*, **124**, 103794 (2023).

Keisuke Ishii, Takao Kohno, and Mitsuharu Hattori

Postnatal injection of Reelin protein into the cerebellum ameliorates the motor functions in reeler mouse.  
*Neurosci.Res.*, **144**, 7-14 (2023).

Shintaro Oya, Katsunari Korogi, Takao Kohno, Hitomi Tsuiji, Dmytro I. Danylchuk, Andrey S. Klymchenko, Yosuke Niko, and Mitsuharu Hattori

The plasma membrane polarity is higher in the neuronal growth cone than in the cell body of hippocampal and cerebellar granule neurons.  
*Biol.Pharm. Bull.*, **46**, 1820-1825 (2023).

(学会発表)

川瀬宗之、松田拓与、梅村悠太、大嶋智葉、大石久史、櫻井隆、服部光治 【学生優秀発表賞】

シナプスにおけるリン脂質フリッパーゼ ATP8A1/ATP8A2 の機能  
日本薬学会第 143 年会, 2023 年 3 月 26 日 (札幌)

原光輝、河野孝夫、大澤匡弘、服部光治

分泌タンパク質リーリンの特異的分解の生理的意義の解明  
日本薬学会第 143 年会, 2023 年 3 月 26 日 (札幌)

大宅真太郎、興梶勝成、仁子陽輔、服部光治

神経細胞における局所的な膜流動性差異の意義の解明  
日本薬学会第 143 年会, 2023 年 3 月 27 日 (札幌)

徳永柊、梅村悠太、大嶋智葉、中島鼓美、大石久史、服部光治 【学生優秀発表賞】

リン脂質フリッパーゼ ATP8A1/ATP8A2 二重欠損マウスにおける、神経変性とグリア細胞活性化の分子機構

日本薬学会第 143 年会, 2023 年 3 月 28 日 (札幌)

川瀬宗之、松田拓与、梅村悠太、大嶋智葉、大石久史、櫻井隆、服部光治

リン脂質フリッパーゼ ATP8A1/ATP8A2 の海馬神経細胞での局在と機能.

第 87 回日本生化学会中部支部例会, 2023 年 5 月 27 日 (web)

竹腰祐斗、安藤飛悠吾、河野孝夫、有田誠、服部光治

リーリンは神経細胞膜のスフィンゴミエリン量と、GPI アンカー型タンパク質の細胞膜上発現に影響する

第 87 回日本生化学会中部支部例会, 2023 年 5 月 27 日 (web)

朱悠韻、常浦祐未、溝口博之、澤幡雅仁、森大輔、河野孝夫、服部光治、鍋島俊隆、尾崎紀夫、山田清文

**Reln-del Mice Exhibit Defects in Neural Circuitry and Social Communication.**

第 143 回日本薬理学会近畿部会, 2023 年 6 月 24 日 (名古屋)

中川育磨、河野孝夫、谷口愛理、服部光治

脳機能に重要なリーリンの、マウス・ヒト間における機能的差異

第 69 回日本薬学会東海支部大会, 2023 年 7 月 8 日 (名古屋)

星合彩那、川瀬宗之、河野孝夫、服部光治

海馬神経細胞におけるリン脂質フリッパーゼ補助サブユニット TMEM30a の局在に関する研究

第 69 回日本薬学会東海支部大会, 2023 年 7 月 8 日 (名古屋)

徳永柊、梅村悠太、中島鼓美、大石久史、服部光治

リン脂質フリッパーゼ ATP8A1/ATP8A2 二重欠損マウスにおける神経変性とグリア細胞活性化の分子機構

第 46 回日本神経科学大会, 2023 年 8 月 2 日 (仙台)

竹腰祐斗、安藤飛悠吾、河野孝夫、有田誠、服部光治

リーリンは神経細胞膜の脂質組成とタンパク質発現に影響する

第 46 回日本神経科学大会, 2023 年 8 月 2 日 (仙台)



川瀬宗之、松田拓与、梅村悠太、星合彩那、大石久史、櫻井隆、服部光治  
リン脂質フリッパーゼ ATP8A1 と ATP8A2 の神経細胞内での局在と機能  
第 22 回次世代を担う若手のためのファーマ・バイオフィォーラム, 2023 年 9 月 8 日 (福岡)

徳永柊、梅村悠太、川瀬宗之、中島鼓美、大石久史、服部光治【優秀発表賞】  
リン脂質フリッパーゼ ATP8A1/ATP8A2 二重欠損マウスにおける神経変性薬症の分子機構  
と、その治療法開発に関する研究  
第 22 回次世代を担う若手のためのファーマ・バイオフィォーラム, 2023 年 9 月 8 日 (福岡)

竹腰祐斗、安藤飛悠吾、河野孝夫、有田誠、服部光治  
神経細胞膜のスフィンゴリエリン量に与える分泌タンパク質リーリンの影響の解明  
第 22 回次世代を担う若手のためのファーマ・バイオフィォーラム, 2023 年 9 月 8 日 (福岡)

Yuto Takekoshi, Hugo Ando, Takao Kohno, Makoto Arita, Mitsuharu Hattori  
Reelin regulates lipid composition of the neuronal plasma membrane.  
Neuroscience 2023, 2023 年 11 月 13 日 (Washington D.C.)

Muneyuki Kawase Takuto Matsuda, Yuta Umemura, Hisashi Oishi, Takashi Sakurai, Mitsuharu Hattori  
Phospholipid flippases ATP8A1 and ATP8A2 regulate the functional expression of synaptic proteins in  
hippocampal neurons.  
Neuroscience 2023, 2023 年 11 月 15 日 (Washington D.C.)

原光輝、服部光治、河野孝夫【ベストプレゼンテーション賞】  
脳の層構造形成に必須である Dab1 の新規リン酸化メカニズム  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2023, 2023 年 11 月 12 日  
(名古屋)

五反田逸孝、川瀬宗之、梅村悠太、河野孝夫、大石久史、服部光治  
小脳形成における ATP8A2 とリーリンシグナルの関係の解明  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2023, 2023 年 11 月 12 日  
(名古屋)

Takao Kohno, Mone Sato, and Mitsuharu Hattori  
Myosin Va regulates terminal translocation of superficial layer neurons in the neocortex.  
脳とこころの研究センター第 8 回東海地区連携拡大ワークショップ, 2023 年 12 月 9 日 (名古屋)

## 【薬物動態制御学分野】

(原報)

Yutaro Shinoda, Takahiro Yamashiro, Akira Hosooka, Tomoya Yasujima, Hiroaki Yuasa  
Functional characterization of human organic anion transporter 10 (OAT10/SLC22A13) as an orotate transporter.

*Drug Metab. Pharmacokinet.*, **43**, 100443 (2022).

Takahiro Yamashiro, Tomoya Yasujima, Hiroaki Yuasa  
Animal species differences in the pyridoxine transport function of SLC19A3: absence of Slc19a3-mediated pyridoxine uptake in the rat small intestine.

*Drug Metab. Pharmacokinet.*, **44**, 100456 (2022).

Kohei Miyake, Tomoya Yasujima, Syunsuke Takahashi, Takahiro Yamashiro, Hiroaki Yuasa  
Identification of the amino acid residues involved in the species-dependent differences in the pyridoxine transport function of SLC19A3.

*J. Biol. Chem.*, **298**, 102161 (2022).

(総説・著書・総合論文など)

保嶋智也, 湯浅博昭  
痛風の分子病態.  
臨床免疫・アレルギー科, **77**, 657-663 (2022).

保嶋智也, 湯浅博昭  
尿酸の全身動態を支配する代謝酵素・トランスポーター.  
日本腎臓病薬物療法学会誌, **11**, 193-198 (2022).

(学会発表)

細岡 晶, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭  
OCT2 阻害活性評価における基質依存的な差異 : atenolol 輸送阻害と MPP<sup>+</sup>輸送阻害との比較.  
日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25 日 - 28 日 (名古屋) .

三宅浩平, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭

SLC19A3 の pyridoxine 輸送機能の動物種差に関わるヒト特異的アミノ酸残基.

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25 日 - 28 日 (名古屋) .

田中雄大, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭

fisetin に対する CNT2 の感受性の動物種差に関わるアミノ酸残基.

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25 日 - 28 日 (名古屋) .

小西拓実, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭

ENT 類による核酸塩基取込における核酸塩基代謝酵素との基質特異的協働効果.

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25 日 - 28 日 (名古屋) .

東 洋輔, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭

小腸に発現する新規コリントランスポーターの機能解析.

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25 日 - 28 日 (名古屋) .

篠田裕太郎, 細岡 晶, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭

オロト酸トランスポーターとしての SMCT2 の機能的同定.

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25 日 - 28 日 (名古屋) .

山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭

SLC19A3 の pyridoxine 輸送機能の動物種差 : ラット小腸における Slc19a3 のピリドキシン輸送機能欠損の検証.

日本薬剤学会第 37 年会, 2022 年 5 月 26 日 - 28 日 (京都) .

廣瀬 舞, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭

CHT1 の choline 輸送機能の評価における細胞膜局在型改変体の利用.

日本薬剤学会第 37 年会, 2022 年 5 月 26 日 - 28 日 (京都) .

秋野翔伍, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭

DIRC2 の pyrilamine 輸送機能及び薬物動態的役割.

第 43 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2022 年 10 月 6 日 - 7 日 (札幌) .

谷内夏月, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭

OAT2 の尿酸輸送機能の動物種差.

第 43 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2022 年 10 月 6 日 - 7 日 (札幌) .

高見華奈, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭

ENBT1 のオロト酸輸送機能.

第 43 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2022 年 10 月 6 日 - 7 日 (札幌) .

山本道弘, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭

SLC19A2/3 の amiloride 輸送機能.

第 43 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2022 年 10 月 6 日 - 7 日 (札幌) .

牧平伊代, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭

脳特異的に発現する新規カチオントランスポーターの輸送機能の解析: ethidium 輸送活性の利用.

第 43 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2022 年 10 月 6 日 - 7 日 (札幌) .

難波知堯, 篠田裕太郎, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭

小腸上皮でのコリン取込に働く新規トランスポーターの機能解析.

第 43 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 2022 年 10 月 6 日 - 7 日 (札幌) .

秋野翔伍, 山城貴弘, 保嶋智也, 湯浅博昭

DIRC2/SLC49A4 の新規リソソーム pyridoxine 排出輸送担体としての機能特性と役割.

第 37 回日本薬物動態学会年会, 2022 年 11 月 7 日 - 10 日 (横浜) .

廣瀬 舞, 保嶋智也, 山城貴弘, 湯浅博昭

安定発現系 MDCKII 細胞における細胞膜局在型改変体 CHT1 の choline 輸送機能の評価.

第 37 回日本薬物動態学会年会, 2022 年 11 月 7 日 - 10 日 (横浜) .

保嶋智也, 細岡 晶, 山城貴弘, 湯浅博昭

OCT2/SLC22A2 によるアテノロール輸送の動物種差に関わる分子機構.

第 37 回日本薬物動態学会年会, 2022 年 11 月 7 日 - 10 日 (横浜) .

## 【病態解析学分野】

(原報)

Aoki H, Yamashita M, Hashita T, Iwao T, Aoyama M, Matsunaga T.

Generation of brain microvascular endothelial-like cells from human iPS cell-derived endothelial progenitor cells using the TGF- $\beta$  receptor inhibitor, laminin 511 fragment, and neuronal cell culture supplements.

*Pharmaceutics*. 2022;14(12):2697.

Nagasaka M, Miyajima C, Aoki H, Aoyama M, Morishita D, Inoue Y, Hayashi H.

Insights into regulators of p53 acetylation.

*Cells*. 2022;11(23):3825.

Asai T, Kakita H, Nakamura N, Asai S, Mori M, Takeshita S, Ueda H, Mizuno Y, Tomita A, Aoyama M, Yamada Y.

Hyperglycemia and lactic acidosis associated with linezolid therapy in an extremely premature infant.

*Neonatology*. 2022;30:1-4.

Tamiya-Koizumi K, Otoki Y, Nakagawa K, Kannagi R, Mizutani N, Suzuki M, Kyogashima M, Iwaki S, Aoyama M, Murate T, Kitatani K, Kuga T, Mizutani Y.

Cellular concentrations of plasmalogen species containing a polyunsaturated fatty acid significantly increase under hypoxia in human colorectal cancer, Caco2 cells.

*Biochem Biophys Res Commun*. 2022;611:1-7.

Kondo T, Aoki H, Otsuka Y, Kawaguchi Y, Waguri-Nagaya Y, Aoyama M.

Insulin-like growth factor 2 promotes osteoclastogenesis increasing inflammatory cytokine levels under hypoxia.

*J Pharmacol Sci*. 2022;149(3):93-99.

Kimura Y, Aoki H, Soyama T, Sakuragi A, Otsuka Y, Nomoto A, Yano S, Nishie H, Kataoka H, Aoyama M.

Photodynamic therapy using mannose-conjugated chlorin e6 increases cell surface calreticulin in cancer cells and promotes macrophage phagocytosis.

*Med Oncol*. 2022;39(5):82.

Joyo Y, Kawaguchi Y, Yonezu H, Senda H, Yasuma S, Shiraga H, Nozaki M, Aoyama M, Asai K, Murakami H, Waguri-Nagaya Y.

The Janus kinase inhibitor (baricitinib) suppresses the rheumatoid arthritis active marker gliostatin/thymidine phosphorylase in human fibroblast-like synoviocytes.

*Immunol Res.* 2022;70(2):208-215.

(総説・著書・総合論文など)

低酸素性虚血性脳症への低体温脳保護療法

鳥内 皐暉, 青木 啓将, 青山 峰芳

月刊「細胞」2022年5月

(学会発表)

Hypothermic culture enhances secretion of astrocyte-derived neuroprotective erythropoietin.

鳥内皐暉、垣田博樹、青木啓将、田村哲也、竹下覚、山田恭聖、青山峰芳

先端モデル動物支援プラットフォーム 若手支援技術講習会 2022年8月

IL-1 $\beta$ は非破骨細胞のケモカインとIGF2の発現を上昇させることで破骨細胞の分化を促進する

大塚勇斗、青山峰芳

第40回日本骨代謝学会学術集会 2022年7月

非破骨細胞でのケモカインとIGF2の発現上昇を介して、IL-1 $\beta$ は破骨細胞の形成を促進する

大塚勇斗、後藤洋、青木啓将、永谷裕子、宮澤健、後藤滋巳、青山峰芳

日本薬学会第142年会 2022年3月28日

IL-1 $\beta$  enhances osteoclastogenesis by upregulating the expressions of IGF2 and chemokines in non-osteoclastic cells

大塚勇斗、後藤洋、青木啓将、永谷裕子、宮澤健、後藤滋巳、青山峰芳

第99回日本生理学会大会 2022年3月18日

## 【細胞情報学分野】

(原報)

Mai Nagasaka, Yasumichi Inoue, Manaka Yoshida, Chiharu Miyajima, Daisuke Morishita, Muneshige Tokugawa, Haruna Nakamoto, Mayumi Sugano, Nobumichi Ohoka, Hidetoshi Hayashi.

The deubiquitinating enzyme USP17 regulates c-Myc levels and controls cell proliferation and glycolysis.

*FEBS Lett.*, **596**, 465-478 (2022).

Taishi Kondo, Tomoaki Ishida, Ke Ye, Marin Muraguchi, Yohei Tanimura, Masato Yoshida, Kan'ichiro Ishiuchi, Tomoki Abe, Takeshi Nikawa, Keisuke Hagihara, Hidetoshi Hayashi, Toshiaki Makino.

Suppressive effects of processed aconite root on dexamethasone-induced muscle ring finger protein-1 expression and its active ingredients.

*J. Nat. Med.*, **76**, 594-604 (2022).

Chiharu Miyajima, Yurika Hayakawa, Yasumichi Inoue, Mai Nagasaka, Hidetoshi Hayashi.

HMG-CoA Reductase Inhibitor Statins Activate the Transcriptional Activity of p53 by Regulating the Expression of TAZ.

*Pharmaceuticals*, **15**, 1015 (2022).

(総説・著書・総合論文など)

Mai Nagasaka, Chiharu Miyajima, Hiromasa Aoki, Mineyoshi Aoyama, Daisuke Morishita, Yasumichi Inoue, Hidetoshi Hayashi.

Insights into Regulators of p53 Acetylation.

*Cells*, **11**, 3825 (2022).

井上靖道, 林秀敏

統合的ストレス応答の異常に起因した疾患における治療薬開発.

生化学, **94**, 423-426 (2022).

(学会発表)

長坂真衣, 吉田真南香, 菅野真由美, 宮嶋ちはる, 井上靖道, 林秀敏

脱ユビキチン化酵素 USP17 は発がん遺伝子 c-Myc タンパクの安定化を介して細胞増殖と解糖系を亢進する.

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 26 日 (名古屋・オンライン開催) .

徳川宗成, 鯨井千実, 井上靖道, 石内勘一郎, 松野倫代, 李政樹, 伊藤友香, 宮嶋ちはる, 飯田真介, 水上元, 牧野利明, 林秀敏

強心配糖体 periplocin は小胞体ストレス応答を抑制する.

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 27 日 (名古屋・オンライン開催) .

梅澤直樹, 加藤舞子, 井上靖道, 久松洋介, 林秀敏, 樋口恒彦

一時的環状化を用いた、細胞内で作用する p53/MDM2 阻害ペプチドの開発.

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 27 日 (名古屋・オンライン開催) .

井上靖道【ポスター賞】

脱ユビキチン化酵素 USP17 は c-Myc タンパクの安定化を介して細胞増殖と解糖系を亢進する.

第 26 回日本がん分子標的治療学会学術集会, 2022 年 6 月 30 日 (金沢) .

鈴木祐陽, 宮嶋ちはる, 都築香里, 井上靖道, 林秀敏

がん原遺伝子 c-Myc によるがん悪性化作用における TRB1 の役割.

第 68 回日本薬学会東海支部大会, 2022 年 7 月 9 日 (名古屋) .

中垣春奈, 渡辺信, 宮嶋ちはる, 井上靖道, 林秀敏

USP7 は Twist の脱ユビキチン化酵素としてがんの浸潤に寄与する.

第 68 回日本薬学会東海支部大会, 2022 年 7 月 9 日 (名古屋) .

生田現, 榊原 悠, 井上靖道, 伊藤佐生智, 林秀敏, 瀧伸介, 肥田重明

樹状細胞分化における転写因子 IRF ファミリーの役割.

第 68 回日本薬学会東海支部大会, 2022 年 7 月 9 日 (名古屋) .

長坂真衣, 吉田真南香, 菅野真由美, 宮嶋ちはる, 井上靖道, 林秀敏

脱ユビキチン化酵素 USP17 は c-Myc タンパクの安定化を介して細胞増殖と解糖系を亢進する.

第 21 回次世代を担う若手のためのファーマ・バイオフィォーラム 2022, 2022 年 9 月 4 日 (名古屋) .

井上靖道, 林秀敏



脱ユビキチン化酵素 USP17 は発がん遺伝子 c-Myc タンパクの安定化を介して細胞増殖と解糖系を亢進する.

第 81 回日本癌学会学術総会, 2022 年 9 月 30 日 (横浜) .

鈴木祐陽, 宮嶋ちはる, 都築香里, 長坂真衣, 井上靖道, 林秀敏

がん原遺伝子 c-Myc と TRB1 のクロストークによるがん悪性化機構の解明.

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海部支部 合同学術大会 2022, 2022 年 11 月 6 日 (静岡) .

中垣春奈, 渡辺信, 宮嶋ちはる, 井上靖道, 林秀敏

脱ユビキチン化酵素 USP7 による Twist の安定化を介したがん細胞の運動能制御.

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海部支部 合同学術大会 2022, 2022 年 11 月 6 日 (静岡) .

鯨井千実, 徳川宗成, 井上靖道, 石内勘一郎, 宮嶋ちはる, 牧野利明, 林秀敏

強心配糖体 periplocin による c-Myc と MCL-1 発現制御を介した抗腫瘍作用の解析.

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海部支部 合同学術大会 2022, 2022 年 11 月 6 日 (静岡) .

安達晴喜, 宮嶋ちはる, 早川由里香, 川原田祐貴, 鈴木千晶, 三田村佳奈, 井上靖道, 林秀敏  
転写共役因子 TAZ によるがん抑制遺伝子 p53 の活性抑制は細胞老化を制御する.

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海部支部 合同学術大会 2022, 2022 年 11 月 6 日 (静岡) .

安達晴喜, 宮嶋ちはる, 早川由里香, 川原田祐貴, 鈴木千晶, 三田村佳奈, 井上靖道, 林秀敏  
転写共役因子 TAZ によるがん抑制遺伝子 p53 の活性抑制は細胞老化を制御する.

第 95 回日本生化学会大会, 2022 年 11 月 11 日 (名古屋) .

鯨井千実, 徳川宗成, 井上靖道, 石内勘一郎, 松野倫代, 李政樹, 宮嶋ちはる, 飯田真介, 水上元, 牧野利明, 林秀敏

強心配糖体 periplocin は多発性骨髄腫において小胞体ストレス応答を抑制し、抗がん活性を示す.

第 95 回日本生化学会大会, 2022 年 11 月 11 日 (名古屋) .

長坂真衣, 吉田真南香, 菅野真由美, 宮嶋ちはる, 井上靖道, 林秀敏

脱ユビキチン化酵素 USP17 は c-Myc タンパクの安定化を介して細胞増殖と解糖系を亢進する.

第 45 回日本分子生物学会年会, 2022 年 12 月 2 日 (幕張) .

## 【神経薬理学分野】

(原報)

Sho T. Yamaguchi, Jun Tomita, Kazuhiko Kume.

Insulin signaling in clock neurons regulates sleep in *Drosophila*,  
*Biochem Biophys Res Commun.* 591, 2022

Hiroyuki Nakagawa, Shin Nakane, Gosuke Ban, Jun Tomita, Kazuhiko Kume.

Effects of D-amino acids on sleep in *Drosophila*,  
*Biochemical and Biophysical Research Communications* (Volume 589, Pages 180-185 ), 2022

Hiroyuki Nakagawa, Shiori Maehara, Kazuhiko Kume, Hiroto Ohta, and Jun Tomita.

Biological functions of  $\alpha$ 2-adrenergic-like octopamine receptor in *Drosophila melanogaster*,  
*Genes, Brain and Behavior* (e12807), 2022

Sho T. Yamaguchi, Riho Kobayashi, Jun Tomita and Kazuhiko Kume .

The regulation of circadian rhythm by insulin signaling in *Drosophila*.,  
*Neurosci Res.* 183, 2022

Yoshiaki S. Kato, Jun Tomita, Kazuhiko Kume .

Interneurons of fan-shaped body promote arousal in *Drosophila*.,  
*PLoS One.* 17, 2022

Riho Kobayashi, Yuko Yamashita, Hiroko Suzuki, Sena Hatori, Jun Tomita, Kazuhiko Kume .

rdgB knockdown in neurons reduced nocturnal sleep in *Drosophila melanogaster* ,  
*Biochem Biophys Res Commun.* 643, 2022

(総説・著書・総合論文など)

山本洵、小林里帆、桑和彦.

概日周期を制御する分子機構の発見,  
*Clinical Neuroscience* 40 巻 8 号, 2022

磯部一朗、桑和彦.

睡眠の概日リズム～基礎と臨床～,  
脳神経内科, 97(5) : 554-560, 2022

加藤遥輝 桑和彦.  
睡眠サプリメント,  
New Diet Therapy vol.38 No.1, 2022

(学会発表)

Jun Yamamoto, Riho Kobayashi, JunTomita, Kazuhiko Kume.  
Functional analysis of dorsal lateral neuron on sleep regulation in *Drosophila melanogaster*,  
第 45 回日本神経科学大会/第 65 回日本神経化学大会/第 32 回日本神経回路学会大会, 44742, 沖  
縄

Haruki Kato, Hiroyuki Nakagawa, Chiaki Ishizaki, Jun Tomita, Kazuhiko Kume.  
Starvation increases the staying time in the proximity to sorbitol in *Drosophila*,  
生物リズムに関する札幌シンポジウム 2022, Aug 12-15 2022, Hokkaido

加藤遥輝, 中川寛之, 石崎千晶, 富田淳, 桑和彦.  
Temporal change in behavioral response to sorbitol of *Drosophila*,  
第 15 回日本ショウジョウバエ研究会, 2022 年 09 月 13 日, 名古屋

小林里帆、羽鳥聖七、鈴木博子、中根伸、山口翔、富田淳、船戸弘正、柳沢正史、桑和彦 .  
Functional analysis of *Drosophila* Sik3, a homologue of mouse Sleepy1 ,  
第 15 回日本ショウジョウバエ研究会, 2022 年 09 月 14 日, 名古屋

山本洵, 小林里帆, 富田淳, 桑和彦.  
Sleep regulation by the dorsal lateral neurons in *Drosophila melanogaster*/  
時計神経 dorsal lateral neurons による睡眠制御,  
第 29 回日本時間生物学会学術大会, 44898, 栃木

李 佳憶、高 天翔、桑 和彦.  
Ameliorative effects of sweetening agents on jet lag,  
第 29 回日本時間生物学会学術大会, 2022 年 12 月 03 日, 栃木

Ichiro Isobe, Jun Tomita, Kazuhiko Kume.

Sleep regulation by dopaminergic neurons involved in drosophila aggression,

第 29 回日本時間生物学会学術大会, 2022 年 12 月 03 日, 栃木

## 【医薬品安全性評価学分野】

(原報)

Kataoka T, Sanagawa A, Suzuki J, Muto T, Hotta Y, Kawade Y, Maeda Y, Tohkin M, Kimura K.  
Influence of anticancer agents on sexual function: An in vivo study based on the US FDA Adverse  
Event Reporting System.  
*Andrology*. **10**(1), 166-178 (2022).

(総説・著書・総合論文など)

頭金正博, 合田幸広, 猪川和朗, 益山光一  
薬学部におけるレギュラトリーサイエンス教育をどう行うか  
薬学教育, **6**, (2022)

(学会発表)

中森瑞季、東野竜空、安部賀央里、頭金正博、佐々木崇光、吉成浩一  
機械学習による薬物代謝酵素の阻害活性予測モデルの開発(学生シンポジウム データ駆動型  
アプローチによる医薬品毒性予測)  
日本薬学会第 142 回年会 2022 年 3 月 25 日(金)～28 日(月) (オンライン)

伊藤潤、安部賀央里、足利太可雄、頭金正博  
ヒト皮膚感作性データを用いた機械学習による *in silico* 予測モデルの開発  
日本薬学会第 142 回年会 2022 年 3 月 25 日(金)～28 日(月) (オンライン)

安部賀央里、成田和人、小林睦、立花滋博、村崎亘、鈴木政晴、頭金正博、足利太可雄  
機械学習アプローチを用いた *in silico* モデルによるヘアカラー原料の皮膚感作性強度予測  
第 47 回日本化粧品学会, 2022 年 6 月 10 日(金) ～11 日(土) (東京)

土井更良、安部賀央里、頭金正博  
FAERS を用いた機械学習による薬物性肝障害の予測  
第 49 回日本毒性学会学術年会 2022 年 6 月 30 日(木)～7 月 2 日 (札幌)

村崎亘、安部賀央里、頭金正博、山田隆志、足利太可雄  
機械学習アプローチによる皮膚感作性強度を予測する回帰モデルの開発

第 49 回日本毒性学会学術年会 2022 年 6 月 30 日(木)~7 月 2 日 (札幌)

安部 賀央里

ヒトの副作用予測に向けた機械学習アプローチ シンポジウム 計算機科学を活用したヒトの有害事象  
研究の現状と展望

第 49 回日本毒性学会学術年会 2022 年 6 月 30 日(木)~7 月 2 日 (札幌)

家田維哉、島田裕脩、坂部彩、頭金正博

副作用報告データベースを用いた直接経口抗凝固薬による中枢神経系出血性副作用に対するプロ  
トンポンプ阻害薬併用の影響に関する解析 **学生優秀発表賞**

第 68 回日本薬学会東海支部総会・大会 2022 年 7 月 9 日(土) (名古屋)

吉井優花、大西真由、秋田彩佑、安部賀央里、頭金正博

臨床試験データを用いた疾患修飾性抗リウマチ薬(DMARDs)の安全性の研究

第 6 回日本臨床薬理学会 東海・北陸地方会 2022 年 7 月 30 日(土) (オンライン開催)

青木優佳、安部賀央里、村島美穂、濱野高行、頭金正博

悪性腫瘍患者における化学療法中の低 Na 血症の発症を予測する機械学習モデルの構築

第8回 次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム 2022 年 8 月 26 日 (東京)

木下啓、安部賀央里、足利太可雄、頭金正博

皮膚感作性の *in vitro* 試験法である KeratinoSens™ の結果を予測する機械学習モデルの構築

第8回 次世代を担う若手のためのレギュラトリーサイエンスフォーラム 2022 年 8 月 26 日 (東京)

吉井優花、大西真由、秋田彩佑、安部賀央里、頭金正博

既存の臨床試験データによる疾患修飾性抗リウマチ薬とメトトレキサート併用時の有効性と安全性の  
解析

第 32 回日本医療薬学会年会 2022 年 9 月 23 日~25 日 (高崎)

Sarara Doi,, Kaori Ambe, Masahiro Tohkin

Prediction of drug-induced liver injury in silico using large-scale adverse event database

CBI 学会 2022 年大会 2022 年 10 月 25 日~10 月 27 日 (東京)

Tamana Enami, Kaori Ambe, Masahiro Tohkin

Development of classification machine learning model for inhibition activity of CYP3A4 using image  
recognition for chemical structure of substances

日本薬物動態学会 第 37 回年会 2022 年 11 月 7 日~10 日 (横浜)

木下啓、安部賀央里、足利太可雄、頭金正博

皮膚感作性評価における *in vitro* 試験法の効率化を目指した機械学習モデルの開発

日本動物実験代替法学会第 35 回大会 2022 年 11 月 18 日～20 日 (静岡)

伊藤潤、安部賀央里、足利太可雄、頭金正博

化学構造情報からヒトの皮膚感作性を予測する機械学習モデルの開発

日本動物実験代替法学会第 35 回大会 2022 年 11 月 18 日～20 日 (静岡)

大西真由、吉井優花、劉臨風、安部賀央里、頭金正博

臨床試験データを用いた生物学的製剤および JAK 阻害薬のメトトレキサート併用療法における有効性と安全性に関する研究

第 43 回日本臨床薬理学会学術総会 JPW2022 2022 年 11 月 30 日(水)～12 月 3 日(土) (横浜)

家田維哉、黒田侑花、松本貴大、山下彩花、渡邊崇、木村通男、堀雄史、川上純一、頭金正博

医療情報データベースを活用した抗菌薬による薬剤性急性腎障害の発症リスク及び慢性腎臓病へ移行するリスクの評価

第 43 回日本臨床薬理学会学術総会 JPW2022 2022 年 11 月 30 日(水)～12 月 3 日(土) (横浜)

中森瑞季、頭金正博、片山早紀、柴田侑裕、楠本茂、野坂生郷、<sup>3</sup> 今泉芳孝、末廣陽子、宇都宮與、上田龍三、石田高司、石塚賢治

モガムリズマブ投与患者における重篤な皮膚障害の発症に関連するバイオマーカーの探索研究 **優秀演題賞**

第 43 回日本臨床薬理学会学術総会 JPW2022 2022 年 11 月 30 日(水)～12 月 3 日(土) (横浜)

片山 早紀、青木 優佳、頭金 正博

ナショナルレセプトデータベース(NDB)を使用したワルファリンに対する直接経口抗凝固薬(DOAC)の有用性に関する研究

第 43 回日本臨床薬理学会学術総会 JPW2022 2022 年 11 月 30 日(水)～12 月 3 日(土) (横浜)

青木 優佳、片山 早紀、頭金 正博

非弁膜症性心房細動患者における直接経口抗凝固薬 (DOAC)の有効性・安全性の評価 ～ナショナルレセプトデータベースを用いた解析～

第 43 回日本臨床薬理学会学術総会 JPW2022 2022 年 11 月 30 日(水)～12 月 3 日(土) (横浜)

渡邊 崇、安部 賀央里、頭金 正博



機械学習を用いた添付文書への重大な副作用の追記予測

第 43 回日本臨床薬理学会学術総会 JPW2022 2022 年 11 月 30 日(水)～12 月 3 日(土)(横浜)

片山 早紀, 安部 賀央里, 頭金 正博

化学構造情報と *in vitro* 情報を使用した特異体質性薬物性肝障害の機械学習を用いた予測手法の開発

第 5 回医薬品毒性機序研究会 2022 年 12 月 8 日～9 日 (東京)

【病院薬剂学分野】

(原報)

Tomita N, Hotta Y, Ito H, Naiki-Ito A, Matsuta K, Yamamoto Y, Ohashi K, Hayakawa T, Sanagawa A, Horita Y, Kondo M, Kataoka T, Takahashi S, Sobue K, Kimura K.

High preoperative serum strontium increase the risk of acute kidney injury after cardiopulmonary bypass

*Clin Exp Nephrol.* **27**(4), 382-391 (2022)

Mori T, Hotta Y, Ieda N, Kataoka T, Nakagawa H, Kimura K.

Efficacy of a Red-Light Controllable Nitric Oxide Releaser for Neurogenic Erectile Dysfunction; a Study Using a Rat Model of Cavernous Nerve Injury.

*World J Mens Health.* **41**(4), 909-919 (2022)

Kataoka T, Ito H, Mori T, Hotta Y, Sanagawa A, Maeda Y, Furukawa-Hibi Y, Kimura K.

Testosterone improved erectile function by upregulating transcriptional expression of growth factors in late androgen replacement therapy model rats.

*Int J Impot Res.* **36**(4), 437-442 (2022)

Sanagawa A, Hotta Y, Sezaki R, Tomita N, Kataoka T, Furukawa-Hibi Y, Kimura K.

Effect of Replicative Senescence on the Expression and Function of Transporters in Human Proximal Renal Tubular Epithelial Cells.

*Biol Pharm Bull.* **45**(11), 1636-1643 (2022)

Ieda N, Yoshikawa Y, Tomita N, Ohkubo K, Hotta Y, Kawaguchi M, Kimura K, Nakagawa H.

Ascorbate-assisted Nitric Oxide Release from Photocontrollable Nitrosonium Ion Releasers for Potent Ex Vivo Photovasodilation.

*Chem Commun.* **58**(60), 8420-8423 (2022)

Kataoka T, Fukamoto A, Hotta Y, Sanagawa A, Maeda Y, Furukawa-Hibi Y, Kimura K.

Effect of High Testosterone Levels on Endothelial Function in Aorta and Erectile Function in Rats.

*Sex Med.* **10**(5), 100550 (2022)

Tomita N, Hotta Y, Naiki-Ito A, Sanagawa A, Kataoka T, Furukawa-Hibi Y, Takahashi S,

Kimura K.

Protective Effects of Tadalafil on Damaged Podocytes in an Adriamycin-Induced Nephrotic Syndrome Model.

*J Pharmacol Sci.* **149**(2), 53-59 (2022)

Kataoka T, Hidaka J, Suzuki J, Mori T, Nakamura D, Hotta Y, Sanagawa A, Maeda Y, Furukawa-Hibi Y, Kimura K.

Evaluating the Effects of Low Carbohydrate and High Protein Diet on Erectile Function in Rats.

*Sex Med.* **10**(2), 100500 (2022)

Ikenaka K, Maeda Y, Hotta Y, Nagano S, Tatebe H, Atsuta N, Ito D, Aguirre C, Kimura Y, Baba K, Katsuno M, Tokuda T, Kimura K, Sobue G, Mochizuki H.

Serum Asymmetric Dimethyl Arginine Level Correlates with the Progression and Prognosis of Amyotrophic Lateral Sclerosis.

*Eur J Neurol.* **29**(5), 1410-1416 (2022)

Kataoka T, Kawaki Y, Kito Y, Suzuki J, Mori T, Hotta Y, Sanagawa A, Kawade Y, Maeda Y, Furukawa-Hibi Y, Kimura K.

Gosha-Jinki-Gan Improved Erectile Dysfunction Caused by Anti-Cancer Agent Oxaliplatin by Decreasing Transcriptional Expression of Phosphodiesterase-5 in Rats.

*Sex Med.* **10**(2), 100484 (2022)

Kataoka T, Sanagawa A, Suzuki J, Muto T, Hotta Y, Kawade Y, Maeda Y, Tohkin M, Kimura K.

Influence of Anticancer Agents on Sexual Function: An in Vivo Study based on the US FDA Adverse Event Reporting System.

*Andrology.* **10**(1), 166-178 (2022)

外海友規, 近藤勝弘, 堀田康弘, 堀田祐志, 木村和哲

抗がん剤自動調製ロボット (ChemoRo™) が薬剤師の抗がん剤調製業務の効率性に与える影響  
*医療薬学.* **48**(6), 229-239 (2022)

(総説・著書・総合論文など)

堀田祐志、海老原大希、川田龍哉、片岡智哉.  
下部尿路機能における NO の生理的役割に関する最近の話題.  
*化学と生物*. **60**(11), 560-564 (2022)

片岡智哉、堀田祐志、木村和哲.  
テストステロンをあげる食品機能因子.  
*泌尿器科*. **16**(1), 53-59 (2022)

堀田祐志、森 泰毅、木村和哲.  
光応答性 NO ドナーを用いた ED 治療の新たなアプローチ.  
*日本薬理学会雑誌*. **157**(3), 172-175 (2022)

堀田祐志、家田直弥.  
光制御可能な NO ドナーの開発と難治性勃起不全への応用.  
*月刊細胞*. Topics from special edition. **54**(3), 147-150 (2022)

(学会発表)

Mori T, Hotta Y, Kataoka T, Matsumoto S, Yamamoto T, Kimura K.  
Effect of Filtrated Bone Marrow-Derived Stem Cell Lysate on Erectile Function and Nerve Regeneration in Rats With Neurogenic Erectile Dysfunction  
23rd Annual Fall Scientific Meeting of SMSNA/23rd ISSM Scientific Meeting. 2022.10.  
Miami, USA

Mori T, Hotta Y, Ieda N, Kataoka T, Nakagawa H, Kimura K.  
The Light-Controlled Nitric Oxide Donor “NORD-1” may Improve Erectile Function Without Hypotension and Tissue Damage in Rats With Neurogenic Erectile Dysfunction  
23rd Annual Fall Scientific Meeting of SMSNA/23rd ISSM Scientific Meeting. 2022.10.  
Miami, USA

Kataoka T, Hotta Y, Sanagawa A, Hibi Y, Kimura K.  
Effect of Anticancer Agents on Erectile Function in Juvenile Rats  
23rd Annual Fall Scientific Meeting of SMSNA/23rd ISSM Scientific Meeting. 2022.10.  
Miami, USA

Kawata R, Kataoka T, Hibi Y, Hotta Y.

Effects of intrapelvic nerve injury on detrusor muscle contraction without bladder overdistension in rats

International Continence Society 2022. 2022.9. Vienna, Austria (Web 開催)

Kataoka T, Fukamoto A, Hotta Y, Sanagawa A, Maeda Y, Furukawa-Hibi Y, Kimura K.

Effect of high testosterone levels on endothelial function in aorta and erectile function in rats

第 96 回日本薬理学会年会 / 第 43 回日本臨床薬理学会学術総会 2022 年 11 月 30 日～12 月 3 日 (横浜)

吉田拓磨、大山享也、森泰毅、堀田祐志、片岡智哉、家田直弥、日比陽子、中川秀彦、大矢進、木村和哲.

赤色光応答性 NO ドナーの糖尿病性勃起不全への応用～ラットモデルでの検討～

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会 2022. 2022 年 11 月 6 日 (静岡)

真川明将、堀田祐志、家田直弥、前田康博、片岡智哉、日比陽子、中川秀彦、木村和哲.

がん分子標的薬ベムラフェニブの尿細管毒性に関わる未知標的分子の探索

第 32 回日本医療薬学会年会. 2022 年 9 月 23 日～25 日 (高崎)

片岡智哉、堀田祐志、木村和哲

LOH セッション 2 「LOH 症候群プラクティカル診療に役立つ知識」 テストステロンとサプリメント

第 22 回日本メンズヘルス医学会 2022 年 9 月 17 日、18 日. (Web 開催) 【招請講演】

齋藤大介、家田直弥、大山享也、堀田祐志、川口充康、木村和哲、中川秀彦.

テルロローダミンをアンテナとする光制御 NO ドナーの開発と血管弛緩制御への応用

2022 年光化学討論会. 2022 年 9 月 13 日～15 日 (京都)

堀田祐志、片岡智哉、木村和哲

性機能に影響を与える食品・サプリメント～基礎研究からの知見～

日本性機能学会第 32 回学術総会. 2022 年 9 月 9 日～11 日. (横浜) 【招請講演】

片岡智哉、伊藤寛人、森泰毅、堀田祐志、真川明将、日比陽子、木村和哲.  
増殖因子の発現変化に着目したテストステロン補充療法の作用機序の解明—去勢モデルラットを用いた分子薬理的検討—  
日本性機能学会第 32 回学術総会. 2022 年 9 月 9 日～11 日. (横浜)

森泰毅、堀田祐志、家田直弥、片岡智哉、中川秀彦、木村和哲.  
赤色光応答性 NO ドナー「NORD-1」の神経性 ED モデルに対する有効性の検討  
日本性機能学会第 32 回学術総会. 2022 年 9 月 9 日～11 日. (横浜)

堀田祐志、木村和哲  
シンポジウム基礎研究 Cutting Edge (1) 下部尿路機能障害の治療を目指した光制御可能な NO ドナーの開発  
第 29 回日本排尿機能学会. 2022 年 9 月 1 日～3 日. (札幌) 【招請講演】

川田龍哉、堀田祐志、片岡智哉、日比陽子、太田裕也、窪田泰江、安井孝周、木村和哲.  
ラット骨盤内神経損傷の直後に排尿筋収縮力に生じる変化についての検討  
第 29 回日本排尿機能学会. 2022 年 9 月 1 日～3 日. (札幌)

片岡智哉、堀田祐志、真川明将、松山奈有佳、窪田泰江、安井孝周、日比陽子、木村和哲.  
ラット排尿筋収縮因子に対する糖質制限食が及ぼす影響  
第 29 回日本排尿機能学会. 2022 年 9 月 1 日～3 日. (札幌)

川田龍哉、堀田祐志、片岡智哉、日比陽子、太田裕也、窪田泰江、安井孝周、木村和哲.  
排尿筋と内尿道括約筋の収縮弛緩機能に着目した骨盤内神経損傷モデルラットの病態解明  
第 64 回日本平滑筋学会総会. 2022 年 7 月 29 日、30 日 (名古屋)

真川明将、堀田祐志、家田直弥、前田康博、片岡智哉、日比陽子、中川秀彦、木村和哲.  
がん分子標的薬ベムラフェニブの尿細管毒性に関わる構造活性相関研究  
医療薬学フォーラム 2022 / 第 30 回クリニカルファーマシーシンポジウム. 2022 年 7 月 23 日、  
24 日 (Web 開催)

大山 享也、堀田祐志、森泰毅、片岡智哉、日比陽子、家田直弥、中川秀彦、木村和哲.  
糖尿病性勃起不全モデルに対する赤色光応答性 NO ドナー「NORD-1」の効果  
第 32 回日本性機能学会中部総会. 2022 年 7 月 9 日 (京都)

堀田祐志、森泰毅、大山享也、家田直弥、片岡智哉、中川秀彦、木村和哲.

光制御可能な NO ドナーによる ED 改善効果—2 種類の ED モデルでの検討—  
日本アンドロロジー学会第 41 回学術大会. 2022 年 6 月 3 日、4 日（福島）

片岡智哉、真川明将、堀田祐志、日比陽子、木村和哲.  
抗がん剤投与に伴う勃起障害に対する新規治療法の探索 - ビンクリスチン投与に伴う ED モデルラットを用いた DPP-4 阻害薬の効果への薬理的検討 -  
日本アンドロロジー学会第 41 回学術大会. 2022 年 6 月 3 日、4 日（福島）

齋藤大介、家田直弥、堀田祐志、川口充康、木村和哲、中川秀彦.  
Tellurorhodamine をアンテナとする高効率な可視光応答性 NO ドナーの創製研究  
日本酸化ストレス学会. 2022 年 5 月 25 日、26 日

堀田康弘、朝岡みなみ、飯田萌子、堀田祐志、片岡智哉、加藤秀紀、三田村佳奈、山内歌恋、中村 敦、木村和哲.  
AUC に基づく新しい投与設計に対応した TDM 支援ソフトの開発と臨床応用  
第 38 回日本 TDM 学会・学術大会. 2022 年 5 月 21 日、22 日（つくば）

飯田萌子、堀田康弘、堀田祐志、片岡智哉、大橋一輝、三村佳久、野村有紀、小田切州広、中村 敦、木村和哲.  
新規 TDM 支援ソフト SAKURA-TDM を活用したバンコマイシンの定常状態 AUC の安全域に関する研究  
第 38 回日本 TDM 学会・学術大会. 2022 年 5 月 21 日、22 日（つくば）

Hotta Y.

Symposium 6\_ Sexual health promotion and preventive medicine  
2022 APSSM & TAASM & GCASMF. May 20-22, 2022. (Taichung, Web 開催) 【招請講演】

野田みすず、富田なつみ、真川明将、片岡智哉、日比陽子、堀田祐志、木村和哲.  
Phosphodiesterase-5 阻害剤 tadalafil の腎線維化抑制効果のメカニズムの解明  
日本薬学会第 142 年会. 2022 年 3 月 25 日-28 日（名古屋、Web 開催）

川田龍哉、堀田祐志、中田菜美、片岡智哉、日比陽子、木村和哲.  
Examining the mechanisms underlying bladder fibrosis associated with injured intrapelvic nerves in rats  
第 95 回日本薬理学会年会. 2022 年 3 月 7 日-9 日（福岡）

柴山真純、堀田祐志、片岡智哉、松本成史、山本徳則、木村和哲.

**Efficacy of filtered bone marrow stem cell lysate for overflow urinary incontinence in model rats**

第 95 回日本薬理学会年会. 2022 年 3 月 7 日-9 日 (福岡)

森泰毅、堀田祐志、片岡智哉、松本成史、山本徳則、木村和哲.

**Effect of filtrated bone marrow derived mesenchymal stem cell lysate on erectile function in erectile dysfunction model rat with cavernous nerve injury**

第 95 回日本薬理学会年会. 2022 年 3 月 7 日-9 日 (福岡)

片岡智哉、真川明将、堀田祐志、日比陽子、木村和哲.

**Testosterone improves erectile dysfunction induced by doxorubicin in rats by supressing the inflammatory response in the corpus cavernosum**

第 95 回日本薬理学会年会. 2022 年 3 月 7 日-9 日 (福岡)

片岡智哉、川木雄斗、鬼頭陽平、鈴木純、堀田祐志、川出義浩、日比陽子、木村和哲.

牛車腎気丸は PDE-5 阻害作用を介してオキサリプラチン投与に伴う男性性機能障害を改善させる

第 12 回日本がん・生殖医療学会学術講演会. 2022 年 2 月 11 日-13 日 (名古屋)



## 【臨床薬学分野】

(原報)

Aoki H, Yamashita M, Hashita T, Iwao T, Aoyama M, Matsunaga T.

Generation of brain microvascular endothelial-like cells from human iPS cell-derived endothelial progenitor cells using TGF- $\beta$  receptor inhibitor, laminin 511 fragment, and neuronal cell culture supplements.

*Pharmaceutics*, **14**, 2697 (2022).

Nakanishi A, Okumura H, Hashita T, Yamashita A, Nishimura Y, Watanabe C, Kamimura S, Hayashi S, Murakami S, Ito K, Iwao T, Ikeda A, Hirose T, Sunazuka T, Tanaka Y, Matsunaga T.

Ivermectin inhibits HBV entry into the nucleus by suppressing KPNA2.

*Viruses*, **14**, 2468 (2022).

Ogawa I, Onozato D, Anno S, Hayashi H, Kanaki T, Iwao T, Matsunaga T.

Suspension culture of human induced pluripotent stem cell-derived intestinal organoids using natural polysaccharides.

*Biomaterials*, **288**, 121696 (2022).

Nakanishi A, Toyama S, Onozato D, Watanabe C, Hashita T, Iwao T, Matsunaga T.

Effects of human induced pluripotent stem cell-derived intestinal organoids on colitis-model mice.

*Regen Ther*, **21**, 351–361 (2022).

Yamamoto C, Takemura A, Ishii, Doi A, Saito I, Yamada H, Sakai Y, Matsunaga T, Ito K.

A novel perfusion culture system for screening mitochondrial toxicity in primary mouse hepatocytes.

*J Toxicol Sci*, **47**, 13–18 (2022).

Kitaguchi T, Mizota T, Ito M, Ohno K, Kobayashi K, Ogawa I, Qiu S, Iwao T, Hanioka N, Tanaka M, Matsunaga T.

Simultaneous evaluation of membrane permeability and UDP-glucuronosyltransferase-mediated metabolism of food-derived compounds using human induced pluripotent stem cell-derived small intestinal epithelial cells. *Drug Metab Dispos*, **50**, 17–23 (2022).

水野正子, 大石由香里, 菊池千草, 堀 英生, 鈴木 匡.

薬局薬剤師と訪問看護師の患者情報共有による連携の有用性の実践検証.

社会薬学, **41**, 167-174 (2022).

(総説・著書・総合論文など)

松永民秀. 腸管／肝臓モデルの開発. 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス. **53(5)**, 998–1004, 2022.

(学会発表)

松永民秀【招待講演】

小腸－肝臓連結 MPS の開発と創薬研究への利用.

日本学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25–28 日 (名古屋 (オンライン開催)).

岩尾岳洋【招待講演】

消化管における薬物動態や粘膜障害の評価に向けたヒト iPS 細胞の利用.

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25–28 日 (名古屋 (オンライン開催)).

松永民秀【招待講演】

細胞と小腸－肝臓連結 MPS の開発.

第 29 回 HAB 研究機構学術年会シンポジウム, 2022 年 5 月 19 日 (東京、オンライン・オンサイトハイブリッド開催).

松永民秀【招待講演】

生体模倣を目指して：ヒト iPS 細胞由来腸管細胞と小腸－肝臓連結デバイス開発.

特定非営利法人 国際生命科学研究機構 (ILSI Japan), 2022 年 6 月 9 日 (オンライン開催).

松永民秀【招待講演】

AMED-MPS 事業における二臓器連結デバイスの開発.

第 49 回日本毒性学会学術年会, 2022 年 6 月 30 日 (札幌).

岩尾岳洋【招待講演】

医薬品の消化管吸収や安全性評価のための iPS 細胞由来腸管細胞.

日本薬物動態学会第 37 回年会, 2022 年 11 月 7–10 日 (横浜).

坡下真大【招待講演】

創薬応用を目指した iPS 細胞由来血液脳関門モデルの開発.

日本薬物動態学会第 37 回年会, 2022 年 11 月 7-10 日 (横浜) .

坡下真大【招待講演】

創薬応用を目指した iPS 細胞由来血液脳関門モデルの開発.

日本実験動物代替法学会第 35 回大会, 2022 年 11 月 20 日 (静岡) .

白井晃太郎, 邱 施萌, 岩尾岳洋, 松永民秀.

薬物動態アッセイモデルの確立に向けたヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞の培養法の改良.

細胞アッセイ研究会シンポジウム 2022, 2022 年 1 月 25 日 (オンライン開催) .

金子昌平, 坡下真大, 堀 陽子, 松永民秀.

ヒト iPS 細胞由来肝細胞の NTCP に対する因子 X 添加の影響.

細胞アッセイ研究会シンポジウム 2022, 2022 年 1 月 25 日 (オンライン開催) .

吉見和奏, 供田将志, 堀 英生, 鈴木 匡

ID-POS データを活用した OTC 刺激性便秘薬の適正使用に関する調査研究.

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25 日-28 日 (名古屋) .

美馬伸治, 今倉悠貴, 山崎奈穂, 望月清一, 猪又 晃, 岩尾岳洋, 松永民秀, 遠藤 撰, 永田幸三.

ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞の特性と病態モデルとしての有用性.

第 49 回日本毒性学会学術集会, 2022 年 6 月 30 日-7 月 2 日 (札幌) .

吉永千裕, 横井杏菜, 水野正子, 浅井治行, 山田葉子, 三宅宏季, 石川友康, 供田将志, 菊池千草, 堀 英生, 鈴木 匡.

薬局薬剤師による多職種への積極的な在宅支援情報提供の効果検証.

第 32 回日本医療薬学会年会, 2022 年 9 月 23-25 日 (群馬) .

兼田佳果, 堀 英生, 供田将志, 菊池千草, 鈴木 匡.

ドラッグストア ID-POS データによる眠気防止剤の購買動向の解析.

日本社会薬学会第 40 年会, 2022 年 10 月 1-2 日 (東京) .

美馬伸治, 今倉悠貴, 山崎奈穂, 望月清一, 猪又 晃, 岩尾岳洋, 松永民秀, 遠藤 撰, 永田幸三, 柿沼千早.

ヒト iPS 細胞由来腸管上皮細胞 (F-hiSIEC™) の特徴と創薬への応用.

第 16 回次世代を担う若手のための医療薬科学シンポジウム, 2022 年 10 月 29 日-30 日 (和歌山).

岩崎萌実, 坂下真大, 岩尾岳洋, 松永民秀.

糸球体モデル構築に応用可能なヒト iPS 細胞由来ポドサイト作製に向けたネフロン前駆細胞分化誘導法の検討.

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2022, 2022 年 11 月 6 日 (静岡).

佐藤寛之, 山下美紗季, 坂下真大, 岩尾岳洋, 松永民秀.

iPS 細胞用いた血液脳関門モデルの作製とその機能評価.

日本薬物動態学会第 37 回年会, 2022 年 11 月 7-10 日 (横浜).

北口 隆, 伊藤美奈, 太田考陽, 大野克利, 小林和浩, 佐藤洋美, 岩尾岳洋, 松永民秀, 田中充, 樋坂章博.

In vitro 試験による食品関連化合物のヒト血漿中濃度予測.

日本薬物動態学会第 37 回年会, 2022 年 11 月 7-10 日 (横浜).

白井晃太郎, 邱 施萌, 菅谷幸子, 上野孝哉, 岩尾岳洋, 松永民秀.

薬物動態研究に向けたヒト iPS 細胞由来小腸上皮細胞の培養法の改良.

日本薬物動態学会第 37 回年会, 2022 年 11 月 7-10 日 (横浜).

諸橋康史, 美馬伸治, 今倉悠貴, 山崎奈穂, 岩尾岳洋, 松永民秀, 前田和哉, 楠原洋之, 望月清一, 遠藤 撰, 鈴木 亮.

ヒト iPS 細胞由来腸管細胞(F-hiSIEC™)におけるヒト腸管吸収予測性向上のための取り組み.

日本薬物動態学会第 37 回年会, 2022 年 11 月 7-10 日 (横浜).

岩崎萌実, 坂下真大, 岩尾岳洋, 松永民秀.

薬物動態評価や病態解明に適用可能なヒト iPS 細胞由来ポドサイトの作製.

日本薬物動態学会第 37 回年会, 2022 年 11 月 7-10 日 (横浜).

小川 勇, 岩尾岳洋, 松永民秀.

ヒト iPS 細胞由来腸管オルガノイドを用いた薬物吸収予測モデルの検証.

日本薬物動態学会第 37 回年会, 2022 年 11 月 7-10 日 (横浜).

山下美紗季，佐藤寛之，坡下真大，岩尾岳洋，松永民秀.

ハンチントン病 iPS 細胞由来マイクログリア・内皮細胞を用いた *in vitro* ヒト BBB 病態モデルの開発.

第 45 回日本分子生物学会年会，2022 年 11 月 30 日-12 月 2 日（千葉）.

中西杏菜，上村咲菜，坡下真大，林佐奈衣，村上周子，伊藤恭子，岩尾岳洋，池田朱里，廣瀬友靖，砂塚敏明，田中靖人，松永民秀.

新規 B 型肝炎治療薬候補化合物の抗 HBV 作用メカニズムの解析.

第 45 回日本分子生物学会年会，2022 年 11 月 30 日-12 月 2 日（千葉）.

堺 陽子，松村将成，岩尾岳洋，長田茂宏，松永民秀.

短期間で毛細胆管を形成するヒト凍結肝細胞の培養法の確立.

第 45 回日本分子生物学会年会，2022 年 11 月 30 日-12 月 2 日（千葉）.

## 5 科学研究費等補助金

科学研究費

研究種目	研究課題 / 領域番号	研究代表者	職名 (採択時)	期間開始 日	期間終了 日	4年度配 分額	研究課題名
新学術	21H00290	川口充康	講師	20210401	20230331	2,000,000	プロテアソーム分解過程可視化蛍光プローブの開発と新規プロテアソーム阻害剤の探索
基盤研究(A)	19H01017	加藤晃一	教授	20190401	20230331	8,100,000	先端計測アプローチの統合による抗体の構造動態と機能発現の関連機構の解明
基盤研究(B)	20H03255	白根道子	教授	20200401	20230331	5,070,000	オルガネラコミュニケーションの破綻による神経変性疾患の発症機構
基盤研究(B)	20H03369	樋口恒彦	名誉教授	20200401	20230331	5,070,000	ポルフィリン関連分子の医薬科学への多様な応用に関する研究
基盤研究(B)	20H03384	服部光治	教授	20200401	20230331	5,590,000	精神疾患の理解と治療を志向した、分泌タンパク質リーリンの基礎および応用研究
基盤研究(B)	21H02406	星野真一	教授	20210401	20250331	4,160,000	外来性ウイルス RNA を分解する生体防御機構の全容解明
基盤研究(B)	21H02529	桑和彦	教授	20210401	20240331	5,460,000	ショウジョウバエの睡眠覚醒制御機構の新規側面の解明
基盤研究(B)	21H02625	矢木宏和	准教授	20210401	20250331	5,070,000	糖転移酵素の局在と基質タンパク質の選別輸送による糖鎖修飾プログラムの解明
基盤研究(B)	21H02650	井上靖道	准教授	20210401	20240331	5,850,000	上皮間葉転換の生体内動態可視化によるがん転移の時空間的理解と新規治療法開発
基盤研究(B)	22H02787	山村壽男	教授	20220401	20250331	7,410,000	新規肺高血圧症治療薬を指向したイオンチャネル創薬
基盤研究(B)	22H02788	松永民秀	教授	20220401	20250331	5,720,000	腸と肝臓の臓器間相互作用(腸肝軸)in vitro モデルの構築とその評価

基盤研究(B)	22H02773	鈴木良明	講師	20220401	20260331	4,680,000	興奮転写連関による先駆細胞誘導を起点とした血管リモデリング発症機構の解明
基盤研究(C)	19K10537	和知野千春	研究員	20190401	20230331	780,000	小児領域の抗菌薬適正使用支援のための評価管理プログラムの開発と臨床実用化
基盤研究(C)	20K05752	家田直弥	講師	20200401	20230331	1,300,000	体外から制御可能な低エネルギー光ケージド化合物群の開発
基盤研究(C)	20K06744	富田淳	講師	20200401	20230331	1,840,000	ショウジョウバエ神経細胞における NMDA 受容体活性の測定に基づく睡眠要求の定量化
基盤研究(C)	20K07016	築地仁美	研究員	20200401	20230331	1,300,000	RNA 結合タンパク質量の増減による、筋萎縮性側索硬化症 ALS の治療法開発
基盤研究(C)	20K07017	肥田重明	教授	20200401	20230331	910,000	アレルギー疾患の病態形成に関与する常在細菌と自然免疫細胞応答の解析
基盤研究(C)	20K07034	岩尾岳洋	准教授	20200401	20230331	1,430,000	ヒト iPS 細胞から作製した腸管細胞を用いた消化管傷害の評価系の開発
基盤研究(C)	20K07051	河野孝夫	准教授	20200401	20230331	1,430,000	大脳皮質における時空間特異的なリーリン作用機構と意義の解明
基盤研究(C)	20K07052	林秀敏	教授	20200401	20230331	1,430,000	新規がん遺伝子候補分子TRB1の新たな発がんメカニズムに基づく抗がん剤の開発基盤
基盤研究(C)	20K07103	石内勘一郎	准教授	20200401	20240331	1,170,000	内生糸状菌のゲノム情報を活用した植物由来希少有用天然物の生合成研究
基盤研究(C)	20K07135	保嶋智也	講師	20200401	20230331	1,170,000	高尿酸血症から痛風発症へのトリガーとなる分子基盤の解明
基盤研究(C)	20K07159	湯浅博昭	教授	20200401	20230331	1,300,000	新規ポリアミントランスポーターの機能及び生理的役割の解明
基盤研究(C)	20K07160	坡下真大	講師	20200401	20230331	1,560,000	ALS 患者 iPS 細胞由来ミクログリアを用いた炎症反応模倣 BBB 評価系の構築
基盤研究(C)	20K07203	尾関哲也	教授	20200401	20230331	1,560,000	多孔質 PLGA 粒子を用いたバイオ医薬品徐放プラットフォーム技術に



							関する研究
基盤研究(C)	20K08211	青山峰芳	教授	20200401	20240331	1,300,000	炎症細胞とグリアのクロストークによる新生児低酸素性虚血性脳症への新規低体温療法
基盤研究(C)	20K09583	堀田祐志	講師	20200401	20230331	910,000	光制御可能な NO ドナー「NORD-1」の難治性 ED への応用
基盤研究(C)	21K05008	山中淳平	教授	20210401	20240331	910,000	荷電コロイド粒子の交互積層によるダイヤモンド格子型フォトニック結晶の構築
基盤研究(C)	21K06458	中村精一	教授	20210401	20240331	1,300,000	生合成経路を模倣する生物活性メロテルペノイドの全合成研究
基盤研究(C)	21K06480	久松洋介	講師	20210401	20240331	1,690,000	水中でヘム高選択的な認識能を発揮する蛍光性人工レセプターの創製と応用
基盤研究(C)	21K06580	栗原裕司	助教	20210401	20240331	1,300,000	神経突起伸長因子 LOTUS の受容体同定と分子メカニズム解析
基盤研究(C)	21K06647	頭金正博	教授	20210401	20240331	1,430,000	ネットワークメタ解析手法を用いた新規抗リウマチ薬の有効性と安全性の比較
基盤研究(C)	21K07155	中津海洋一	講師	20210401	20240331	1,560,000	mTORC1 依存的液—液相分離制御によるがん促進機構の解明
基盤研究(C)	20K06520	鈴木詔子	研究員	20200401	20230331	1,300,000	$\alpha$ 4Gal 転移酵素はどのように基質の糖タンパク質／糖脂質部分を識別するのか？
基盤研究(C)	22K06532	梅澤直樹	准教授	20220401	20250331	1,300,000	側鎖構造をもつ新規ポリアミン型オリゴマーの固相合成と標的核酸との選択的結合
基盤研究(C)	22K07026	田中正彦	准教授	20220401	20250331	1,560,000	腸管グリア細胞は腸炎の新規治療標的となりうるか？
基盤研究(C)	22K06505	川口充康	講師	20220401	20250331	1,690,000	SIRT 脱ミリスチル化活性選択的阻害剤の開発と細胞機能の光操作
基盤研究(C)	22K06680	寺坂和祥	講師	20220401	20250331	1,690,000	代謝改変を指向したアリストロキア酸生合成の鍵酵素の同定
基盤研究(C)	22K07425	太田美里	研究員	20220401	20250331	1,170,000	大黄の修治による血流改善メカニズムの解明および漢方処方への応用
基盤研究(C)	20K06615	宇田川剛	准教授	20200401	20230331	1,300,000	新生ペプチド鎖品質管理機構の破綻による細胞死誘導機構の解明

挑戦的研究 (萌芽)	20K21722	鈴木匡	教授	20200730	20230331	2,080,000	薬局薬剤師による在宅支援情報の有効な活用方法開拓とシステム化推進のための実践検証
挑戦的研究 (萌芽)	20K21906	平嶋尚英	教授	20200730	20230331	1,560,000	リポソームと好塩基球を融合したハイブリッド分泌系の構築と細胞治療・DDS への展開
挑戦的研究 (萌芽)	21K19342	服部光治	教授	20210709	20230331	2,990,000	神経細胞の膜流動性を標的とする神経機能改善法の開発
挑戦的研究 (萌芽)	21K19343	鈴木良明	講師	20210709	20240331	1,690,000	血管平滑筋を主軸とした血管リモデリング新規形成機構の解明
挑戦的研究 (萌芽)	22K18650	大澤匡弘	准教授	20220630	20240331	2,500,000	意欲を生み出す脳活動の抽出と「やる気」を脇き立たせる大脳ネットワークモデルの構築
若手研究	20K16050	安部賀央里	講師	20200401	20230331	1,300,000	医療ビッグデータと機械学習を活用した薬剤性腎障害の予測手法の開発
若手研究	20K16083	三村佳久	研究員	20200401	20240331	130,000	前立腺がんの新規骨転移予測法の開発ー骨密度に着目した研究ー
若手研究	21K15230	秋山敏毅	助教	20210401	20230331	2,080,000	酸化了的イソベンゾフラン発生法を機軸とする生物活性天然物合成
若手研究	21K15318	山城貴弘	助教	20210401	20230331	2,080,000	SLC19A3 の基質依存的輸送機能の分子機構と病態との関連性の解明
若手研究	21K15319	真川明将	助教	20210401	20230331	1,820,000	選択的 BRAF 阻害剤のポドサイト保護・毒性作用を決定付ける真の標的分子の同定
若手研究	21K16403	青木啓将	助教	20210401	20230331	2,340,000	
若手研究	22K15280	鈴木瑠理子	助教	20220401	20250331	1,170,000	戦略的な IgG 抗体加工テクノロジーを用いた新規アレルギー治療薬の開発
若手研究	22K15322	小川昂輝	助教	20220401	20250331	1,690,000	徐放性 DDS を応用した持効型 mRNA 医薬の開発と中枢神経系疾患への治療展開

若手研究	21K14616	池内和忠	講師	20210401	20230331	1,690,000	パラニン類に内在する特異的三環性骨格構築法の開発と全合成への展開
国際共同研究強化(B)	22KK0180	大澤匡弘	准教授	20221007	20270331	2,470,000	疼痛の慢性化を予防・改善する脳活動ネットワークの同定と治療への応用
学術変革領域研究(A)	21H05259	中川秀彦	教授	20210401	20260331	11,200,000	超硫黄分子 in-cell ケミストリーの確立とその生命科学研究への応用
学術変革領域研究(A)	22H05615	矢木真穂	講師	20220401	20240331	4,680,000	クマムシ由来メインタンパク質の分子ネットワークの実体解明
研究活動スタート支援	21K20725	堀英生	講師	20210401	20230331	1,560,000	ヒト iPS 細胞由来血管内皮細胞を用いた糖尿病性血管障害モデルの構築
特別研究員奨励費	20J23449	小林里帆	DC1	20200401	20230331	1,000,000	Sik3 による睡眠調節機構の解析
特別研究員奨励費	20J23566	石井圭介	DC1	20200401	20230331	800,000	海馬層構造の形成と維持に関わる新規メカニズムの解明と、その疾患治療への応用
特別研究員奨励費	20J23703	齋藤泰輝	DC1	20200401	20230331	1,000,000	Sik3 による睡眠調節機構の解析
特別研究員奨励費	21J15785	山下美紗季	DC2	20210401	20230331	800,000	疾患 iPS 細胞由来ミクログリア・内皮細胞を用いたハンチントン病の病態解明
医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業	20KC2010	頭金正博	教授	20200401	20230331	11,571,000	東南アジア地域で国際共同治験を計画する際の留意事項に関する研究

その他の研究補助金

【助成金等】

補助金等名称	有限会社しょうなんクリエイト
研究課題名	病院薬剤学分野(堀田祐志講師)における学術研究奨励のため
氏名	堀田 祐志
金額	1,500,000
補助金等名称	公益財団法人中富健康科学振興財団
研究課題名	口腔粘膜炎の疼痛緩和に向けた薬物イオン液体含有 3D プリントオーダーメイドフィルムの研究
氏名	田上 辰秋
金額	1,500,000
補助金等名称	公益財団法人薬学研究奨励財団
研究課題名	mTORC1 による液-液相分離制御の解析
氏名	中津海 洋一
金額	800,000
補助金等名称	公益財団法人日本応用酵素協会
研究課題名	分泌型メタロプロテアーゼ ADAMTS による神経機能制御
氏名	服部 光治
金額	500,000
補助金等名称	公益財団法人東洋医学研究財団
研究課題名	XBPI スプライシングを抑制する天然由来化合物の作用機序の解明と医療への作用
氏名	井上 靖道
金額	700,000
補助金等名称	公益財団法人東洋医学研究財団
研究課題名	生薬ハンゲの咽喉刺激通(イガイガ)発生および伝統的加工法による減毒機序の解明
氏名	笛木 司
金額	700,000

補助金等名称	公益財団法人東洋医学研究財団
研究課題名	辛夷清肺湯のムチン分泌抑制作用とその活性成分の探索
氏名	鈴木 俊章
金額	700,000
補助金等名称	大塚製薬株式会社
研究課題名	下部尿路機能障害モデルを用いた光応答性 NO ドナーの有効性の検討
氏名	堀田 祐志
金額	200,000
補助金等名称	公益財団法人政策医療振興財団
研究課題名	AUCに基づいたバンコマイシンの投与設計に対応した新規TDM支援ソフトの開発
氏名	堀田 康弘
金額	594,000
補助金等名称	公益財団法人政策医療振興財団
研究課題名	薬剤師による小児製剤の院内調製に有用な3Dプリンティング技術の研究
氏名	田上 辰秋
金額	662,000
補助金等名称	公益財団法人武田科学振興財団
研究課題名	低エネルギー光で制御可能なケージド化合物群の開発
氏名	家田 直弥
金額	3,000,000
補助金等名称	公益財団法人日本応用酵素協会
研究課題名	興奮転写連関を介した血管リモデリング形成機構の解明
氏名	鈴木 良明
金額	500,000
補助金等名称	バイエル薬品株式会社
研究課題名	大腸がん患者の腫瘍崩壊症候群の発症リスク因子解析と発症予測モデルの構築
氏名	堀田 祐志
金額	320,000

補助金等名称	公益財団法人持田記念医学薬学振興財団
研究課題名	医薬品の消化管吸収評価系としての二次元化腸管オルガノイドの開発
氏名	岩尾 岳洋
金額	3,000,000
補助金等名称	公益財団法人持田記念医学薬学振興財団
研究課題名	SLC19A3 の遺伝子変異に起因する疾患へのピリドキシンの関与の解明
氏名	山城 貴弘
金額	3,000,000
補助金等名称	公益財団法人市原国際奨学財団
研究課題名	mTORC1 による液-液相分離の摂動を介したシグナル伝達の研究
氏名	中津海 洋一
金額	500,000
補助金等名称	一般財団法人横山臨床薬理研究助成基金
研究課題名	痛風発症のトリガー機構解明に向けたトランスレーショナル型リサーチの展開と治療薬の探索
氏名	保嶋 智也
金額	1,000,000
補助金等名称	公益財団法人中部科学技術センター
研究課題名	がん分子標的薬ベムラフェニブに関連した尿細管細胞死メカニズムの解明
氏名	真川 明将
金額	300,000
補助金等名称	株式会社パブリックリレーションズ
研究課題名	生薬学分野が行う「機能性食品メタボローム分析データベースの作成」に関する学術研究奨励のため
氏名	牧野 利明
金額	100,000
補助金等名称	鳥居薬品株式会社
研究課題名	病院薬剤学分野における学術研究奨励のため
氏名	堀田 祐志
金額	100,000

補助金等名称	公益財団法人豊秋奨学会
研究課題名	mTORC1によるP-body形成制御メカニズムの解明
氏名	中津海 洋一
金額	2,000,000
補助金等名称	日本化薬株式会社
研究課題名	病院薬剤学分野における学術研究奨励のため
氏名	堀田 祐志
金額	300,000
補助金等名称	公益財団法人小野医学研究財団
研究課題名	神経精神疾患における脳内脂質蓄積と炎症の関連機構
氏名	白根 道子
金額	2,000,000
補助金等名称	公益財団法人小林財団
研究課題名	小脳神経変性を悪化させる新規メカニズムの解明と、これを標的とする治療法開発
氏名	服部 光治
金額	3,500,000
補助金等名称	大川原化工機株式会社
研究課題名	薬物送達学分野尾関哲也教授の学術研究奨励のため
氏名	尾関 哲也
金額	600,000
補助金等名称	公益財団法人日中医学協会
研究課題名	病態生化学分野(教授)における学術研究奨励のため
氏名	服部 光治
金額	600,000

## 【受託研究等】

補助金等名称 国立研究開発法人科学技術振興機構

研究課題名 体外から血流を光で操る分子技術の構築

氏名 家田直弥

金額 3,120,000

補助金等名称 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

研究課題名 ペプチド型中分子および核酸型中分子を病変細胞内に送達し、活性化する方法

氏名 梅澤直樹

金額 16,430,700

補助金等名称 株式会社 MTG

研究課題名 睡眠に関わる商品における研究

氏名 桑和彦

金額 3,000,000

補助金等名称 株式会社 明治

研究課題名 ショウジョウバエを用いた機能性(睡眠)素材のスクリーニング評価および機序解明

氏名 桑和彦

金額 1,100,000

補助金等名称 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

研究課題名 肺動脈性肺高血圧症に対する抗体医薬の探索

氏名 山村寿男

金額 10,010,000

補助金等名称 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

研究課題名 ジストログリカンの糖鎖伸長終結因子グリセロールリン酸による生理的調節機能とがん悪性化機構に関する研究開発

氏名 矢木宏和

金額 40,560,000



補助金等名称 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

研究課題名 ペプチド型中分子および核酸型中分子を病変細胞内に送達し、活性化する方法

氏名 梅澤直樹

金額 16,900,000

補助金等名称 国立大学法人大阪大学

研究課題名 高度先導的薬剤師の養成とそのグローバルな活躍を推進するアドバンスト教育研究プログラムの共同開発

氏名 鈴木匡

金額 3,662,000

補助金等名称 大学共同利用機構法人自然科学研究機構

研究課題名 分子中に秘められた新規相互作用部位の探査と改変を通じた次世代抗体創成の基盤構築

氏名 加藤晃一

金額 1,560,000

補助金等名称 国立大学法人北海道大学

研究課題名 間質性膀胱炎を標的とした新規治療薬の開発

氏名 堀田祐志

金額 2,450,000

補助金等名称 国立国際医療研究センター

研究課題名 B型肝炎ウイルスの排除を可能とするゲノム編集治療の実用化に向けた包括的な研究

氏名 星野真一

金額 26,000,000

補助金等名称 国立大学法人筑波大学

研究課題名 切除術不能再発がんを標的とした自然免疫系賦活剤の開発

氏名 川口充康

金額 2,150,000

補助金等名称 国立大学法人筑波大学

研究課題名 がん抑制遺伝子 p53 活性の増強による抗がん活性を狙った治療薬の創製

氏名 井上靖道

金額 2,150,000

補助金等名称 国立研究開発法人理化学研究所

研究課題名 細胞質糖鎖プロセッシング酵素および糖鎖認識タンパク質の構造解析

氏名 佐藤匡史

金額 6,851,000

補助金等名称 国立研究開発法人理化学研究所

研究課題名 翻訳異常の改善効果の検証のための神経変性疾患病態マウスの作出と飼育

氏名 築地仁美

金額 1,300,000

補助金等名称 国立大学法人熊本大学

研究課題名 イベルメクチンとその誘導体の抗 HBV 機序の解明および最適化されたイベルメクチン誘導体の開発

氏名 松永民秀

金額 2,600,000

補助金等名称 国立大学法人千葉大学

研究課題名 日本固有の本草書と漢方医薬学用語の英訳とデータベース化

氏名 牧野利明

金額 1,040,000

補助金等名称 国立研究開発法人産業技術総合研究所

研究課題名 ヒト iPS 細胞由来脳血管内皮細胞の開発と保存・輸送・品質管理方法の開発

氏名 坂下真大

金額 11,700,000

補助金等名称 (独) 日本学術振興会(JSPS)

研究課題名 二国間交流事業 (ソフトコロイド系の一方向結晶化と結晶-結晶相転移の研究)

氏名 山中淳平

金額 950,000

補助金等名称 国立大学法人筑波大学

研究課題名 製品化戦略に基づいた、国産MPSによる創薬プラットフォームの実証研究

氏名 松永民秀

金額 29,999,999

補助金等名称 国立食品衛生研究所

研究課題名 テンプレートシステムに基づくヒトのシトクロム P450 代謝予測モデルの汎用性向上

氏名 頭金正博

金額 990,000

補助金等名称 国立研究開発法人科学技術振興機構

研究課題名 アッセンブリー補助によるタンパク質の配置制御

氏名 矢木真穂

金額 5,200,000

補助金等名称 花王株式会社

研究課題名 腸管吸収及び体内動態に関する研究（コンサルティング）

氏名 松永民秀

金額 1,100,000

補助金等名称 任天堂株式会社

研究課題名 「目覚まし時計に関する研究」

氏名 桑和彦

金額 1,944,800

**【名古屋市立大学 特別研究奨励費】**

種別 外部研究資金獲得活性化事業

研究課題名 医療情報データベースと機械学習を融合した薬剤性腎障害の予測法の開発

氏名 安部賀央里

金額 900,000

種別 外部研究資金獲得活性化事業

研究課題名 ポドサイト特異的な細胞保護・毒性作用に関連する薬剤標的因子の同定

氏名 真川明将

金額 500,000

種別 外部研究資金獲得活性化事業

研究課題名 理・薬・医学を貫く先端光化学研究～基礎研究から臨床応用まで

氏名 中川秀彦

金額 2,340,000

種別 外部研究資金獲得活性化事業

研究課題名 神経終末における新規モノアミントランスポーターの同定と機能解析

氏名 保嶋智也

金額 640,000

種別 外部研究資金獲得活性化事業

研究課題名 難治性多発性骨髄腫患者に対する新規治療薬開発の非臨床研究

氏名 井上靖道

金額 4,200,000

種別 外部研究資金獲得活性化事業

研究課題名 ミトコンドリアダイナミクスによるグリア活性化メカニズムの解明と脳保護治療への応用

氏名 鳥内阜暉

金額 1,260,000

種別 外部研究資金獲得活性化事業

研究課題名 アミロイド形成の分子機構の解明

氏名 矢木真穂

金額 1,500,000

種別 外部研究資金獲得活性化事業

研究課題名 DNA メチル化状態に着目した神経芽腫に対する新規治療法の創出

氏名 青木啓将

金額 1,260,000

種別 外部研究資金獲得活性化事業

研究課題名 間質性膀胱炎治療薬の開発

氏名 堀田祐志

金額 1,260,000

種別 科学研究費獲得活性化事業

研究課題名 ヒトにおけるグリチルリチン酸の有用性および副作用

氏名 牧野利明

金額 750,000

種別 科学研究費獲得活性化事業

研究課題名 3D プリンター技術と異分野融合で加速する画期的医薬品のものづくり研究

氏名 田上辰秋

金額 1,050,000

種別 科学研究費獲得活性化事業

研究課題名 家庭性変異と環境摂動を利用したアミロイド繊維形成の自由エネルギー地形の俯瞰的調査

氏名 矢木真穂

金額 1,019,000

種別 科学研究費獲得活性化事業

研究課題名 黄色ブドウ球菌毒素の免疫細胞を標的とする新規生理活性の探索と予防と治療への応用

氏名 伊藤佐生智

金額 600,000

種別 科学研究費獲得活性化事業

研究課題名 Model-Informed Precision Dosing の概念に基づいた新しい投与設計に対応  
できる TDM 支援ソフトの開発と臨床応用

氏名 堀田康弘

金額 310,000

種別 科学研究費獲得活性化事業

研究課題名 生体模倣システムを用いたメタボリックシンドローム病態血管モデルの開発

氏名 堀英生

金額 540,000

種別 科学研究費獲得活性化事業

研究課題名 Ataxin-2 の翻訳制御に基づく新たな神経変性疾患の治療戦略開発

氏名 稲垣佑都

金額 600,000

種別 科学研究費獲得活性化事業

研究課題名 プロテオミクス的手法でアロプリノール誘発特異体質性毒性の真のリスク因子を  
同定

氏名 柴田侑裕

金額 310,000

種別 国際交流の推進事業

研究課題名 カルガリー大学との国際共同研究の推進と脳神経科学研究所国際シンポジウムの  
開催

氏名 山村寿男

金額 500,000

種別 論文活性化事業

研究課題名 -

氏名 田上辰秋

金額 25,000

種別 論文活性化事業

研究課題名 -

氏名 尾関 哲也

金額 25,000

種別 論文活性化事業

研究課題名 -

氏名 桑和彦

金額 50,000

## 6 新聞報道等

(2022年1月から 2022年12月)



## 【新聞報道】

白根 道子

「神経研究により現代社会の問題解決を目指す！」

毎日新聞 2022年3月5日

白根 道子

「脂質蓄積による脳機能障害の原因メカニズムを解明」

時事メディカル 2022年11月26日

白根 道子

「脂質蓄積による脳機能障害の原因メカニズムを解明（神経変性疾患の新たな治療法開発に期待）」

日本の研究.com 2022年11月28日

白根 道子

「脂質分解系の不全で脳内脂質蓄積：神経変性疾患の原因に」

科学新聞 2022年12月23日

白根 道子

「脂質蓄積による脳機能障害の原因メカニズムを解明（神経変性疾患の新たな治療法開発に期待）」

科学新聞 2023年3月24日

Michiko Shirane

Lysosomal Acid Lipase Deficiency (LAL-D) "Novel Molecular Mechanism Implicated in Clearance of Cholesteryl Esters"

Rare disease advisor\_221121

<https://www.rarediseaseadvisor.com/>

Suzuki Yoshiaki

"Understanding arteriosclerosis: How blood vessels restructure under pressure"

EurekAlert 2022年4月22日

Suzuki Yoshiaki

"How does hypertension trigger a signal pathway in blood vessels that can lead to arteriosclerosis?"

Kudos 2022年4月22日

鈴木良明

「動脈硬化を引き起こす新しいメカニズムの解明」

時事メディカル 2022年4月26日

加藤晃一、矢木真穂

科学の森：「熊」みたいな虫？ クマムシって？ 強い耐性、どこでも生息する微生物  
毎日新聞（東京朝刊） 2022年2月17日

加藤晃一

ヒトの「糖鎖」解明で生命現象の全貌を知る 研究が始動

日本経済新聞 電子版 2022年3月23日

加藤晃一、矢木宏和

グリセロールリン酸が糖鎖の伸長を止めて、がん悪性化に関与している

時事メディカル 2022年6月20日

<https://medical.jiji.com/topics/2621>

加藤晃一、矢木宏和

名古屋市立大と自然科学研究機構、タンパク質分子の中に組み込まれた糖鎖修飾の制御  
コードと言うべきアミノ酸配列を発見

日本経済新聞 電子版 2022年7月13日

[https://www.nikkei.com/article/DGXZRSP636412\\_U2A710C2000000/](https://www.nikkei.com/article/DGXZRSP636412_U2A710C2000000/)

加藤晃一、矢木宏和

たんぱく質分子の中に組み込まれた糖鎖修飾の制御コードを発見

～バイオ医薬品の開発にも貢献～

BtoB プラットフォーム 業界チャンネル

科学技術振興機構 2022年7月14日

<https://b2b-ch.infomart.co.jp/news/detail.page?IMNEWS1=3402762>

加藤晃一、矢木宏和

发现嵌入蛋白质分子中的糖链修饰的控制代码！ 也为生物医药品的开发做出贡献

360doc.com 个人图书馆 2022年7月17日

[http://www.360doc.com/content/22/0717/09/8176916\\_1040165315.shtml](http://www.360doc.com/content/22/0717/09/8176916_1040165315.shtml)

Koichi Kato

Molecular Code for Lewis X Makes Glycosylation Controllable

GEN (Genetic Engineering & Biotechnology News) 2022年7月27日

[https://www.genengnews.com/topics/bioprocessing/molecular-code-for-lewis-x-makes-glycosylation-controllable/?oly\\_enc\\_id=4246E5814912F9X](https://www.genengnews.com/topics/bioprocessing/molecular-code-for-lewis-x-makes-glycosylation-controllable/?oly_enc_id=4246E5814912F9X)

加藤晃一、矢木宏和

タンパク質に組み込まれた糖鎖修飾の制御コード発見 バイオ医薬品の開発期待

科学新聞 2022年7月29日4面

加藤晃一、矢木宏和

名古屋市立大学等发现蛋白质内糖链修饰控制代码，有望用于生物药品开发

客観日本 2022年8月24日

[https://www.keguanjp.com/kgjp\\_keji/kgjp\\_kj\\_smkx/pt20220824000001.html](https://www.keguanjp.com/kgjp_keji/kgjp_kj_smkx/pt20220824000001.html)

Koichi Kato, Hirokazu Yagi

Discovery of regulatory code for glycosylation: Expectations for the development of biopharmaceuticals

サイエンス・ジャパン 2022年9月7日

<https://sj.jst.go.jp/news/202209/n0907-03k.html>

### 【受賞】

迫田凌太、石内勘一郎、吉野鉄大、小川恵子、南澤潔、渡辺賢治、並木隆雄、牧野利明  
ヒトにおける甘草の副作用の発症を予測できる背景因子の探索

第39回和漢医薬学会学術大会 2022年8月28日 【優秀発表賞】

内山京香、太田美里、石内勘一郎、牧野利明

抑肝散と抑肝散加陳皮半夏各エキスのGABA<sub>A</sub>受容体結合活性の比較

第39回和漢医薬学会学術大会 2022年8月28日 【優秀発表賞】

北野拓真

T細胞依存的な好塩基球のIgE刺激応答性亢進の分子メカニズム

日本薬学会第142年会 令和4年4月21日 【学生優秀発表賞(ポスター発表の部)】

生田現

樹状細胞分化における転写因子IRFファミリーの役割

第68回日本薬学会東海支部総会・大会 令和4年7月9日 【学生優秀発表賞】

伊藤佑真

令和3年度日本生化学会中部支部支部長賞 令和4年3月

石川怜

令和3年度日本生化学会中部支部支部長賞 令和4年3月

山田梨乃

令和3年度日本生化学会中部支部支部長賞 令和4年3月

伊藤佑真

ビフィズス菌への自然免疫応答の解析と治療応用

日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2022 令和 4 年 11 月 6 日

【ベストプレゼンテーション賞】

山本洵

Functional analysis of dorsal lateral neuron on sleep regulation in *Drosophila melanogaster*

第 45 回日本神経科学大会/第 65 回日本神経化学大会/第 32 回日本神経回路学会大会, 2022 年 6 月 30 日, 沖縄 【ジュニア研究者ポスター賞】

中嶋雄哉、川口充康、家田直弥、中川秀彦

Sirtuin 脱アシル化活性を one step で検出可能な蛍光プローブ群の開発とその応用

日本薬学会第 142 年会, 2022 年 3 月 25-28 日、名古屋、26S-pm07S (オンライン開催) 【学生優秀発表賞】

古屋敷帆乃花、川口充康、家田直弥、中川秀彦

細胞膜透過型ペプチド性 SIRT2 阻害剤の開発と細胞障害性評価

第 68 回日本薬学会東海支部総会・大会, 2022 年 7 月 9 日、名古屋 【学生優秀発表賞】

中津海洋一

定量的リン酸化プロテオミクスによる mTOR 下流の大規模シグナル解析

第 3 回シロリムス新作用研究会 2022 年 10 月 1 日 (東京) 【奨励賞受賞者講演】

Taishi Kondo, Tomoaki Ishida, Ke Ye, Marin Muraguchi, Yohei Tanimura, Masato Yoshida, Kan'ichiro Ishiuchi, Tomoki Abe, Takeshi Nikawa, Keisuke Hagihara, Hidetoshi Hayashi, Toshiaki Makino

Suppressive effects of processed aconite root on dexamethasone-induced muscle ring finger protein-1

expression and its active ingredients *J. Nat. Med.* **76**, 594–604 (2022). 【令和 5 年度日本生薬学会論文賞】

石川 裕之、細田 直、稲垣 佑都、星野 真一

オリゴアデニル酸合成酵素 OAS による新規 RNA3'末端修飾と mRNA 代謝制御、第 95 回日本生化学会大会、2022 年 11 月 11 日 (名古屋) 【若手優秀発表賞】

倉田朋、鈴木良明、楯野真也、味八木茂、Elva Bernotiene、Wayne Giles、山村寿男

電位依存性 K<sup>+</sup>チャネル Kv1.6 による膜電位制御と変形性膝関節症の関係

第 141 回日本薬理学会近畿部会、2022 年 7 月 1 日 (オンライン) ; B1-6 【優秀発表賞】

川出有希子、山村彩、近藤るびい、鈴木良明、山村寿男  
モノクロタリン誘発性肺高血圧症ラットにおけるコロソリン酸の作用  
次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2022、2022年8月27日（静岡）；  
E-4 【優秀発表賞】

川瀬宗之、松田拓与、梅村悠太、大嶋智葉、大石久史、櫻井隆、服部光治  
シナプスにおけるリン脂質フリッパーゼ ATP8A1/ATP8A2 の機能  
日本薬学会第143年会、2023年3月26日（札幌）【学生優秀発表賞】

徳永柊、梅村悠太、大嶋智葉、中島鼓美、大石久史、服部光治  
リン脂質フリッパーゼ ATP8A1/ATP8A2 二重欠損マウスにおける、神経変性とグリア細胞活性化の分子機構  
日本薬学会第143年会、2023年3月28日（札幌）【学生優秀発表賞】

徳永柊、梅村悠太、川瀬宗之、中島鼓美、大石久史、服部光治  
リン脂質フリッパーゼ ATP8A1/ATP8A2 二重欠損マウスにおける神経変性薬症の分子機構と、その治療法開発に関する研究  
第22回次世代を担う若手のためのファーマ・バイオフィォーラム、2023年9月8日（福岡）【優秀発表賞】

原光輝、服部光治、河野孝夫  
脳の層構造形成に必須である Dab1 の新規リン酸化メカニズム  
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2023、2023年11月12日（名古屋） 【ベストプレゼンテーション賞】

井上靖道  
脱ユビキチン化酵素 USP17 は c-Myc タンパクの安定化を介して細胞増殖と解糖系を亢進する。  
第26回日本がん分子標的治療学会学術集会、2022年6月30日（金沢） 【ポスター賞】

家田維哉、島田裕脩、坂部彩、頭金正博  
副作用報告データベースを用いた直接経口抗凝固薬による中枢神経系出血性副作用に対するプロトンポンプ阻害薬併用の影響に関する解析  
第68回日本薬学会東海支部総会・大会 2022年7月9日（土）（名古屋）【学生優秀発表賞】

中森瑞季, 頭金正博, 片山早紀, 柴田侑裕, 楠本茂, 野坂生郷,<sup>3</sup> 今泉芳孝, 末廣陽子, 宇都宮與, 上田龍三, 石田高司, 石塚賢治

モガムリズマブ投与患者における重篤な皮膚障害の発症に関連するバイオマーカーの探索研究

第 43 回日本臨床薬理学会学術総会 JPW2022 2022 年 11 月 30 日(水)~12 月 3 日(土)(横浜)

【優秀演題賞】

## 7 進路および就職状況

学部

令和5年4月1日現在(単位:人)

卒業生	就職希望者 (有職者・自営業 含む)	就職決定者 (有職者・自営業 含む)	就職地域別											就職 未決定者	進学・その他				
			市内	県内	岐阜	三重	東京	大阪	その他	計									
			就職先業種別																
			A 農業・林業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		アルバイト・パート	0 (0)	
			B 漁業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		大学院進学	45 (17)	
			C 鉱業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		大学(他学部)進学	0 (0)	
			D 建設業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		大学(別科)進学	0 (0)	
96	49	49	E 製造業	1 食料品・飲料・たばこ・飼料	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0	海外の大学・大学院進学	0 (0)	
(51)	(34)	(34)		2 繊維工業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	(0)	専門学校進学	0 (0)	
				3 印刷・関連産業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		国家資格等試験準備	0 (0)	
				4 化学工業・石油・石炭製品	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (9)	1 (1)	3 (1)	16 (11)				公務員試験準備	0 (0)	
				5 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		その他(進路未定を含む)	2 (0)	
				6 汎用・生産用業務器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)			計	47 (17)	
				7 電子部品・デバイス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
				8 電気・情報通信機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
				9 輸送用機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
				10 その他の製造業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
			F 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			※別途、人数を集計してください		
			G 情報通信業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			既の有職者(現職継続)	0 (0)	
			H 運輸業・郵便業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			自営	0 (0)	
			I-1卸売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			I-2小売業	4 (4)	6 (5)	3 (3)	0 (0)	6 (4)	1 (1)	3 (2)	23 (19)								
			J-1金融業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			J-2保険業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			K-1不動産取引・賃貸・管理業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			K-2物品賃貸業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			L-1学術・開発研究機関	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			L-2法務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			L-3その他専門・技術サービス	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (2)							
			M 宿泊業・飲食サービス業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			N 生活関連サービス業・娯楽業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			O-1学校教育	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			O-2その他の教育・学習支援業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			P-1医療業・保健衛生	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	4 (2)							
			P-2社会保険・社会福祉・介護事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			Q 複合サービス事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			R-1宗教	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			R-2サービス業(その他)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			S-1国家公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)						
			S-2地方公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)						
			上記以外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					
			計	5 (4)	8 (6)	3 (3)	1 (1)	22 (14)	2 (2)	8 (4)	49 (34)								
			全体の地域別割合	10.2%	16.3%	6.1%	2.0%	44.9%	4.1%	16.3%	100.0%								
			女子の地域別割合	(11.8%)	(17.6%)	(8.8%)	(2.9%)	(41.2%)	(5.9%)	(11.8%)	(100.0%)								



# 大学院博士前期課程

卒業生	就職希望者 (有職者・自営業 含む)	就職決定者 (有職者・自営業 含む)	就職地域別										就職 未決定者	進学・その他				
			市内	県内	岐阜	三重	東京	大阪	その他	計								
45 (21)	39 (18)	39 (18)	就職先業種別										0 (0)	アルバイト・パート	0 (0)			
			A 農業・林業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	大学院進学	6 (3)	
			B 漁業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	海外の大学・大学院進学	0 (0)	
			C 鉱業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	専門学校進学	0 (0)	
			D 建設業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	国家資格等試験準備	0 (0)	
			E 製 造 業	1 食料品・飲料・たばこ・飼料	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	公務員試験準備	0 (0)
				2 繊維工業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	その他(進路未定を含む)	0 (0)
				3 印刷・関連産業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	計	6 (3)
				4 化学工業・石油・石炭製品	3 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (6)	8 (3)	6 (1)		28 (12)			※別途、人数を集計してください	
				5 鉄鋼業・非鉄金属・金属製品	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	既の有職者(現職継続)	0 (0)
				6 汎用・生産用業務器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)	自営	0 (0)
				7 電子部品・デバイス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)		
				8 電気・情報通信機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)		
				9 輸送用機械器具	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)		
				10 その他の製造業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)	0 (0)		
			F 電気・ガス・熱供給・水道業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			G 情報通信業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			H 運輸業・郵便業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			I-1卸売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)						
			I-2小売業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			J-1金融業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			J-2保険業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			K-1不動産取引・賃貸・管理業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			K-2物品賃貸業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			L-1学術・開発研究機関	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			L-2法務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
			L-3その他専門・技術サービス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	1 (0)	0 (0)	4 (2)						
			M 宿泊業・飲食サービス業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	0 (0)			
N 生活関連サービス業・娯楽業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
O-1学校教育	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
O-2その他の教育・学習支援業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
P-1医療業・保健衛生	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)								
P-2社会保険・社会福祉・介護事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
Q 複合サービス事業	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
R-1宗教	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
R-2サービス業(その他)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)									
S-1国家公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
S-2地方公務	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)									
上記以外	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)								
計	3 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (11)	9 (3)	8 (2)	39 (18)									
全体の地域別割合	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	48.7%	23.1%	20.5%	100.0%										
女子の地域別割合	(11.1%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(61.1%)	(16.7%)	(11.1%)	(100.0%)										



## 8 在籍者名簿

名古屋市立大学院薬学研究科(薬学部)所属教員一覧

(2022年4月現在)

講座	分野	教授	准教授	講師	助教
医薬化学	薬化学	中川 秀彦		川口 充康 家田 直弥	
	精密有機反応学		梅澤 直樹	久松 洋介	
	薬品合成化学	中村 精一			秋山 敏毅
	機能分子構造学		池田 慎一		
生命分子薬学	生体超分子システム解析学	平嶋 尚英	田中 正彦		鈴木 瑠理子
	コロイド・高分子物性学	山中 淳平	奥菌 透 豊玉 彰子		
	生命分子構造学	加藤 晃一 (兼任)	矢木 宏和	矢木 真穂	
	分子生物薬学	白根 道子		中津海 洋一	栗原 裕司
	薬物送達学	尾関 哲也	田上 辰秋		小川 昂輝
医療分子機能薬学	生薬学	牧野 利明	石内 勸一郎	寺坂 和祥	
	衛生化学	肥田 重明	伊藤 佐生智		
	遺伝情報学	星野 真一			稲垣 佑都
	細胞分子薬効解析学	山村 壽男		鈴木 良明	
	病態生化学	服部 光治	河野 孝夫		
医療薬学	薬物動態制御学	湯浅 博昭		保嶋 智也	山城 貴弘
	病態解析学	青山 峰芳			青木 啓将 鳥内 皐暉
	細胞情報学	林 秀敏	井上 靖道	宮嶋 ちはる	
	神経薬理学	糸 和彦	大澤 匡弘	富田 淳	
	レギュラトリーサイエンス	頭金 正博		安部 賀央里	柴田 侑裕
	病院薬剤学			堀田祐志(兼務) 西出景子(兼務)	(特任助教)堀田康弘 (特任助教)真川明将
	臨床薬学	松永 民秀 鈴木 匡	岩尾 岳洋	坡下 真大 堀 英生	
	附属研究所 創薬基盤科学研究所				
連携大学院	腫瘍制御学 (県がんセンター研究所)	青木 正博 客員教授 小根山千歳 客員教授	藤下 晃章 客員准教授		
	加齢病態制御学 (国立長寿医療センター研究所)	飯島 浩一 客員教授	関谷 倫子 客員准教授		
	医薬品質保証学 (国立医薬品食品衛生研究所)	伊豆津健一 客員教授	安田 智 客員准教授		

	生命動態制御学 (自然科学研究機構)	青木 一洋 客員教授	奥村 久士 客員准教授		
	医薬品医療機器審査科学 (医薬品医療機器総合機構)	大澤 智子 客員教授			
	がん治療学 (公益財団法人がん研究会)	片山 量平 客員教授 丸山 玲緒 客員教授	清谷 一馬 客員准教授		

## 2022 年度大学院生名簿 (博士前期・博士後期課程)

(2022 年 4 月現在)

専攻	講座	学年 分野	博士前期課程		博士後期課程		
			1 年	2 年	1 年	2 年	3 年
創薬生命科学	医薬化学	薬化学	舘 実優	鳥居 志深 野中 美香 吉川 侑佳			
		精密有機反応学	東条 敦 LIU DIAN	加藤 舞子 林 優樹			
		薬品合成化学		瀧川 皓太郎 野口 公寛		安藤 龍志 小林 誠	
		機能分子構造学					
	生命分子薬学	生体超分子システム解析学	龍野 華	村井 洸士 山田 真季			
		コロイド・高分子物性学		平井 綾音 藤澤 貫平 山口 めぐみ		三木 裕之	
		生命分子構造学	中野 里音 保科 明	沈 佳娜 西村 誠司 山本 栞		梅澤 芙美子	齋藤 泰輝
		分子生物薬学		山本 敬太郎			
		薬物送達学	佐藤 一輝 鍋島 彩羽希 西 彩友美 FADILAH ASRIL	神谷 宝 恒川 勇太 HEMAT MOSTAFA KAMAL ATTIA ELSAYED			ALGHURABI HAMID SADEQ KHALEEL 高 名月 小松 美穂 LIU JIN 高橋 朋弘

専攻	講座	学年		博士前期課程		博士後期課程		
		分野	1年	2年	1年	2年	3年	
医療機能薬学	医療分子機能薬学	生薬学	湯 沛然 池島 智弥 小川 摩子 畔柳 見悠	YANG HUANGQIZI 王 慶源 日置 真太郎 満仲 安紀		LIU YAN	丁 科文	
		衛生化学	河野 紗英 楨内 奈々					
		遺伝情報学	井上 匠 小森 太貴 日比野 真也	石川 裕之 中北 侑希 西井 由佳				
		細胞分子薬効解析学	天野 泰樹 倉田 朋 松本 和幸	加藤 由納 川田 成紀 中島 七海		鈴木 茜		
		病態生化学	川瀬 宗之 原 光輝 LI MINQIAN	安藤 飛悠吾 梅村 悠太 大宅 真太郎			石井 圭介	
	医療薬学	薬物動態制御学	石牧 礼子 川本 彩果	難波 知堯 牧平 伊代				
		病態解析学	渡邊 友佳	加藤 里菜 福田 直哉				
		細胞情報学	鈴木 裕陽 中垣 春奈	安達 晴喜 鯨井 千実				
		神経薬理学	磯部 一朗 山本 洵	酒井 皓介 西 風花 三宅 遼 GARIBAGA OGLU RABIA	李 佳憶			

	レギュラトリーサイエンス 医薬品安全性評価学	青木 優佳 池田 侑己 立木 孝幸 LIU LINFENG	家田 維哉 伊藤 潤 片山 早紀 中森 瑞季			八木 聡美
	病院薬剤学	海老原 大希				早川 優子
	臨床薬学	佐藤 寛之 ZOU QINGXIANG	岩崎 萌実  深谷 壮弥		今倉 悠貴 寺島 純一 水野 翔太 RAGHDA MOUSTAFA ABDELFATTAH IBRAHIM SHAHIN	坂本 栄 中西 杏菜  TSEDENBAL NARANTUYA 小川 勇
連携大学院	腫瘍制御学					
	加齢病態制御学					山城 梨沙 近松 幸枝
	医薬品質保証学					
	生命動態制御学					
	がん治療学					



## 2022 年度大学院生名簿 (博士課程)

(2022 年 4 月現在)

専攻	講座	学年		博士課程				非正規生
		分野	1 年	2 年	3 年	4 年		
創薬生命科学	医薬化学	薬化学			齋藤 大介			
		精密有機反応学						
		薬品合成化学						
		機能分子構造学				坂崎 美香		
	生命分子薬学	生体超分子システム解析学	山本 彩加		大倉 宇海			
		コロイド・高分子物性学		藤田 みのり				
		生命分子構造学	SHIM JINBO					
		分子生物薬学						
		薬物送達学			諏訪部 晋	後藤 瑛一		
	医療機能薬学	医療分子機能薬学	生薬学		迫田 凌太			
衛生化学			石川 怜 伊藤 佑真			森川 ありさ 北野 拓真		
遺伝情報学								
細胞分子薬効解析学				藤原 萌園	澤井 優輝	稲垣 奏 川出 有希子		
病態生化学								
医療薬学		薬物動態制御学		間竹 勇		秋野 翔伍		
		病態解析学		泉 和弥		大塚 勇斗		
		細胞情報学			長坂 真衣	徳川 宗成		
		神経薬理学	古川 稜	渡邊 僚介		稲波 千尋 小林 里帆		
		レギュラトリーサイエンス 医薬品安全性評価学				渡邊 崇		
		病院薬剤学			川田 龍哉	長水 正也 森 泰毅		
		臨床薬学			白井 晃太郎	野田 雅人 山下 美紗季		

連携 大学院	腫瘍制御学		西口 緑		三谷 文美絵	
	加齢病態制御学					
	医薬品質保証学					
	生命動態制御学					
	がん治療学					

令和4年度 卒業研究実習研究室配属

分野	薬学科			生命薬科学科	
	4年	5年	6年	3年	4年
薬化学	192012 大森 神瑠	182043 平松 理希	162051 古屋敷 帆乃花 172060 吉野 克利	202536 皆見 祥平 202539 森山 響 202542 吉川 旺佑	192504 泉 遼 192512 小澤 遼 192540 平尾 景尚
精密有機反応学			152009 上松 昌幸 172034 都築 優斗	202502 荒川 主真	192535 鳥山 剛 192541 廣瀬 拓
薬品合成化学	192063 宮地 桐斗	182037 中村 美菜	172001 阿部 玲士	202507 大野 美空	192530 田畑 愛美
機能分子構造学					
生体超分子システム解析学	192007 乾 航志 192024 後藤 慎平 192050 橋本 昇輝	182001 飯田 颯人 182039 丹羽 太陽 182044 藤井 祐花 182050 南野 恵里	162054 松浦 哉太 172010 大崎 康太 172024 小笹 稜 172026 鷺崎 加奈 172048 山岡 涼介	202527 西野 瑞基	192510 小笠原 有那
コロイド・高分子物性学	192009 上西 優実花 192031 佐藤 美月 192043 中村 有里 192057 増田 夏海	182038 中吉 悠翔 182048 松尾 彩美 182058 森 優月 182059 山内 一輝	172008 内山 遼太郎 172036 土井 眞帆 172039 濱中 麻菜	202518 竹内 麻有	192513 川瀬 健太 192528 竹本 満里菜 192529 田代 耀
生命分子構造学	192039 富田 晃平	182004 犬塚 健剛	172018 金山 大地	212601 西崎 竜平	192526 高木 克樹
分子生物薬学	192006 石渡 友紀乃 192015 奥田 和奏 192065 森杉 優美 192066 渡口 莉絵	182003 石本 晴揮	172021 北野 ひかり 172046 光成 琴音	202533 眞木 穂香	192543 向江 風
薬物送達学	192017 加藤 瑤子 192019 川崎 叶也 192032 澤矢 真希 192047 西山 侑	182020 佐々木 美緒 182045 PAE HEEJU 182047 益留 未来哉 182061 鷺尾 拓洋	172005 井口 海 172009 海野 桃加 172012 大場 万由 172042 廣間 彩花	202514 新海 斗馬 202537 三宅 慧 202541 山下 凜	192506 上田 峻 192527 竹沢 香穂 192534 十時 拓大
生薬学	192010 上原 風花 192056 本田 智也 192062 宮崎 透	182002 石井 脩斗 182010 大山 真優 182025 高嶋 柚衣 182032 遠山 奈歩	172007 内山 京香 172025 島 凜太郎 172059 吉野 蒼生	202525 成田 虎之介	192538 能瀬 逸紀
衛生化学	192008 岩田 陸人 192023 古小路 隼也 192029 笹野 和希 192035 多田 陵太郎	182033 永井 智希 182040 野田 千咲 182055 向井中 玲菜 182056 村瀬 香乃	152036 田中 友理 172004 生田 現 172030 竹森 樹梨	202509 桐山 陽菜 202523 茶納 沙希	192521 榑原 悠 192532 戸川 果歩
遺伝情報学	182015 黒田 真以	182017 古賀 美咲 182024 高岸 優太	172033 柘植 泰希 172049 山崎 愛恵 172054 遊佐 紅音	202504 池田 遥菜 202516 鈴木 純 202538 向山 凌雅	192511 小川 慧真 192514 北野 智也 192523 志柿 暢彦
細胞分子薬効解析学	192001 浅井 美后 192011 大友 貴子 192052 檜皮 ゆかり 192064 森 鈴菜	182011 岡田 一希 182036 中浜 光哉	162058 道上 七帆 172002 安藤 駿佑 172011 太田 実奈 172015 小川 璃子	202508 岡野 晴佳 202510 葛原 響 202520 田邊 晴也	192517 小井手 司 192525 関根 大雅

病態生化学	192003 安東 洋佑 192034 高山 貫生 192051 林原 健将 192055 星合 彩那	162019 五反田 逸孝 182021 佐藤 萌音 182053 宮田 識園 182057 廻 ひとみ 192101 中川 育磨	162019 五反田 逸孝 172029 竹腰 祐斗 172032 谷口 愛理 172045 松田 拓与	202512 佐々 徳啓	192505 伊東 里彩 192533 徳永 柊 192542 松村 悠己
薬物動態解析学	192004 石原 拓馬 192014 小川 優夏 192018 金丸 緋奈多 192058 松原 綾佑	182012 小幡 真由 182013 河原崎 南帆 182034 長友 今日佳 182054 宮本 綾乃	172028 高見 華奈 172031 谷内 夏月 172053 山本 道弘	202534 松井 快人	192515 北村 拓馬 192524 澁谷 玲衣 192546 森本 遥香
病態解析学	192005 石山 真実 192028 坂根 雅 192060 水野 早季子	182026 高田 繁 182049 道廣 幹斗 182052 三本 里奈	172013 大前 幾美 172014 大脇 礼名 172052 山田 恵理	202517 鈴木 悠花 202530 平山 真大	192502 天野 歩 192519 近藤 リリ
細胞情報学	192042 中村 和 192046 成瀬 健 192053 藤井 くるみ	182005 今井 悠莉 182031 鶴見 建斗 182046 牧原 大	172017 加藤 百恵 172038 中西 優菜 172043 深見 太基	202531 藤原 巧斗 192536 中川 愛理	192539 橋口 咲良 192547 山中 翔悟
神経薬理学	192025 近藤 里菜 192036 竜田 晃佑 192041 中曽根 美奈 192049 橋本 昇一	172050 山下 裕子 182018 小西 紗菜	162056 松村 兼吾 172016 加藤 遥輝	202501 天藤 七海 202505 太田 凜果 202513 島 波輝	192501 青野 萌子 192507 江上 涼 192518 小塚 康平
医薬品安全性解析学	172047 三宅 真生 192038 徳永 朱莉 192061 光山 菜々美	182007 榎波 多真奈 182008 大西 真由 182014 木下 啓 182042 濱上 敦史	172035 土井 更良 172056 吉井 優花	202515 鈴木 孝太郎	192531 出来 佑都 192545 村崎 亘
病院薬剤学	192013 岡田 紋佳 192048 口田 圭紀	182009 大山 享也 182027 高森 雄貴 182041 野田 みすず	172022 久保敷 麗良 172023 熊澤 里歩	202511 小林 ティモシ ィ哲郎	
臨床薬学教育研究 センター	192016 梶田 知江 192022 黒岩 淳志 192026 酒井 涼介 192033 清水 佑華 192040 中井 佳穂 192045 名取 美咲	182006 今井 優里 182028 田口 りか 182029 竹内 規晃 182030 武田 涼馬 182051 蓑輪 華子 182060 横井 杏菜	172019 兼田 佳果 172020 上村 咲菜 172027 鈴木 祐太 172044 藤井 優里菜 172058 吉永 千裕 172061 吉見 和奏	202524 中井 孝明 202526 西川 斗偉	192516 北村 瑞基
【医】ウイルス学 (奥野先生/松永先生)					192503 荒井 陽人
【医】神経発達・ 再生医学 (澤本先生/服部先生)				202529 原 悠都樹	192520 斎藤 明里
【医】実験病態 病理学 (高橋先生/青山先生)					192544 村上 明寛
【医】病態モデル医学 (大石先生/肥田先生)	192054 藤田 翼				
【医】認知症科学 (齋藤先生/糸先生)				202503 飯田 琢斗	

## 2022 年度研究員名簿

許可 NO.	配属分野	氏名
1	生体超分子システム解析学	樋口 恒彦
2	病態生化学	方 衡
3	薬化学	王 思允
4	生薬学	新谷 円華
5	細胞分子薬効解析学	近藤 るびい
6	病態生化学	築地 仁美
7	コロイド・高分子物性学	石川 達也
8	生体超分子システム解析学	井上 悠
9	生体超分子システム解析学	足立 浩章
10	生体超分子システム解析学	宮地 克真
11	生命分子構造学	平松 佳永
12	生命分子構造学	千田 紀代美
13	生命分子構造学	服部 久美子
14	生命分子構造学	谷中 冴子
15	生命分子構造学	関口 太一郎
16	生命分子構造学	佐藤 匡史
17	生命分子構造学	鈴木 詔子
18	薬物送達学	野田 剛弘
19	薬物送達学	福重 香
20	生薬学	太田 美里
21	生薬学	趙 伯陽
22	生薬学	大渡 勝史
23	生薬学	笛木 司
24	生薬学	小西 徹
25	生薬学	牧 靖人
26	遺伝情報学	山本 肇
27	細胞分子薬効解析学	郭 皎
28	薬物動態制御学	石黒 雅江
29	薬物動態制御学	山本 俊輔
30	病態解析学	小泉 恵子
31	病態解析学	後藤 洋
32	病態解析学	垣田 博樹
33	病態解析学	竹下 覚
34	細胞情報学	中田 佳宏
35	細胞情報学	吉田 康子
36	神経薬理学	歌 大介
37	衛生化学	西山 彩史
38	生薬学	鈴木 俊章
39	病院薬剤学	片岡 智哉

40	病院薬剤学	三村 佳久
41	病院薬剤学	中村 大学
42	病院薬剤学	和知野 千春
43	病院薬剤学	近藤 祐樹
44	病院薬剤学	竹内 まどか
45	病院薬剤学	長水 正也
46	病院薬剤学	野村 有紀
47	病院薬剤学	小田切 州広
48	臨床薬学	齊藤 将之
49	臨床薬学	供田 将志
50	臨床薬学	Baatar Bolormaa
51	臨床薬学	竹内 友里
52	臨床薬学	矢後 拓己
53	臨床薬学	北口 隆
54	臨床薬学	美馬 伸治
55	病態解析学	野村 知宏
56	臨床薬学	成富 稔彦
57	臨床薬学	栗原 弘幸
58	神経薬理学	Austin M Ganaway
59	神経薬理学	Esperanza Vazquez
60	薬物送達学	Jayita Das
61	生薬学	東郷 俊宏
62	生命分子構造学	神田 智哉

教員採用・昇任・退職

区分	分野	補職名	氏名	辞令年月日	前職・移動先等
採用	病態解析学	助教	鳥内 皐暉	R4.4.1	名市大博士修了
採用	生命分子構造学	講師	矢木 真穂	R4.4.1	自然科学研究機構生命創成探究センター 助教
採用	遺伝情報学	准教授	宇賀川 剛	R4.7.1	東北大学大学院薬学研究科 助教
採用	細胞分子薬効解析学	助教	近藤るびい	R4.7.1	名市大博士修了（東部医療センター薬剤部）
採用	薬品合成化学	講師	池内 和忠	R4.8.1	北海道大学大学院理学研究院 助教
昇任	分子生物薬学	助教	中津海洋一	R4.6.1	講師→准教授
昇任	精密有機反応学	教授	梅澤 直樹	R4.11.1	准教授→教授
退職	薬品合成化学	助教	秋山 敏毅	R4.7.31	大阪大学薬学部特任助教採用
退職	分子生物薬学	助教	栗原 裕司	R5.3.31	島根大学医学部助教採用
退職	神経薬理学	准教授	大澤 匡弘	R5.3.31	帝京大学薬学部教授採用

職員[2022年4月1日現在]

総合機器分析施設

衛生技師 : 岩澤 加奈

特定技術職員 : 加藤 節子

薬学部事務室

事務長 : 水野 幹夫

学務係長 : 靱山 智則

主事 : 佐々木 綾、浅井 希美

事務系職員: 鶴岡 文代, 小川 万理絵, 相馬 恵子

総合情報センター田辺通分館-薬学部

分館長: 星野 真一(遺伝情報学分野教授兼務)

司書: 吉根 佐和子

事務系職員: 河村 紫乃子, 末原 楓

職員の異動

異動:林 香里 (2022年4月1日転出→学術課へ)

杉原 裕子(2022年4月1日転入←医学・病院管理部医事課より)